

1 0 款

教 育 費

1 項 教育總務費

2 項 小學校費

3 項 中學校費

4 項 幼稚園費

5 項 社會教育費

6 項 保健體育費

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
10款 教育費	決算額	4, 916, 190, 777円	
1項 教育総務費	決算額	674, 330, 044円	
1目 教育委員会費	決算額	1, 982, 500円	
1 委員報酬			
(1) 教育委員 (4人) 年間12回の定例会と2回の臨時会を開催し、付議事項の審査を行うとともに、時代の変化に応じた学校、家庭、地域社会等の教育行政に係る諸問題について協議した。			
2目 事務局費	決算額	187, 352, 748円	
1 事務局事務費			
(1) 志太3市共同校務支援システムの整備・浸透 教職員の校務処理に係る負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保するために導入しているシステムについて、定例会を実施し、運用面での課題を洗い出し、アップデートでの対応が可能なものは解決を図った。 (事業概要) ・志太地域校務支援事務共同化協議会 1回開催 ・月例会議 12回開催 ・研修 (4月～2月) ・ヘルプデスク (3市合計: 360件対応) ・島田市負担金額 6,230,628円 (藤枝市負担金額 6,987,252円、焼津市負担金額 6,041,472円)			
3目 教育研究推進費	決算額	228, 906, 677円	
1 委員報酬			
(1) 小学校及び中学校通学区調査審議会 令和6年度に開校する特認校について、教育委員会からの諮問を受け、候補校となっていた川根小学校か大津小学校どちらが望ましいか審議会を開催した。通学距離や通学時間、緊急時等への対応を考慮し大津小学校が望ましいと答申した。			
	開催日	委員(人)	報酬金額(円)
	令和4年10月25日	10	36,000
	令和4年11月25日	10	36,000
	令和6年度に開校する特認校実施校の決定		
(2) いじめ問題対策連絡協議会 いじめ問題の未然防止・早期発見・早期対応を図るため、協議会を開催した。			
	開催日	委員(人)	報酬金額(円)
	令和4年5月19日	15	40,000
	令和4年12月12日	15	40,000
	協議内容 ・島田市のいじめの状況について ・「安心して学校生活を送るためのアンケート」について ・島田市のいじめの状況について ・「安心して学校生活を送るためのアンケート」の結果について		
(3) いじめ問題対策専門委員会 いじめ問題の防止のための対策に係る調査研究等を行うため、専門委員会を開催した。			
	開催日	委員(人)	報酬金額(円)
	令和4年5月26日	5	30,000
	協議内容 ・「島田市いじめ防止等のための基本的な方針」について ・島田市のいじめの状況について		

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

2 会計年度任用職員

児童生徒に必要な学習支援などを行うため、学校教育支援員、学校図書館支援員を配置した。

学習面・生活面において、個々の様々なつまずきや困り感に対して寄り添い支援することで、児童生徒が自信をもち、安心して学校生活を送ることができている。支援員のサポートにより、教員が全体への指導をより効果的に行うことができたため、学級の安定につながった。

市内中学校の部活動顧問の負担軽減や生徒への部活動指導の質の向上のため、部活動指導員を配置した。顧問と連携し、部活動の運営や指導をしたことで、生徒への部活動指導が充実するとともに、顧問の実務的な負担軽減はもとより、精神的な負担軽減にもつながった。

区 分	配置数(人)	役 割
学校教育支援員	54	学習障害など特別な支援が必要な児童生徒への支援等 全体向けの指導から遅れてしまう児童生徒への支援等
学校図書館支援員	11	児童生徒の読書活動や授業における調べ学習の支援等

※学校教育支援員のうち1人は学校図書館支援員兼務、2人は医療的ケア児対象の支援員

区 分	配置数(人)	役 割
部活動指導員	3	市内中学校の部活動の運営や指導等

3 教育研究事務費

(1) 教育環境適正化経費

島田市教育環境適正化検討委員会で提言を受けた学校再編計画に沿って、北部4小学校・島田第一小学校区で各種委員会を開き、学校再編の方向性を確認した。令和6年度の統合に向けて、今後の方向性やロードマップ、交流活動の計画等をカリキュラム等検討委員会で話し合った。また、北部4小学区・島田第一小学校区の自治会長、各校PTA会長、学校関係者、教育委員会で構成される拡大カリキュラム等検討委員会においても協議を重ねた。

ア 北部4小学校・島田第一小学区

実施日	委員会名	参加者(人)
令和4年4月20日	第1回カリキュラム等検討委員会	11
令和4年5月24日	第2回カリキュラム等検討委員会	11
令和4年6月30日	第3回カリキュラム等検討委員会	11
令和4年7月13日	第4回カリキュラム等検討委員会	11
令和4年8月4日	第1回拡大カリキュラム等検討委員会	39
令和4年8月31日	第5回カリキュラム等検討委員会	11
令和4年9月30日	第6回カリキュラム等検討委員会	11
令和4年11月15日	第2回拡大カリキュラム等検討委員会	39
令和5年2月15日	第7回カリキュラム等検討委員会	11

4 教育研究推進事業

(1) 各種委員会研究委託経費

夢育・地育を柱とした島田市の教育の在り方を研究するため、川根中学校区をモデル地区に指定し、川根中学校・川根小学校で実践研究を行った。モデル地区の各校からの報告を通して、市内全校で研究の成果や課題を共有することができた。

事業名	実施校	事業内容	事業費(円)
夢育・地育推進研究事業	川根中学校 川根小学校	<ul style="list-style-type: none"> 指定地区に既に配備してあるタブレット端末やGIGAスクール構想により整備される通信環境、1人1台端末を活かしたICTを活用した授業 小中学校合同研修 研究内容に関する講演会の開催 研究内容に関する先進地区の視察 	400,000

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明														
(2) スクールソーシャルワーカー活用事業	<p>スクールソーシャルワーカーが市内各校を巡回訪問することで、学校と各種関係機関との連携が図られた。また、ケース会議等を通して組織で対応する体制を確認し、教職員が福祉的な視点で児童生徒や家庭を取り巻く問題を捉えることにつながった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>派遣回数 (回)</th> <th>事業費 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>1,096</td> <td>4,114,500</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1,228</td> <td>4,250,942</td> </tr> </tbody> </table>			年度	派遣回数 (回)	事業費 (円)	4	1,096	4,114,500	3	1,228	4,250,942			
年度	派遣回数 (回)	事業費 (円)													
4	1,096	4,114,500													
3	1,228	4,250,942													
(3) コミュニティ・スクール運営経費	<p>各校で学校運営協議会を設置し、学校・家庭・地域が一体となって、学校の現状と学校運営方針等を共有した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>1,680,000</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1,850,000</td> </tr> </tbody> </table>			年度	事業費(円)	4	1,680,000	3	1,850,000						
年度	事業費(円)														
4	1,680,000														
3	1,850,000														
(4) 小中学校プログラミング教育推進事業	<p>小中学生にプログラミングの体験機会を設け、プログラミングに対する興味を喚起するとともに、論理的思考を育んだ。実施にあたっては、市内の高校生が教える側として参加し、地域ぐるみでの学びの循環となるようにした。</p> <p>委託金額 5,830,430 円 委託先 島田ICTコンソーシアム</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>参加人数(人)</th> <th>内容</th> <th>講座が楽しかったと感じた児童生徒の割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学6年生</td> <td>798</td> <td>ドローンを使用したプログラミングによる災害救助支援</td> <td>96.9</td> </tr> <tr> <td>中学2年生</td> <td>752</td> <td>人型ロボットを使用したプログラミングによる人形劇</td> <td>96.5</td> </tr> </tbody> </table>			対象	参加人数(人)	内容	講座が楽しかったと感じた児童生徒の割合(%)	小学6年生	798	ドローンを使用したプログラミングによる災害救助支援	96.9	中学2年生	752	人型ロボットを使用したプログラミングによる人形劇	96.5
対象	参加人数(人)	内容	講座が楽しかったと感じた児童生徒の割合(%)												
小学6年生	798	ドローンを使用したプログラミングによる災害救助支援	96.9												
中学2年生	752	人型ロボットを使用したプログラミングによる人形劇	96.5												
5 外国語教育支援事業															
(1) 外国人英語指導等経費	<p>令和4年度は、ALT10人体制で小学校の外国語と中学校の英語の授業の巡回指導をスタートした。小学校5・6年生及び中学校全学年で1クラス当たり週1時間以上の授業にALTを配置することができた。</p> <p>教員とALT、外国語活動支援員が様々な役割分担で英会話を実演したり、ALTによるスピーチ指導の機会が増えたりする等、授業中の英語によるコミュニケーション活動の充実が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>22,843,226</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>21,760,906</td> </tr> </tbody> </table>			年度	事業費(円)	4	22,843,226	3	21,760,906						
年度	事業費(円)														
4	22,843,226														
3	21,760,906														
(2) 英語検定受検支援事業	<p>感染症対策を講じ、市内在住中学3年生のみを対象として、市が準会場を設置し、3級と4級の英語検定を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受検者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table>			年度	受検者数(人)	4	106	3	78						
年度	受検者数(人)														
4	106														
3	78														

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明									
6 教育活動推進事業										
(1) 夢育・地育推進事業	<p>各学校及び教育センターが実施する子供の夢や地域愛を育む教育活動に対し、交付金を交付した。</p> <p>地元出身の落語家や地元で活躍する方を講師として招き、本物にふれる活動や学校独自で取り組んでいる事業を継続的に実施するなど、学校ごとに工夫した活動を行った。</p>									
	年度	実施校・施設(校)	交付金額(円)							
	4	24	3,844,687							
	3	24	3,860,916							
7 教育活動助成事業										
(1) 部活動指導助成事業	<p>部活動の充実及び生徒の心身の発達と生涯にわたりスポーツや文化活動に親しもうとする意欲を育むために、地域の人材を活用し、学校と連携しながら部活動に所属する生徒を支援することを目的としている。</p> <p>限られた時間の中で、生徒に対して効果的な指導を行うとともに、顧問の指導力向上にもつながった。</p>									
	年度	部活動外部指導者延べ人数(人)	事業費(円)							
	4	21	1,277,060							
	3	21	1,251,200							
8 教育センター運営事業										
(1) 教育センター管理運営経費	<p>島田市教育センターにおいて、教育相談や個別指導等を行った。不登校、発達障害、対人関係など多様な相談を受け、市内の相談窓口として重要な位置を占めており、特別支援教育士を配置し、専門的な指導を行う体制を充実させた。</p> <p>不登校や発達に課題を持つ児童生徒又は保護者の不安や心配事の解消に努め、進路に向かって取り組むきっかけとなった。</p>									
ア 相談件数	(単位：件、円)									
	年度	非行	不登校	学校	発達障害	進路適正	対人関係	その他	合計	事業費
	4	2	277	32	80	9	10	100	510	6,019,904
	3	3	221	52	95	30	39	47	487	6,370,578
(2) チャレンジ教室運営経費	<p>島田市教育センター内にて不登校児童生徒の指導を行うチャレンジ教室を実施し、学校を通した保護者への周知を中心に情報発信を行った。不登校の要因は複雑化しており、学校以外の居場所となりうるチャレンジ教室への需要は年々高まっている。経験豊富な相談員を2人配置し、不登校児童生徒への指導だけでなく、その保護者の悩み等に寄り添い、総合的に支援することで、不登校児童生徒及びその保護者の心の安定につながっている。</p>									
	年度	小学生(人)	中学生(人)	事業費(円)						
	4	11	28	1,219,851						
	3	7	37	1,236,591						
9 生きる力を育む体験学習事業										
(1) サタデーオープンスクール運営経費	<p>小学校3年生以上を対象に、伊久美地区の自然を利用した川遊び、やまめの学習、茶摘みなどの体験活動を行った。豊かな自然の中での体験を通し、生きる力を育てることができた。</p> <p>また、他校の児童や講師と接することで、好ましい人間関係づくりに取り組むことができた。</p>									

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
-------	---------------	--	--	--	--

事業名	実施日	日数(日)	延べ参加人数(人)	講座内容	事業費(円)
サタデー オープン スクール	土曜日 (令和4年4月30日～ 令和5年3月11日)	15	279	地域散策、和風づくり、や まめ学習、山登り、炭の窯 入れ体験等	331,172

※令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大及び災害の影響によりサマーオープンスクールの開催を中止した。

10 特別支援教育等事業

(1) 特別支援教育等経費【令和4年度新規事業】

特別支援を必要とする児童生徒に対して、公認心理士の学校巡回訪問、発達検査員による発達検査等を実施し、それぞれに合わせた適切な支援を行った。

年度	学校巡回訪問回数(回)	発達検査実施件数(件)	事業費(円)
4	64	230	6,447,330

4目 学校教育諸費 決算額 105,973,818円

1 遠距離通学対策事業

(1) スクールバス運行経費

スクールバスの運行を行い、遠隔地から通学する児童生徒の安全で円滑な通学を確保した。

ア 利用状況

学校名	地 区	利用者数(人)		事業費(円)
		行き	帰り	
伊久美小学校	西向・白井	1	1	199,904
神座小学校	川口・長島	5	5	318,250
	北鶴網	0	0	
島田第一中学校	鍋島・丹原	1	1	12,991,560
	伊久美・相賀	62	62	
初倉小学校	湯日	33	32	4,921,730
金谷小学校	菊川・神谷城・猪土居・切山	23	65	19,316,705
五和小学校	大代	25	22	
金谷中学校	菊川・神谷城・猪土居・切山・富士見町	35	35	
五和小学校	北五和	0	11	
金谷中学校		0	1	
川根小学校	塩本・市尾線 一色・上河内線	31	44	
川根中学校	石風呂・葛籠線 笹間線	7	7	
合 計		223	286	56,378,899

(2) 遠距離通学助成事業

公共交通機関等を利用して遠距離通学する児童生徒の保護者に対し、経済的負担の軽減を図るため、通学定期券等を交付した。

対 象		児童生徒数(人)	金 額(円)
コミュニティバス利用 (定期)	神座小学校	5	196,600
	五和小学校	1	54,000
	金谷中学校	1	121,500
	川根小学校	1	33,760
路線バス利用	金谷小学校	32	1,242,920
補助金	五和小学校	2	9,789
合 計		42	1,658,569

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
(3) スクールバス購入事業	川根地区の老朽化したスクールバスの更新を行い、利用する児童・生徒の安全な通学手段を確保した。			
	品名	規格	購入台数(台)	事業費(円)
	小型スクールバス	乗車定員25人	1	6,902,500 (財源内訳) 国庫支出金 3,150,000 市債(過疎債) 3,700,000 一般財源 52,500
				備考 備品購入費 6,902,500 (有駿遠モータース商会)
2 交通遺児奨学金等支給事業	交通事故により父母等が亡くなった生徒に対し、交通遺児育英基金を財源に奨学金を支給した。			
	学校の区分	支給対象者(人)	金 額(円)	
	小学校	0	0	
	中学校	0	0	
	高等学校	2	240,000	
	合 計	2	240,000	
2 項 小学校費	決算額	1,676,756,307円		
1 目 学校管理費	決算額	643,328,405円		
1 小学校運営事業	(1) 小学校運営経費			
	ア 学校保健特別対策事業			
	児童が安心して学ぶことができる環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品の購入を行った。			
	(単位:円)			
	事業名	事業の概要	事業費	備考
	学校等における感染症対策等支援事業	学校教育活動の着実な継続のため、3密を回避し、児童・教員等の感染症対策に必要な消耗品の購入	2,167,398 (財源内訳) 国庫支出金(学校保健特別対策事業費補助金) 1,084,000 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 990,000 一般財源 93,398	消耗品費 2,167,398
	(2) 小学校再編事業【令和4年度新規事業】	令和6年度に予定している伊太小学校、相賀小学校、神座小学校、伊久美小学校及び島田第一小学校との統合に向け、交流授業等に必要な児童用机・いすを購入した。		
	小学校名	内容	購入費(円)	備考
	島田第一小学校	児童用机 103台 児童用椅子 103脚	1,722,160	(株)ミヤムラ
2 小学校施設管理事業	(1) 小学校施設管理経費			
	ア 小学校普通教室空調機賃借			
	教室の室温を適正に保ち、児童の健康を守り学習に集中できる環境を維持した。			

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
-------	---------------	--	--

(単位：円)

事 業 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
島田市小中学校空調機賃借(小学校)	市内小学校(16校)の普通教室193室に設置した空調機の賃借 賃借期間 令和元年7月1日から 令和14年6月30日まで 賃借料(平成30年度契約額) 552,226,896	42,478,992 (財源内訳) 一般財源 42,478,992	賃借料 42,478,992 NTT・TCリース(株静岡支店)
島田第四小学校普通教室空調機賃借	島田第四小学校の普通教室15室に設置した空調機の賃借 賃借期間 令和3年2月1日から 令和14年6月30日まで 賃借料(令和2年度契約額) 27,728,800	2,428,800 (財源内訳) 一般財源 2,428,800	賃借料 2,428,800 NTT・TCリース(株静岡支店)

イ 小学校施設改修等工事

児童が安全な環境で多様な学習活動を行うことができるよう、小学校施設の改修工事等を実施した。受水槽・高置水槽の改修や老朽化したエアコン等の設備改修や教室の増設工事を行い、教育環境が改善された。また、屋上防水工事等を行い施設の安全性の確保と長寿命化を図った。

(単位：円)

小学校名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
島田第一小学校	・特別支援教室間仕切り設置工事 軽量間仕切り、耐火PB、クロス張り、巾木	990,000	工事請負費 990,000 信栄建設(株)
島田第二小学校	・北棟屋上防水改修工事 改質アスファルトシート防水 平場A=880.0㎡ 塗膜防水 平場A=103.0㎡、ドレン改修	15,017,200	工事請負費 15,017,200 (株)すぎもと塗装
六合東小学校	・受水槽・高置水槽改修工事 ステンレス製受水槽 24t 1基取替 ステンレス製高置水槽 8t 1基取替	16,720,000	工事請負費 16,720,000 (株)太田
六合東小学校	・電話設備改修工事 多機能電話機5台、一般電話機6台取替、 多機能電話機2台、コードレス電話1台新設	825,000	工事請負費 825,000 (株)門田電話工業所
島田第五小学校	・配膳室空調機器移設工事 旧川根老人憩の家より壁掛空調機1台移設	550,000	工事請負費 550,000 (有)名取サービス
大津小学校	・事務室空調機器取替工事 室内機1台取替、室外機1台取替	770,000	工事請負費 770,000 (有)天野冷熱
伊太小学校	・職員室空調機器取替工事 室内機2台取替、室外機1台取替	2,398,000	工事請負費 2,398,000 (有)名取サービス
初倉南小学校	・パソコン室空調機器取替工事 室内機2台取替、室外機1台取替	2,420,000	工事請負費 2,420,000 (株)太田
初倉小学校	・自動火災報知設備受信機取替工事 受信機1台撤去取替	946,000	工事請負費 946,000 (株)セキュア
合 計		工事請負費 (財源内訳) 繰入金(学校施設整備基金) 一般財源	40,636,200 40,000,000 636,200

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明							
(2) 伊太小学校屋内運動場耐震化事業	令和3年度に策定した伊太小学校屋内運動場耐震補強工事実施設計に基づき工事を実施した。 (単位：円)							
	事業名	事業の概要	事業費				備考	
	伊太小学校屋内運動場耐震補強工事監理業務委託	伊太小学校屋内運動場耐震補強工事の工事監理業務委託	154,335,500 (財源内訳) 県支出金(地震・津波対策等減災交付金) 10,211,000 市債(緊防債) 144,100,000 一般財源 24,500				委託料 4,400,000 (株)塚本設計	
	伊太小学校屋内運動場耐震補強工事	基礎梁・鉄骨柱・梁・屋根プレースの補強、外壁の軽量化・内壁の改修、トイレの洋式化、アリーナ床一部補修					工事請負費 149,935,500 (株)アーク東海	
3 新型コロナウイルス感染症対策事業								
(1) 小学校施設自動水栓化事業【令和4年度新規事業】	新型コロナウイルス感染症感染防止のため、校舎内トイレの手洗い場の水栓を自動化する工事を行った。							
	事業名	事業の概要	事業費				備考	
	小学校トイレ手洗い場自動水栓化工事(島二小他3校)	島二小、島三小、島五小、大津小のトイレ手洗い場の水栓を自動水栓に取替(計41か所)	15,637,600 (財源内訳) 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 15,300,000 一般財源 337,600				工事請負費 2,970,000 朝日設備(株)	
	小学校トイレ手洗い場自動水栓化工事(初倉小他3校)	初倉小、初倉南小、六合小、六合東小のトイレ手洗い場の水栓を自動水栓に取替(計81か所)					工事請負費 5,989,500 (株)太田	
	小学校トイレ手洗い場自動水栓化工事(金谷小他2校)	金谷小、五和小、川根小のトイレ手洗い場の水栓を自動水栓に取替(計69か所)					工事請負費 6,678,100 (有)牧野設備	
2目 教育振興費	決算額		166,877,807円					
1 教材整備事業								
(1) 教材購入経費								
ア 理科教育設備等整備事業(1/2国庫補助)	補助対象となる理科教育設備等の教材を整備した。 理科教育設備等整備内訳 (単位：円)							
	島二小	島三小	島四小	六合小	大津小	六合東小	合計	うち国庫補助
	823,900	778,580	893,970	1,237,390	846,780	808,500	5,389,120	2,694,000
イ 小学校17校の教材を整備した。	(単位：円)							
	消耗品費(図書費、新聞代等)			備品購入費(ミシン、オルガン等)				
	13,249,572			8,273,632				
(2) 教育用コンピュータ整備経費	教育用コンピュータに係るウイルス対策、修繕、保守及び賃借等の必要な整備を行った。 (単位：円)							
	消耗品費	修繕料	その他手数料	事務機器等保守委託料	機械器具賃借料	合計		
	3,292,571	557,370	149,600	9,266,400	38,042,400	51,308,341		

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明							
2 就学援助事業	(1) 要保護・準要保護児童就学援助費（一部国庫補助） 要保護・準要保護児童（523人）の学用品費等を補助した。 <p style="text-align: right;">(単位：円)</p>							
学用品費	通学用品費	新入学学用品費		修学旅行費	校外活動費	学校給食費	医療費	合計 (うち国庫補助)
		通常	入学前支給分					
5,673,930	961,300	654,540	2,450,880	1,855,472	866,778	24,016,470	56,380	36,535,750 (20,000)
(2) 特別支援教育就学奨励費（国庫補助金1/2以内） 特別支援学級に在籍している児童（120人）の学用品費等を補助した。 <p style="text-align: right;">(単位：円)</p>								
学用品費	新入学学用品費	修学旅行費	校外活動費	学校給食費	通学費	合計 (うち国庫補助)		
581,595	343,759	210,363	64,094	2,497,377	418,713	4,115,901 (2,025,000)		
3 GIGAスクール構想実現事業	(1) GIGAスクール構想実現事業 ア 学校保健特別対策事業 児童が安心して学ぶことができる環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、ICTを活用した授業を実施する際に必要となる授業目的公衆送信補償金を支出した。 <p style="text-align: right;">(単位：円)</p>							
事業名	事業の概要			事業費			備考	
学校等における感染症対策等支援事業	著作物を利用した教材をインターネット経由で児童に送信する際に生じる著作権許諾を不要とするための授業目的公衆送信補償金の支出			(財源内訳)	656,964	著作権使用料 656,964		
				国庫支出金(学校保健特別対策事業費補助金)	328,000			
				国庫支出金(コロナ臨時交付金)	290,000			
				一般財源	38,964			
4 教育情報化推進事業	(1) ICT支援員配置経費 4校に1人の割合でICT支援員を配置することで、タブレット端末等ICT機器を活用した授業の安定稼働と活性化を図った。							
年度	配置人数(人)	委託料(円)						
4	4	32,036,400						
3	4	20,420,400						
5 新型コロナウイルス感染症対策事業	(1) GIGAスクール構想実現事業 担任学級を持たない級外の教員や、端末を修理に出している児童生徒が1人1台端末を利活用できる環境を構築するため、追加で端末を整備した。							

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明	
(単位：円)			
事業名	事業の概要	事業費	
GIGAスクール 対応情報機器購入 事業	級外の教員がICT機器を使用できる機会を増やし、児童生徒が手元に端末が無い状態を防止するため、端末を追加整備した。 整備台数 110台	(財源内訳) 国庫支出金(公立学校情報機器整備費補助金) 1,223,000 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 4,320,000 一般財源 1,592,700	7,135,700

3目 学校建設費	決算額	866,550,095円
----------	-----	--------------

1 小学校施設整備事業

(1) 島田第四小学校改築事業

築50年以上経過し、施設の老朽化や耐震性能が「やや劣る」島田第四小学校の校舎等の改築事業を実施した。令和4年度は、グラウンド造成工事を実施し、令和5年1月31日までを工期とする契約を締結し、完成した。これにより、島田第四小学校の改築事業は完了した。

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費	備考
島田第四小学校 グラウンド造成 工事	グラウンド造成工、土工、植栽工、 機械設備工、排水構造物工、グラ ウンド施設工	112,596,000 (財源内訳) 市債(学教債) 84,400,000 一般財源 28,196,000	工事請負費 112,596,000 大河原建設株

(2) 島田第一小学校改築事業

築45年以上経過し、老朽化や躯体の一部に耐震に問題のある施設の改修と、令和6年度に予定している伊太小学校、相賀小学校、神座小学校、伊久美小学校及び島田第一小学校の統合により、増加する児童数等に適した教育環境に整備するため、島田第一小学校の校舎等の改築工事を実施した。建築工事等は債務負担行為により令和5年11月30日までを工期とする契約を締結し、実施した。

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費	備考
島田第一小学 校改築事業 (公立学校施設 整備費国庫負 担金/統合) (学校施設環境 改善交付金/ (財)地震改築、 不適格改築)	・校舎等建設工事監理業務委託 一式 委託料 (令和4年度契約額) 58,850,000	753,555,000 (財源内訳) 国庫支出金(公立学校施 設整備費国庫負担金、 学校施設環境改善交付 金) 127,823,000 市債(学教債) 485,300,000 繰入金(学校施設整備 基金) 100,000,000 一般財源 40,432,000	委託料 17,655,000 (株)大瀧建築事務所
	・校舎等建設工事(建築工事) 校舎(RC造3階) A=6,828.68㎡ 屋内運動場(鉄骨造) A=1,023.40㎡ 屋外倉庫(鉄骨造) A=101.01㎡ 工事請負費(令和4年度契約額) 1,925,000,000		工事請負費 733,260,000 大河原・小桜特定 建設工事共同企業 体 670,960,000 朝日設備株 35,900,000
	・校舎等建設工事(機械設備工事) 衛生、給排水及び浄化槽設備等一式 工事請負費(令和4年度契約額) 299,200,000		(株)特殊東海フォ レスト 26,400,000
	・校舎等建設工事(電気設備工事) 電灯、受変電及び動力設備等一式 工事請負費(令和4年度契約額) 220,000,000		
	・正門周辺整備工事 正門横の樹木・石の撤去、記念碑の移 設、解体後の整地 2,640,000		工事請負費 2,640,000 大河原建設株

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
	令和4年度における改築事業の進捗率は、34%となった。上記事業以外に製品検査を実施したことで発生した旅費や有料道路通行料の執行や、検査手数料となる県証紙の購入を行った。		
	(単位：円)		
	旅費	役務費	使用料及び賃借料
	98,760	268,000	32,335
			合計
			399,095

3項 中学校費	決算額	403,733,789円
1目 学校管理費	決算額	309,332,068円

1 中学校運営事業

(1) 中学校運営経費

ア 学校保健特別対策事業

生徒が安心して学ぶことができる環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、新型コロナウイルス感染症対策に必要となる消耗品の購入を行った。

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費	備考
学校等における感染症対策等支援事業	学校教育活動の着実な継続のため、3密を回避し、生徒・教員等の感染症対策に必要となる消耗品の購入	1,860,116 (財源内訳) 国庫支出金(学校保健特別対策事業費補助金) 928,000 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 850,000 一般財源 82,116	消耗品費 1,860,116

2 中学校施設管理事業

(1) 中学校施設管理経費

ア 中学校普通教室空調機賃借料

教室の室温を適正に保ち、生徒の健康を守り学習に集中できる環境を維持した。

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費	備考
島田市小中学校空調機賃借(中学校)	市内中学校(6校)の普通教室91室に設置した空調機の賃借 賃借期間 令和元年7月1日から令和14年6月30日まで 賃借料(平成30年度契約額) 261,868,464	20,143,728 (財源内訳) 一般財源 20,143,728	賃借料 20,143,728 NTT・TCリース(株)静岡支店

イ 中学校施設改修等工事

生徒が安全な環境で多様な学習活動を行うことができるよう、中学校施設の改修工事等を実施した。老朽化した屋根及び外壁、防球ネットの改修や、電気設備の改修を行った。

中学校名	事業の概要	事業費	備考
島田第一中学校	・プールサイド修繕工事 プールサイド防滑シートの張替え A=44.2 m ²	770,000	工事請負費 770,000 (有)シノミヤ防水工事島田営業所
島田第二中学校	・グラウンド周辺フェンス改修工事 フェンス撤去・設置 西側フェンス H=1,800m L=40.3m 北側フェンス H=2,000m L=45.5m	3,359,400	工事請負費 3,359,400 信栄建設(株)
六合中学校	・屋内運動場屋根等防水改修工事 屋内運動場屋根防水シート 平場 A=304.0 m ² 、立上り A=75.6 m ² 渡り廊下防滑シート A=127.0 m ²	6,776,000	工事請負費 6,776,000 大栄工業(株)

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
初倉中学校	・ 高圧ケーブル等取替工事 高圧ケーブル等取替、気中開閉器取替	1,573,000	工事請負費 1,573,000 (株)太田
金谷中学校	・ 防球ネット等改修工事 既存防球ネット撤去、新設防球ネット設置 H≒7.5m、L=80.9m、 ネットフェンス交換 H=3.0m、L=86.0m フェンス門扉及び子扉交換	9,603,000	工事請負費 9,603,000 信栄建設(株)
金谷中学校	・ 高圧ケーブル等取替工事 高圧ケーブル等取替、引込み柱SOG取替	1,518,000	工事請負費 1,518,000 (株)五和電機
川根中学校	・ 屋根等改修工事 屋根葺き替え A=1,641.0㎡、堅桶塗装 外壁塗装 A=3,828.0㎡、シーリング打替 シート防水 A=44.0㎡	74,879,200	工事請負費 74,879,200 大井建設(株)
合 計			工事請負費 98,478,600 (財源内訳) 市債(過疎債) 67,900,000 繰入金(学校施設整備基金) 20,000,000 一般財源 10,578,600

3 新型コロナウイルス感染症対策事業

(1) 中学校施設自動水栓化事業【令和4年度新規事業】

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、校舎内トイレの手洗い場の水栓を自動化する工事を行った。

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費	備考
中学校トイレ手洗い場自動水栓化工事(島一中他1校)	島一中、島二中のトイレ手洗い場の水栓を自動水栓に取替(計85か所)	12,786,400 (財源内訳) 国庫支出金(コロナ臨時 交付金) 12,500,000 一般財源 286,400	工事請負費 6,161,100 森下商事(株)
中学校トイレ手洗い場自動水栓化工事(初倉中他1校)	初倉中、六合中のトイレ手洗い場の水栓を自動水栓に取替(計52か所)		工事請負費 3,807,100 (株)増商
中学校トイレ手洗い場自動水栓化工事(金谷中他1校)	金谷中、川根中のトイレ手洗い場の水栓を自動水栓に取替(計39か所)		工事請負費 2,818,200 大井建設(株)

2目 教育振興費

決算額

94,401,721円

1 教材整備事業

(1) 教材購入経費

ア 理科教育設備等整備事業(1/2国庫補助)

補助対象となる理科教育設備等の教材を整備した。

理科教育設備等整備内訳

(単位：円)

島一中	六合中	金谷中	合計	うち国庫補助
735,460	941,820	929,280	2,606,560	1,303,000

イ 中学校6校の教材を整備した。

(単位：円)

消耗品費(図書費、新聞代等)	備品購入費(電子ピアノ、テレビ等)
8,022,847	4,836,744

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明							
(2) 教育用コンピュータ整備経費	教育用コンピュータに係るウイルス対策、修繕、保守及び賃借等の必要な整備を行った。 (単位：円)							
消耗品費	修繕料	その他手数料	事務機器等 保守委託料	機械器具賃借料	合計			
1,622,805	310,970	85,800	4,527,600	17,740,800	24,287,975			
2 就学援助事業								
(1) 要保護・準要保護生徒就学援助費（一部国庫補助）	要保護・準要保護生徒（319人）の学用品費等を補助した。 (単位：円)							
学用品費	通学用品費	新入学学用品費		修学旅行費	校外活動費	学校給食費	医療費	合計 (うち国庫補助)
		通常	入学前支給分					
6,962,620	486,480	720,000	5,040,000	5,504,813	69,930	17,382,272	12,100	36,178,215 (112,000)
(2) 特別支援教育就学奨励費（国庫補助金1/2以内）	特別支援学級に在籍している生徒（34人）の学用品費等を補助した。 (単位：円)							
学用品費	新入学学用品費	修学旅行費	校外活動費	学校給食費	通学費	合計 (うち国庫補助)		
284,780	373,579	209,841	7,785	863,253	83,006	1,822,244 (894,000)		
3 GIGAスクール構想実現事業								
(1) GIGAスクール構想実現事業								
ア 学校保健特別対策事業	生徒が安心して学ぶことができる環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、ICTを活用した授業を実施する際に必要となる授業目的公衆送信補償金を支出した。 (単位：円)							
事業名	事業の概要	事業費			備考			
学校等における感染症対策等支援事業	著作物を利用した教材をインターネット経由で生徒に送信する際に生じる著作権許諾を不要とするための授業目的公衆送信補償金の支出	(財源内訳) 国庫支出金(学校保健特別対策事業費補助金) 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 一般財源	482,823 241,000 210,000 31,823	482,823	著作権使用料 482,823			
4 教育情報化推進事業								
(1) ICT支援員配置経費	4校に1人の割合でICT支援員を配置することで、タブレット端末等ICT機器を活用した授業の安定稼働と活性化を図った。							
年度	配置人数(人)	委託料(円)						
4	2	9,292,800						
3	2	5,759,600						

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
5 新型コロナウイルス感染症対策事業	(1) G I G Aスクール構想実現事業 担任学級を持たない級外の教員や、端末を修理に出している児童生徒が1人1台端末を利活用できる環境を構築するため、追加で端末を整備した。				
	(単位：円)				
	事業名	事業の概要	事業費		
	G I G Aスクール 対応情報機器購入 事業	級外の教員がI C T機器を使用できる機会を増やし、児童生徒が手元に端末が無い状態を防止するため、端末を追加整備した。 整備台数 79台	4,868,930 (財源内訳) 国庫支出金(公立学校情報機器整備費補助金) 1,120,000 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 2,520,000 一般財源 1,228,930		
4項 幼稚園費	決算額	1,712,000円			
1目 幼稚園費	決算額	1,712,000円			
1 私立幼稚園助成事業	(1) 発達支援保育事業費補助金(市単独) 公的機関の認定、又は診断を受けた軽度発達支援児の保育を実施した園に助成した。				
	(2) 園活動安全確保支援事業費補助金(市単独) プール監視員、園内外活動における教職員を補助する人員、園内の整備を行う人員の雇用を行った園に助成した。				
	(3) 親育子育支援事業費補助金(市単独) 地域の特性や創意工夫を活かした子育て支援事業に取り組んでいる園に助成した。(子育てに関わる行事・育児講座等地域活動事業、保護者の児童に対するしつけ・指導講座事業、保育関係図書購入・修繕、保育関係職員研修の参加) 令和4年度 幼稚園別市単独補助金内訳 (単位：円)				
	施設名	発達支援保育事業費補助金	園活動安全確保支援事業費補助金	親育子育支援事業費補助金	合計
	島田南幼稚園		316,000	109,000	425,000
	島田北幼稚園		217,000	28,000	245,000
	六合幼稚園	804,000		50,000	854,000
	合計	804,000	533,000	187,000	1,524,000
2 新型コロナウイルス感染症対策事業	(1) 幼稚園給食経費支援事業費補助金【令和4年度新規事業】 コロナ禍において物価の高騰の影響を受けた園がこれまでどおりの栄養バランスや量を保った給食を提供できるよう、補助を行った。				
	事業の目的	事業の内容	事業の成果	事業費(円)	
	物価の高騰の影響を受けた事業者に対して、栄養バランスや量を保った給食を提供できるよう財政支援を行う。	市内の幼稚園へ、給食経費の増加率に応じて補助金を交付する。	六合幼稚園に対し、補助金を交付した。 交付金額：188,000円	188,000 (財源内訳) 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 159,000 一般財源 29,000	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
5項 社会教育費	決算額 1,040,182,090円
1目 社会教育総務費	決算額 459,443,690円

1 委員報酬

社会教育委員 10人

社会教育法第15条に基づき設置される特別職公務員である社会教育委員は、社会教育、学校教育、家庭教育関係者等から選出されている。

令和4年度は、令和4年4月に教育長から諮問を受けた「島田市における公民館の今後の在り方について」をテーマに検討を重ね、先進事例の視察も行った。

会議開催状況

区分	開催日	内 容
第1回	4月21日	・教育委員会諮問事項「島田市における公民館の今後の在り方について」手交式 ・令和4年度社会教育課主要事業について ・今年度の活動について ・「島田市における公民館の今後の在り方について」の検討 ほか
第2回	5月30日	・「島田市における公民館の今後の在り方について」の検討 ・7月11日開催志太地区研修会 各市活動紹介について ・「家庭教育の在り方について」に係る啓発・広報活動について
第3回	7月8日	・六合公民館視察 ・「島田市における公民館の今後の在り方について」の検討
第4回	10月13日	・藤枝市葉梨地区交流センター視察 ・はたちの集いについて ・「島田市における公民館の今後の在り方について」の検討 ・中部地区社会教育委員合同研修会について
第5回	11月8日	・大須賀中央公民館視察
第6回 ※	1月26日	・初倉公民館視察 ・「島田市における公民館の今後の在り方について」の検討 ・令和5年度社会教育団体に対する補助金の交付について ・令和5年度志太地区社会教育委員研修会について ほか
第7回	2月22日	・「島田市における公民館の今後の在り方について」の検討 ・令和5年度社会教育団体に対する補助金の交付について ・令和5年度志太地区社会教育委員研修会について ・はたちの集いについて（報告）

※第6回は会議不成立のため、意見聴取会として開催。

2目 青少年育成費

決算額

11,301,366円

1 青少年健全育成事業

(1) 少年健全育成経費

ア 少年育成教室「しまだガンバ！」

次代を担う子供が集団活動を通して心身ともに健やかでたくましく成長するよう、野外活動を中心として全7回の学習会を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため1泊2日のささまキャンプを中止としたが、代替活動として日帰りの山の家デイキャンプを行った。活動後のアンケート調査では、7回の活動について「よかった」「まあまあよかった」と回答した児童は、90%以上であった。

実施状況

行事名	実施日	実施場所	参加人数(人)		
			令和4年度	令和3年度	増減
開級式、仲間作りレクリエーション	5月21日	ローズアリーナ	29	33	△4
地域散策	6月18日	大津地区			
水の対応訓練	7月2日	神座小学校 プール			
ウミガメ放流体験	9月3日	浜松市 中田島砂丘			

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
-------	---------------	--	--	--

山の家デイキャンプ(代替活動)	9月24日	野外活動センター山の家		
防災体験	10月1日	大津農村環境改善センター		
クラフト&ハイキング 閉級式	11月12日	野外活動センター山の家		

イ 通学合宿推進事業

子供に共同生活の機会を設定することで、お互いの立場を理解し、協力し合う心を育むとともに、地域住民の「地域の子どもは地域で育てる」意識を醸成することを目的に、地域の支援体制等が整う小学校区において実施してきたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1団体のみの実施となった。

名 称	活動概要		参加人数(人)	
			令和4年度	令和3年度
大津っ子通学合宿 (大津小学校)	期間	10月14日～10月15日 (1泊2日)	16	—
	場所	大津農村環境改善センター		
	協力	大津っ子をみんなで育てる協議会、地域ボランティア		

※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大により全ての団体が中止した。

(2) 青少年リーダー育成経費

ア はばたけリーダー！2022

静岡県青少年指導者「初級」、「中級」の認定事業として、青少年リーダーとしての資質や専門的な能力を高めようとする中・高校生を対象に、5月21日から11月12日まで、計8回実施した。

	令和4年度(人)	令和3年度(人)	増 減(人)	備 考
受 講 者 数	14	10	4	令和4年度受講者内訳 中学生12人、高校生2人
うち中級修了者数	4	2	2	
うち初級認定者数	9	6	3	

イ 青年ボランティア講座

地域でボランティア活動を展開しようとする青年に実践的な学習機会を提供することで、青年の地域活動を促進するため、子供との稲作体験、しまだガンバ！などに参加する講座を実施した。

開講場所	開催期間	活動内容	講座生参加人数(人)		
			令和4年度	令和3年度	増減
金谷地区等	令和4年5月21日～ 令和5年3月5日(全11回)	開講式、田植え、稲刈り、 収穫祭、しまだガンバ	5	5	0

(3) はたちの集い開催経費

20歳となった若者を祝い励ますとともに、友人と一堂に会し、これからの将来を互いに鼓舞しあう機会を設けるため、はたちの集いを開催した。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、式典を開催するとともに式典の様子をライブ配信した。

ア 開催日 令和5年1月8日

イ 会 場 総合スポーツセンター ローズアリーナ

ウ 内 容 式 典 午後2時00分～午後2時30分

アトラクション 午後2時30分～午後3時00分

・三味線演奏 (大塚 晴也 氏 津軽三味線奏者)

・歌唱 (Lydia 氏 シンガーソングライター)

エ 対象者 平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた住民登録者及び転出者で島田市はたちの集いに参加を希望する人

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
-------	---------------	--	--

オ はたちの集いの出席状況

対象者数(人)	出席者数(人)	出席率(%)
1,018	741	72.8

(4) 青少年育成支援センター運営経費

青少年の保護・育成に関係する機関及び団体が連携して青少年の補導活動及び相談を総合的かつ効果的に推進するために設置したもので、教育委員会が自治会や青少年育成団体等から推薦を受け委嘱した青少年育成補導委員169人で構成する。街頭補導、地域の青少年声掛け運動など青少年健全育成を推進する事業や子どもをまもる110番の家設置の支援を実施した。

ア 「子どもをまもる110番の家」設置状況

	令和4年度	令和3年度	増減
設置箇所数(箇所)	2,270	2,402	△132

※数字は、年度末における設置箇所数

イ 街頭補導事業

夜間、市内の店舗や公園などを巡回し、声掛け等の補導活動を行い、非行の未然防止に努めた。

	令和4年度	令和3年度	増減
実施回数(回)	68	87	△19
延べ活動人数(人)	282	319	△37
補導件数(件)	52	4	48

ウ 青少年相談(対面相談、電話相談等)

	令和4年度	令和3年度	増減
延べ利用人数(人)	234	361	△127

エ 明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会

市の将来を担う青少年の健全育成を推進することを目的として、「青少年健全育成の部」にて「青少年育成支援センター運営協議会表彰」、「青少年メッセージ」を実施しているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため「明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会」を中止したことから、「青少年育成支援センター運営協議会表彰式」のみ開催した。

(ア) 日 時 令和4年11月19日 午後1時30分～

(イ) 会 場 島田市役所会議棟 大会議室

(ウ) 被表彰者 団体 2団体、個人 1人

オ 学校ネットパトロール

問題行動の未然防止、早期発見・対応に役立てるため、SNSや学校非公式サイトにおける中学生の投稿について現状把握を行った。

	令和4年度	令和3年度	増減
実施校数(校)	6	6	0
調査回数(回/校)	10	3	7
調査件数(件)	372	248	124
委託料(円)	536,800	172,700	364,100

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(5) 放課後子供教室運営経費

放課後、子供が地域住民の見守りのもと自主的に活動する場を提供するもので、岡田公会堂において実施した。

実施期間	活動内容	延べ参加児童人数(人)			事業費(円)
		令和4年度	令和3年度	増 減	
令和4年5月25日から 令和5年2月15日までの水曜日(全22回)	陶芸教室、和菓子作り、軽運動等の全体活動と、鬼ごっこ・折り紙・トランプ・自主学習などの選択活動	439	388	51	383,281 (財源内訳) 県支出金 239,000 一般財源 144,281

(6) 地域学校協働本部運営経費

ア 地域学校協働本部事業

市内全小・中学校に地域学校協働活動推進員(コーディネーター)を1名以上配置した。また、コーディネーターの調整により、学校や地域の実情に合った様々な活動を実施し、学校・家庭・地域が一体となり地域ぐるみで子供を育てる体制を構築した。

学校名	コーディネーター活動実績		ボランティア 延べ人数(人)	事業費(円)
	活動日数(日)	活動時間(時間)		
島一小	2	2.5	0	(財源内訳) 県支出金 824,000 一般財源 424,264
島二小	68	113	169	
島三小	45	67.5	64	
島四小	30	57	0	
六合小	29	23.25	0	
大津小	35	67	362	
伊太小	34	32.25	28	
相賀小	25	44.5	412	
神座小	27	40.5	120	
伊久美小	27	53	123	
初倉小	25	58	80	
島五小	12	22	0	
初倉南小	34	55	117	
六合東小	50	110	667	
金谷小	28	31.25	181	
五和小	37	57.5	42	
川根小	44	72.25	123	
川根中				
島一中	79	172.5	72	
島二中	23	42	68	
六合中	18	23	22	
初倉中	33	40	103	
金谷中	31	53	111	
合計	736	1,237	2,864	

イ ペアレントサポーター(家庭教育支援員)活用事業

核家族化や地縁的つながりの希薄化などを背景として、家庭教育の困難化や家庭の孤立化が指摘されるなど、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育を行うことができるよう島田市ペアレントサポーターが親子の居場所づくりや家庭教育講座を開催した。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

事業名	内 容	令和4年度		令和3年度		成果	事業費 (円)
		回数	人数	回数	人数		
親学講座	小学校新1年生の親を対象に、就学時健診や入学説明会の場でペアレントサポーターが親学ノートを活用した講座を実施した。	17	777	10	464	ペアレントサポーターが「よりよい親子関係を築くポイント」を伝え、入学前の保護者の不安を和らげた。	178,111 (財源内訳) 県支出金 118,000 一般財源 60,111
子育て広場「ぐう・ちよき・ばあ」	市内1か所に子育て広場を開設した。保護者同士が気軽に集まることができる場を提供し、ペアレントサポーターが家庭教育における不安や悩みについて相談に応じた。 開催日：毎月1回 場所：島一中地域連携室	12	495	12	371	ペアレントサポーターがスタッフとして常駐し、家庭教育における相談に応じたことで、保護者の不安や悩みの解消につながった。また、子育て広場が親子の居場所づくりとなった。	

(7) 子ども・若者支援地域協議会運営経費

ア 島田市子ども・若者支援地域協議会

社会生活を円滑に営む上で困難を有する子供・若者に対して、関係機関等が効果的かつ円滑な支援を行うため、関係機関の情報交換や自殺対策とゲートキーパーについての研修等を実施し、ひきこもり等の問題を抱える家庭の現状改善に向けた一助となった。

開催日	内 容	参加者数 (人)
令和4年9月27日	《島田市子ども・若者支援地域協議会代表者会議》 ・第2期島田市子ども・若者育成支援計画の推移状況について ・子ども・若者支援の活動について	9
令和4年10月15日	《子ども・若者支援地域協議会講演会》 Zoomウェビナー ライブ配信 講師：静岡大学教育学部 小林朋子 氏 「子どものレジリエンスを育てるには」	57
年3回開催 (6/24、10/6、2/2)	《島田市子ども・若者支援地域協議会実務者会議》 子育て応援課・学校教育課・教育センター・福祉課・健康づくり課・商工課・社会教育課・島田市社会福祉協議会の担当者により、情報交換、課題検討、ミニ研修会等を行った。	38
年4回開催 (8/19、9/28、11/18、1/19)	《不登校・ひきこもり家族教室「みなと 島田カフェ」》 福祉課自立支援地域生活支援必須事業との共催で、ひきこもりから立ち直るための講話やフリートーク等を行った。	37

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明	
年2回開催 (8/19、11/18)	《不登校・ひきこもり支援者向け講座》 福祉課自立支援地域生活支援必須事業との共催で、ひきこもり支援についての講座を開催した。	16
年2回開催 (10/27、12/14)	《ゆったり座談会》 テーマ設定、話す順序等を決めず、自由に語り合う場を設けた。	1

(8) しずおか寺子屋運営経費

家庭において、学習習慣が身につけていない子供が、主体的に学習に取り組む習慣を身につけることができるよう、地域の人材（教員OB、大学生等）を活用して放課後等における学習支援を実施した。

事業名	実施期間	対象	延べ参加児童生徒数（人）			事業費（円）
			令和4年度	令和3年度	増減	
しまだはつくら 寺子屋	6/1～2/22	初倉地区在住の 小学3年生	376	376	0	520,969 (財源内訳) 県支出金 327,000 一般財源 193,969
夏季、冬季 はつくら寺子屋	7/19～22 12/24、25	初倉地区在住の 小中学生	107	130	△23	

2 子育て学習推進事業

(1) 各種講座開講経費

ア 家庭教育学級開講事業

心身ともに健やかな子供の成長を育むため、保護者として必要な子供との関わり方や、子育ての悩みを相談し合える仲間づくりの場として家庭教育学級を開講した。

事業名	内 容	学級生数			成 果
		令和4年度	令和3年度	増減	
家庭教育 学級 (市内 17小学校)	つながるトーク・親子読書・読み聞かせ講座・食育講座・給食試食会・リラックスヨガ・クッキング、子育て講座等	833 (17学級)	834 (17学級)	△1	予定どおり開講できたが、その後、学級によっては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となる学習会があった。各学級ができる内容で、親子の関わり、親同士のつながりを深める場となった。
家庭教育 講演会	親子が笑顔になる言葉かけ 講師（ASD）発達支援アドバイザー Shizu 氏	240	—	240	共感する言葉かけ、出来ないことより出来ていることに注目して、スモールステップでのかわり方を学び、親が笑顔でいることが親子ともにハッピーになることを学ぶ講演会を実施した。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大により家庭教育講演会を中止した。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明					
-------	---------------	--	--	--	--	--

イ 子育て講座等開講事業

子供の「生きる力」の基礎的な資質や能力を培う上で重要な役割を担う親力の向上を図るため、子供の発達段階に応じた学習プログラムを実施した。新型コロナウイルス感染対策を講じ、定員等の規模を縮小した。「一人で悩んでいたが、話してみるとみんな同じだとわかって安心した」「言葉のかけ方、受け止め方を変えることで子供の反応が変わった」等の感想が聞かれた。

事業名	内 容	令和4年度		令和3年度		成 果
		回数	人数	回数	人数	
親子のふれあい講座	2歳から3歳児の親子を対象に、家庭でできる遊びや運動、工作を交えた親子参加型の講座を開催した。土曜日開催し、父親の参加を促した。	1	72	1	64	親子でできる遊びや運動、簡単な工作等、親子のふれあいを通して、絆を育み、家庭における教育力の向上につながった。
小・中学生を持つ親の講座	将来のために今から身につけたい金融知識や不登校の子供との関わり方の講座を実施し、子育ての不安や悩みの軽減を目指した。休日午前中に2回実施した。	2	52	2	42	子供が成長していく上で身につけたい金融教育や思春期の子供とのコミュニケーション方法を学び、家庭における教育力の向上やよりよい親子関係を築くきっかけとなった。
幼児・児童を持つ親の講座	0歳から9歳の子を持つ親を対象に、アドラー心理学、自己肯定感の伸ばし方、スマホの使い方の講座、性教育やジェンダーに関する講座を開催した。2日間の連続講座1回と単発講座を4回実施した。	5	179	4	112	アドラー心理学を取り入れた実践的な声かけの方法や子供の自己肯定感の伸ばすための関わり方、自分や相手を守るために子供に知ってほしいの性の知識について学び、子育ての悩み・不安の解消と家庭教育力の向上、より良い親子関係を構築するための場となった。
初めて0歳児を持つ親の講座	0歳児を初めて育てている母親のための仲間づくり、親子の絆づくり、少し先を見通した育児の基礎知識の学習会を開催した。	24	500	24	566	育児の基礎知識の学習と、他の母親との子育てに関する悩みの共有により、初産の母親が抱える孤独感や不安を解消するとともに、継続的な母親同士のつながりを形成した。
中学生赤ちゃんふれあい体験講座	中学3年生を対象に、誕生学の講座及び赤ちゃん親子と交流し、命の尊さや家族の大切さを学ぶ講座を開催した。	2	349	-	-	中学生が赤ちゃん親子とふれあったことで、赤ちゃんや育児に対するイメージが良くなったり、将来子供を育てたいという希望が持てたりと、心境の変化をもたらした。
パパとママのための絵本の広場	親子で読書に親しむきっかけづくりのために大人がじっくり絵本にふれあう講座を実施した。	2	19	1	9	親が絵本と触れ合うきっかけをつくり、家庭での読み聞かせにつなげる講座となった。

※令和3年度の中学生赤ちゃんふれあい体験講座は新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																																																												
ウ 子ども読書活動推進事業	<p>親子で読書に親しむきっかけづくりのため、公民館等の図書コーナーを会場にボランティアによる「おはなし会」を開催し、絵本の読み聞かせ等を行った。また、社会教育施設を利用した読み聞かせ団体の活動支援を行い、親子の絵本に触れる場の創出に寄与した。</p> <p>(ア) おはなし会開催内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ボランティア団体名</th> <th rowspan="2">活動拠点</th> <th rowspan="2">内 容</th> <th colspan="2">親子参加人数 (人)</th> </tr> <tr> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>えのころ</td> <td>大津農村環境改善センター</td> <td>読み聞かせ・工作・てぶくろ人形・英語遊び等</td> <td>870</td> <td>520</td> </tr> <tr> <td>おはなしのへやねこバス</td> <td>六合公民館</td> <td>読み聞かせ</td> <td>6</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>おはなしエプロン</td> <td>初倉公民館</td> <td>読み聞かせ・わらべうた・パネルシアター・工作等</td> <td>123</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>しろやま読み聞かせクラブ</td> <td>初倉西部ふれあいセンター</td> <td>読み聞かせ・創作紙芝居、季節行事で高齢者と交流</td> <td>291</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>さくらんぼ</td> <td>金谷図書館</td> <td>読み聞かせ・パネルシアター・手袋人形・手遊び等</td> <td>462</td> <td>293</td> </tr> <tr> <td>おはなしアラカルト</td> <td>伊久身農村環境改善センター</td> <td>読み聞かせ・絵本の中の菓子作り</td> <td>17</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「おはなしのへやねこバス」及び「おはなしアラカルト」については、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。</p> <p>(イ) 読み聞かせボランティア研修</p> <p>静岡県立中央図書館の新刊サロンに参加し、新刊の傾向や内容について学びを深めた。</p> <p>日時：令和4年10月19日（水）10：30～12：00</p> <p>場所：静岡県立中央図書館</p> <p>(2) 託児員派遣事業</p> <p>子育て支援及び女性の積極的な社会参加を促すため、市などが行う講座・講演会等に託児員を派遣した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣実人員(人)</td> <td>402</td> <td>400</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ派遣回数(回)</td> <td>114</td> <td>119</td> <td>△5</td> </tr> <tr> <td>延べ託児人数(人)</td> <td>608</td> <td>599</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>派遣委託料(円)</td> <td>842,600</td> <td>891,999</td> <td>△49,399</td> </tr> </tbody> </table>				ボランティア団体名	活動拠点	内 容	親子参加人数 (人)		令和4年度	令和3年度	えのころ	大津農村環境改善センター	読み聞かせ・工作・てぶくろ人形・英語遊び等	870	520	おはなしのへやねこバス	六合公民館	読み聞かせ	6	—	おはなしエプロン	初倉公民館	読み聞かせ・わらべうた・パネルシアター・工作等	123	68	しろやま読み聞かせクラブ	初倉西部ふれあいセンター	読み聞かせ・創作紙芝居、季節行事で高齢者と交流	291	310	さくらんぼ	金谷図書館	読み聞かせ・パネルシアター・手袋人形・手遊び等	462	293	おはなしアラカルト	伊久身農村環境改善センター	読み聞かせ・絵本の中の菓子作り	17	—	区分	令和4年度	令和3年度	増減	派遣実人員(人)	402	400	2	延べ派遣回数(回)	114	119	△5	延べ託児人数(人)	608	599	9	派遣委託料(円)	842,600	891,999	△49,399
ボランティア団体名	活動拠点	内 容	親子参加人数 (人)																																																										
			令和4年度	令和3年度																																																									
えのころ	大津農村環境改善センター	読み聞かせ・工作・てぶくろ人形・英語遊び等	870	520																																																									
おはなしのへやねこバス	六合公民館	読み聞かせ	6	—																																																									
おはなしエプロン	初倉公民館	読み聞かせ・わらべうた・パネルシアター・工作等	123	68																																																									
しろやま読み聞かせクラブ	初倉西部ふれあいセンター	読み聞かせ・創作紙芝居、季節行事で高齢者と交流	291	310																																																									
さくらんぼ	金谷図書館	読み聞かせ・パネルシアター・手袋人形・手遊び等	462	293																																																									
おはなしアラカルト	伊久身農村環境改善センター	読み聞かせ・絵本の中の菓子作り	17	—																																																									
区分	令和4年度	令和3年度	増減																																																										
派遣実人員(人)	402	400	2																																																										
延べ派遣回数(回)	114	119	△5																																																										
延べ託児人数(人)	608	599	9																																																										
派遣委託料(円)	842,600	891,999	△49,399																																																										
3目 生涯学習推進費	決算額	855,324円																																																											
1 生涯学習推進事業	(1) 生涯学習推進事務費																																																												
ア 生涯学習推進協議会（委員：11人）	<p>生涯学習推進協議会は、家庭教育を含む生涯学習関係者等により構成している。平成31年3月に第2次島田市生涯学習推進大綱を策定し、関係者への配布や施設への配架、市ホームページ公表等により周知を図った。</p> <p>大綱の広報啓発活動と生涯学習を推進する事業計画について協議を重ね、ワールドカフェの開催及びFM島田への出演、フェスタしまだへ参加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>開催日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>5月24日</td> <td>年間活動計画について協議</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>7月26日</td> <td>今年度の広報啓発活動について協議</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>9月28日</td> <td>FM島田出演、委員研修会等について協議</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>11月16日</td> <td>広報しまだ掲載内容、フェスタしまだ出展について協議</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>1月10日</td> <td>フェスタしまだ展示内容の協議</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	開催日	内 容	第1回	5月24日	年間活動計画について協議	第2回	7月26日	今年度の広報啓発活動について協議	第3回	9月28日	FM島田出演、委員研修会等について協議	第4回	11月16日	広報しまだ掲載内容、フェスタしまだ出展について協議	第5回	1月10日	フェスタしまだ展示内容の協議																																							
区 分	開催日	内 容																																																											
第1回	5月24日	年間活動計画について協議																																																											
第2回	7月26日	今年度の広報啓発活動について協議																																																											
第3回	9月28日	FM島田出演、委員研修会等について協議																																																											
第4回	11月16日	広報しまだ掲載内容、フェスタしまだ出展について協議																																																											
第5回	1月10日	フェスタしまだ展示内容の協議																																																											

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(2) 各種講座開講経費

ア 市民学級開講事業

自発的な意欲に基づいた学習の場を通して豊かな人間性を養い、仲間づくりを通して地域づくりを推進することを目的に活動した。

(単位：回、人)

区 分	令和4年度			令和3年度			増 減		
	学級生	回数	参加者	学級生	回数	参加者	学級生	回数	参加者
中央市民学級	10	9	58	19	8	128	△9	1	△70

イ 高齢者学級開講事業

65歳以上の市内在住者を対象に生きがいの創造及び地域での社会参加等を目的として、学習と交流の場を提供した。

(単位：回、人)

区 分	令和4年度			令和3年度			増 減		
	学級生	回数	参加者	学級生	回数	参加者	学級生	回数	参加者
中央高齢者学級	14	10	110	21	9	112	△7	1	△2

ウ 生涯学習大会フェスタしまだ2023！

生涯学習の推進を図ることを目的に、市民が団体やグループで学習した成果や活動内容を発表する場として例年生涯学習大会を開催している。令和4年度はステージ・展示発表、フリーマーケット等の催しを実施した。

(ア) 開催日 令和5年3月4日～3月5日

(イ) 会 場 島田市民総合施設プラザおおるり

(ウ) 内 容 ステージ・展示発表、地場産品マーケット、フリーマーケット、バルーンアート、パワーリハビリ体験

(エ) 効果等 ステージ発表も実施したため、多くの団体が一年間の成果を発表することが出来た。各グループの作品展示の鑑賞を通し、参加者が交流を図った。

エ 東海道金谷宿大学事業

生きがいのある生活を実現するため、新たな知識・技術を学び、地域文化の向上に貢献することを目的に開講した。「教えたい人」が教授として講座を開講し、「学びたい人」が学生として受講した。

年度	募集講座数	開講講座数	教授数(人)	学生数(人)
4	87	83	56	875
3	92	86	57	909
増減	△5	△3	△1	△34

オ 社会教育講座

講座のほとんどは、会場に受講者を迎える対面式であることから、仕事や家庭の事情で受講することができない市民がいる。市民の学びの場を確保することについて、講座の提供方法を工夫することで、解決につながるかと考え、市内で講座を開催している方を対象に、社会教育講座を開催した。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
-------	---------------	--	--

事業(講座)名	事業の内容	事業の成果	事業費(円)
地域課題研究事業 「講師業に役立つ！スマートフォンで簡単！動画撮影・編集講座」	講師に森口桂祐氏（ECコンピューティング）、アシスタントに天野良太氏（キネティックデザイン）を招き、講座を開催している方を対象に、講座の動画配信方法を学ぶ講座を金谷公民館で開催した。 ・第1回 動画を作る前に知っておきたいこと & 機材を知ろう！動画作成にはコレが必要 実施日：7/20 参加者：12人 ・第2回 スマホを使って動画を撮ってみよう 実施日：8/17 参加者：10人 ・第3回 動画編集をしてみよう① 実施日：9/14 参加者：12人 ・第4回 動画編集をしてみよう② 実施日：10/12 参加者：12人 ・第5回 YouTube にアップしてみよう！ 実施日：11/16 参加者：10人	受講者からは「今後講座動画を作成したい」や「作成した動画をサイトへ投稿し公開予定」との回答が多く、動画による講座開講への意欲が見られた。	177,807 (財源内訳) (公財)静岡県市町村振興協会 地域振興セミナー開催事業助成金 118,000 一般財源 59,807
地域課題研究事業 「はじめてのZoom活用講座」	天野良太氏（キネティックデザイン）を講師に招き、講座を開講している方を対象に講座開催にZoomを活用する講座を開催した。 ・第1回 基礎編 実施日：12/7 参加者：8人 ・第2回 応用編 実施日：12/21 参加者：7人	Zoomの活用方法を教え、体験する機会を設けたことで、オンライン講座導入の動機付けとなった。	70,000 (財源内訳) (公財)静岡県市町村振興協会 地域振興セミナー開催事業助成金 46,000 一般財源 24,000

4目 公民館費	決算額	131,872,161円
---------	-----	--------------

1 委員報酬

(1) 公民館運営審議会委員

公民館3施設に審議会を設置し、各施設における各種事業の企画や効果について調査審議した。

施 設	令和4年度		
	委員(人)	回数(回)	延べ出席者数(人)
六合公民館	6	2	12
初倉公民館	6	2	11
金谷公民館	6	3	12

(2) 改善センター運営委員会委員

農村環境改善センター2施設に運営委員会を設置し、各施設における各種事業の計画及びセンターの利活用について協議した。

施 設	令和4年度		
	委員(人)	回数(回)	延べ出席者数(人)
大津農村環境改善センター	6	2	11
伊久身農村環境改善センター	6	2	11

(3) ふれあいセンター運営委員会委員

ふれあいセンター2施設に運営委員会を設置し、各施設における各種事業の計画及びセンターの利活用について協議した。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

施 設	令和4年度		
	委員(人)	回数(回)	延べ出席者数(人)
北部ふれあいセンター	6	2	12
初倉西部ふれあいセンター	6	2	11

(4) 川根地区センター運営委員会委員

運営委員会を設置し、各施設における各種事業の計画及びセンターの利活用について協議した。

施 設	令和4年度		
	委員(人)	回数(回)	延べ出席者数(人)
川根地区センター	6	2	11

2 公民館運営事業

(1) 各種講座開講経費

ア 市民学級開講事業

自発的な意欲に基づいた学習の場を通して豊かな人間性を養い、仲間づくりを通して地域づくりを推進することを目的に、各公民館及び川根地区センターにおいて活動した。(単位：回、人)

区 分	令和4年度			令和3年度			増 減		
	学級生	回数	参加者	学級生	回数	参加者	学級生	回数	参加者
六合市民学級	50	63	800	54	58	745	△4	5	55
あゆみ学級(初倉)	27	12	206	26	11	188	1	1	18
かなや未来塾(金谷)	38	19	297	43	25	344	△5	△6	△47
川根市民学級	16	23	267	16	15	165	0	8	102
合 計	131	117	1,570	139	109	1,442	△8	8	128

イ 高齢者学級開講事業

65歳以上の市内在住者を対象に生きがいの創造及び地域での社会参加等を目的として、各公民館及び公民館類似施設において、学習と交流の場を提供した。(単位：回、人)

区 分	令和4年度			令和3年度			増 減		
	学級生	回数	参加者	学級生	回数	参加者	学級生	回数	参加者
大津高齢者学級	36	51	502	55	65	766	△19	△14	△264
六合高齢者学級	95	108	1,243	107	88	1,079	△12	20	164
生涯学級(初倉)	98	9	581	116	7	492	△18	2	89
伊久身高齢者学級	30	6	119	28	5	101	2	1	18
ほほえみ学級(北部)	23	10	156	23	10	169	0	0	△13
もみじ学級(金谷)	40	11	214	40	11	215	0	0	△1
すこやか学級(川根)	28	10	192	33	9	181	△5	1	11
合 計	350	205	3,007	402	195	3,003	△52	10	4

ウ 社会教育講座開講状況

子供体験講座や親子ふれあい講座など、各種の社会教育講座を開催した。地域住民の知識の習得及び生活文化の向上を図るため、地域の実情に応じた学習の機会を提供し、生涯学習の推進に努めた。

施 設	令和4年度		令和3年度		増 減	
	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
六合公民館	78	1,434	71	1,162	7	272
初倉公民館	125	1,511	108	1,383	17	128
金谷公民館	124	1,059	98	749	26	310
大津農村環境改善センター	66	719	62	614	4	105
伊久身農村環境改善センター	12	99	9	83	3	16

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明					
-------	---------------	--	--	--	--	--

北部ふれあいセンター	63	680	64	711	△1	△31
初倉西部ふれあいセンター	22	226	22	211	0	15
川根地区センター	12	265	5	107	7	158
合 計	502	5,993	439	5,020	63	973

(2) 公民館施設管理運営経費

ア 利用状況

施 設	令和4年度		令和3年度		増 減	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)
六合公民館	2,635	38,378	2,277	29,787	358	8,591
初倉公民館	1,871	33,130	1,714	37,201	157	△4,071
金谷公民館	2,446	28,099	2,236	31,073	210	△2,974
大津農村環境改善センター	740	9,908	633	6,835	107	3,073
伊久身農村環境改善センター	141	1,360	134	1,247	7	113
北部ふれあいセンター	442	6,647	397	7,516	45	△869
初倉西部ふれあいセンター	707	8,751	695	10,658	12	△1,907
川根地区センター	1,432	22,504	1,197	22,800	235	△296
合 計	10,414	148,777	9,283	147,117	1,131	1,660

イ 修繕の状況

事業名	事業費(円)	備 考
伊久身農村環境改善センター調理実習室空調設備修繕工事	374,000	株豊国電気
初倉西部ふれあいセンター畳及び襖の入れ替え	182,820	大塚豊店
川根地区センター駐車場区画線修繕	144,100	株交研標示
初倉地域総合センター避難誘導灯設備取替修繕	129,800	株太田
六合公民館工作室空調機修繕	119,900	有名取サービス
その他工事	1,350,077	株北川建具 ほか
合 計	2,300,697	

ウ 工事の状況

事業名	事業費(円)	備 考
伊久身農村環境改善センター合併浄化槽修繕工事	2,508,000	朝日設備株
初倉西部ふれあいセンター屋根等改修工事	3,894,000	信栄建設株
北部ふれあいセンターユニバーサルトイレ改修工事	2,860,000	朝日設備株
	(財源内訳)	
	自治総合センターコミュニティ 助成金 2,800,000	
	一般財源 60,000	
合 計	9,262,000	

エ 委託業務の状況

事業名	施設名	事業費(円)	備 考
夜間管理業務委託	金谷公民館、六合公民館、初倉公民館、大津農村環境改善センター、伊久身農村環境改善センター、北部ふれあいセンター、初倉西部ふれあいセンター、川根地区センター	10,146,419	(公社) 島田市シルバー人材センター ほか1者

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
空調設備保守点検業務委託	金谷公民館、六合公民館、初倉公民館、大津農村環境改善センター、北部ふれあいセンター、初倉西部ふれあいセンター	5,811,410	(株)エクノスワタナベ島田営業所 ほか4者
エレベーター保守点検業務委託	金谷公民館、六合公民館、初倉公民館、北部ふれあいセンター	3,713,295	東芝エレベーター(株)静岡支店 ほか1者
自家用電気工作物保安管理業務委託	金谷公民館、六合公民館、初倉公民館、北部ふれあいセンター、川根地区センター	1,757,931	福島電気管理事務所 ほか4者
浄化槽保守点検業務委託	金谷公民館、六合公民館、初倉公民館、大津農村環境改善センター、伊久身農村環境改善センター、北部ふれあいセンター、初倉西部ふれあいセンター、川根地区センター	3,337,950	(株)富永事業 ほか4者
特定建築物定期報告業務委託	金谷公民館、六合公民館、初倉公民館、大津農村環境改善センター、北部ふれあいセンター、川根地区センター	2,033,090	(株)塚本設計 ほか2者
清掃業務委託	金谷公民館、六合公民館、初倉公民館、大津農村環境改善センター、伊久身農村環境改善センター、北部ふれあいセンター、初倉西部ふれあいセンター、川根地区センター	5,199,680	(公社)島田市シルバー人材センター ほか1者
消防設備保守点検業務委託 ほか7件	金谷公民館、六合公民館、初倉公民館、大津農村環境改善センター、伊久身農村環境改善センター、北部ふれあいセンター、初倉西部ふれあいセンター、川根地区センター	3,410,551	日本管財(株) ほか8者
合 計		35,410,326	

(3) 金谷生涯学習センター施設改修事業【令和4年度新規事業】

ア 工事等の状況

事業名	事業費(円)	備 考
施設改修工事	53,350,000	信栄建設(株)
施設改修工事監理業務	1,408,000	笠井建築設計事務所
合 計	54,758,000	

イ 修繕等の状況

事業名	事業費(円)	備 考
非常発電装置等補修工事	946,000	(株)日本防災システム
事務機器等の配線接続	220,000	(株)静岡情報処理センター
電話回線設備等の調整	53,900	(株)門田電話工業所
その他修繕3件	118,800	信栄建設(株) ほか
合 計	1,338,700	

5目 図書館費

決算額

91,208,083円

1 委員報酬

図書館協議会委員 10人

図書館協議会開催状況

区分	開催日	内 容
第1回	令和4年5月24日	令和3年度図書館利用状況、令和4年度事業計画
第2回	令和4年10月6日	安城市図書館情報館(愛知県安城市)視察研修
第3回	令和4年11月15日	令和4年度図書館利用状況、令和4年度事業中間報告、視察研修報告
第4回	令和5年2月28日	令和4年度図書館事業報告、令和5年度図書館予算案

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

2 図書館サービス事業

(1) 図書館資料充実事業

ア 図書等の購入

区 分	令和4年度		令和3年度		増減	
	購入数(点)	金額(円)	購入数(点)	金額(円)	購入数(点)	金額(円)
島田図書館	5,459	10,747,287	5,765	11,259,101	△306	△511,814
金谷図書館	2,243	4,227,048	2,419	4,449,898	△176	△222,850
川根図書館	1,297	2,270,612	1,332	2,389,520	△35	△118,908
合 計	8,999	17,244,947	9,516	18,098,519	△517	△853,572

イ 選書等の状況

選書に際しては、各館の所蔵の状況、収集方針、話題性、利用者からのリクエスト等から、一般書、児童書、視聴覚資料のバランスを考慮した。また、選書会議の結果、購入しないことを決定したリクエストに対しては、県内外の公立図書館との相互貸借制度により対応した。

ウ 資料数

書架の状態を適正に保つため、新たな資料の登録と内容が古くなった資料の除籍を行った。

※下表中、「登録」には購入のほか寄贈されたもの及び所蔵館変更分を含む。

島田図書館 (単位：点)

区 分	令和4年度末	令和4年度中増減		令和3年度末
		登録	除籍	
一般用図書	168,186	4,194	2,208	166,200
児童用図書等	58,999	1,529	1,306	58,776
郷土資料	14,548	113	0	14,435
参考図書	14,494	113	5	14,386
雑 誌	8,465	1,374	1,392	8,483
視聴覚資料	8,990	112	33	8,911
合 計	273,682	7,435	4,944	271,191

※地域館を除く。別館を含む。

金谷図書館 (単位：点)

区 分	令和4年度末	令和4年度中増減		令和3年度末
		登録	除籍	
一般用図書	71,060	1,628	902	70,334
児童用図書等	32,792	674	845	32,963
郷土資料	3,953	66	0	3,887
参考図書	1,865	14	0	1,851
雑 誌	3,110	756	757	3,111
視聴覚資料	2,074	52	0	2,022
合 計	114,854	3,190	2,504	114,168

川根図書館 (単位：点)

区 分	令和4年度末	令和4年度中増減		令和3年度末
		登録	除籍	
一般用図書	23,984	818	303	23,469
児童用図書等	19,985	555	317	19,747
郷土資料	1,818	47	0	1,771
参考図書	291	7	0	284
雑 誌	742	284	367	825

款 項 目

主 要 事 業 の 説 明

視聴覚資料	830	18	7	819
合 計	47,650	1,729	994	46,915

3館合計

(単位：点)

区 分	令和4年度末	令和4年度中増減		令和3年度末
		登録	除籍	
一般用図書	263,230	6,640	3,413	260,003
児童用図書等	111,776	2,758	2,468	111,486
郷土資料	20,319	226	0	20,093
参考図書	16,650	134	5	16,521
雑 誌	12,317	2,414	2,516	12,419
視聴覚資料	11,894	182	40	11,752
合 計	436,186	12,354	8,442	432,274

エ 図書等の貸出

(7) 相互貸借

(単位：点)

区 分	貸出点数		借受点数	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
島田図書館	773	893	788	727
金谷図書館	225	242	155	200
川根図書館	141	156	40	42
合 計	1,139	1,291	983	969

※「貸出」は市外他館に貸し出したもの、「借受」は市外他館から借り受けたもの。

(イ) 館外貸出状況 ※地域館を除く。

貸出点数(団体貸出・相互貸借を含む)

(単位：点)

区 分	令和4年度	令和3年度	前年度対比(%)
島田図書館	338,053	356,271	94.9
金谷図書館	107,522	122,008	88.1
川根図書館	23,888	27,805	85.9
合 計	469,463	506,084	92.8

貸出人数(団体貸出・相互貸借を含む)

(単位：人・団体)

区 分	令和4年度	令和3年度	前年度対比(%)
島田図書館	97,807	113,464	86.2
金谷図書館	31,713	35,030	90.5
川根図書館	9,250	10,360	89.3
合 計	138,770	158,854	87.4

登録者の状況

(単位：人・団体)

区 分	令和4年度末	令和3年度末	差引増減
個 人	66,479	65,155	1,324
団 体	375	397	△22
合 計	66,854	65,552	1,302

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

オ 雑誌スポンサー制度

事業所に雑誌スポンサーになってもらい、雑誌の提供を受けた。

(単位：事業所・誌)

区 分	令和4年度末	令和3年度末	差引増減
スポンサー数	59	49	10
提供雑誌数	91	78	13

(2) 図書館システム運用経費

図書館システムは、島田・金谷・川根図書館3館のネットワークを基幹として、貸出・返却・予約・検索等連携して活用している。

ア システム設置場所

島田図書館、島田図書館別館、金谷図書館、川根図書館、六合公民館、初倉地域総合センター、北部ふれあいセンター、大津農村環境改善センター

イ 経費

項目	事業の概要	事業費(円)	備 考
委託料	図書館ネットワーク用ルータ保守業務委託	50,160	西日本電信電話(株)静岡支店
	図書館基幹システム保守業務委託 (R2.2.1~R7.1.31)	6,580,200	(株)静岡情報処理センター
賃借料	図書館基幹システム機器等賃貸借 (債務負担 R2.2.1~R7.1.31)	12,714,240	三菱電機クレジット(株)中部支店

3 読書普及事業

(1) 読書啓発経費

- ・「こどもの読書週間」や秋の「読書週間」にイベントを開催した。
- ・市民の学習意欲や知識向上のため、文学講座等を開催した。
- ・乳幼児とその保護者を対象とした読書啓発事業として、7か月児にブックスタート事業を実施した。
- ・保育園・幼稚園、また地域子育て支援センター等に出向いて行うおはなし会「おはなし宅配便」と「おはなしギフト」を実施した。

行事名	開催日・期間	参加人数	内 容
こどもの読書週間 企画展示、 イベント	4月23日 ～5月12日 (こどもの読書週間)	—	標語「ひとみキラキラ 本にどきどき」 内容 テーマに沿った本を館内に展示し、読書啓発を行った。 (島田) 「自伝・伝記絵本」 著名人の自伝、伝記絵本を特集展示 (金谷) 「心がやさしくなる本」 「心がやさしくなる」をテーマにした本の特集 (川根) 「名作をありがとう！エリック・カールさん」 「はらぺこあおむし」などエリック・カールの絵本特集
	4月1日 ～1月14日	48人	「しまだとしょかん花さき山」【令和4年度新規事業】 内容 絵本「花さき山」にちなみ、誰かのために行った「優しいこと」を花形の用紙に書いてもらい、館内に掲示した。 対象 小学生以下の子供 場所 島田図書館3階児童フロア
	4月23日 ～5月15日	187人	「クローバーカード」 内容 児童コーナーの書架に隠されている、5個のクローバーの絵を探すイベント 対象 小学生以下の子供 場所 金谷図書館児童コーナー

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明	
ほんのむしカード	7月1日 ～9月4日	(島田) 延べ711人 (金谷) 延べ402人 (川根) 延べ95人	内容 期間中、本を借りるごとに「ほんのむしカード」にスタンプを押し、10個以上貯めた子供に景品や認定証を渡し、称揚した。 対象 島田・金谷・川根図書館を利用する小学生以下の子供
ひみつカード	11月24日 ～1月15日	141人	内容 期間内に本を借りると1日1回、絵の一部を配付し、9枚集めると絵が完成する。 対象 金谷図書館を利用する小学生以下の子供
夏休み小学生一日体験図書館員	(島田) 7月28日、29日 8月3日、4日	8人	内容 図書館のカウンター業務、配架、本の検索等を体験 対象 市内の小学4～6年生
	(金谷) 8月3日、5日	4人	
	(川根) 7月28日	2人	
ママフィットネス講座	9月26日	8人	内容 書架に囲まれた図書館のフロアでフィットネスを行った後、本や図書館を身近に感じてもらうための書架めぐりツアーを行った。 講師 櫻井 ゆかり 氏 場所 島田図書館
読書週間企画	10月27日 ～11月9日 (読書週間)	(島田) 延べ107人 (金谷) 延べ175人	標語 「この一冊に、ありがとう」 内容 「おはなしマラソン」 読み聞かせグループや図書館職員によるおはなし会 (島田) 開催日 11月5日 協力団体 5団体 1個人 (金谷) 開催日 11月6日 協力団体 5団体、2個人
	10月27日 ～11月13日	131人	「どんぐりカード」 内容 児童コーナーに隠された、どんぐりのイラストを探すイベント 対象 小学生以下の子供 場所 金谷図書館児童コーナー
	10月1日 ～10月30日	82人	川根図書館・川根小学校合同「ハロウィン読書ビンゴ」 内容 川根小学校児童が、図書館又は学校図書館の本を借りたらハロウィンビンゴ用紙に1日1つシールを貼る。期間内にビンゴ(5マス揃う。)となった児童にはプレゼントを渡した。
図書館講座	9月24日	18人	内容 「信仰から見た大井川流域の歴史」 講師 矢澤 和宏 氏 会場 金谷公民館みんくる2階 集会室
文学講座	11月23日	28人	内容 「古典落語の世界」 講師 服部 正美 (月の輪熊八) 氏 会場 島田図書館2階フロア
子ども講座	2月25日	13人	内容 「楽しい!理科教室～空気の不思議を感じよう!～」 講師 戸田 正吾 氏 会場 川根小学校1階 会議室ほか

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明	
図書館ボランティア養成講座	8月5日、18日 23日	9人	内容 本の修理ボランティア講座 講師 長野 将人 氏 会場 島田市役所会議棟 大会議室及びD会議室
	9月28日	13人	内容 書架整理ボランティア講座 講師 島田図書館職員 会場 島田図書館
	2月5日	21人	内容 初心者向け読み聞かせボランティア講座 講師 静岡県子ども読書アドバイザー 小池 千鶴 氏 会場 金谷公民館みんくる2階 集会室
ブックスタート	24回	594人	対象 7か月児とその保護者 内容 乳児期から親子で絵本を読む大切さを説明するとともに、おすすめ絵本から希望の絵本等を贈呈した。 会場 保健福祉センター乳幼児室
おはなし宅配便	(島田) 19園 36回	1,127人	対象 市内の保育園・幼稚園の乳幼児 内容 図書館職員や読み聞かせボランティアが保育園・幼稚園を訪問し、読み聞かせや手遊びを行い、本に親しむことや図書館来館のきっかけづくりを行った。
	(金谷) 5園 15回	398人	
おはなしギフト	(島田) 6施設 6回	136人	対象 市内の子育て支援センターの来場者 内容 図書館職員や読み聞かせボランティアが子育て支援センターを訪問し、読み聞かせや手遊びを行い、本に親しむことや図書館来館のきっかけづくりを行った。
	(金谷) 3施設 3回	81人	
	(川根) 1施設 1回	12人	
ぬいぐるみの図書館おとまり会	11月19日 ～11月20日	15組	対象 図書館カードを持つ、幼児から小学校低学年まで 内容 初日にぬいぐるみと一緒におはなし会へ参加。翌日、ぬいぐるみが選んだ本2冊を貸し出し、図書館を探検しているぬいぐるみの写真を記載したブックレットをプレゼントした。
図書館福袋	1月5日	58人	対象 島田図書館の来館者 内容 図書館員が各自で選んだテーマに沿ったおすすめ本を2冊包装して貸し出した。
図書館おみくじ	1月5日 ～1月6日	配布枚数 島田 700枚 金谷 350枚 川根 180枚 地域館320枚	対象 3館及び地域館等の来館者 内容 図書館職員が選んだ「一般用おすすめ本」「児童用おすすめ本」の内容に見合った運勢を添えたおみくじを作成。くじは、貸出の有無に関係なく、希望者に引いてもらうことにより、本を借りてもらおうきっかけづくりを行った。
本の帯まつり	募集：6月14日 ～12月28日 展示：1月17日 ～3月5日	応募数 186点	対象 市民及び市立図書館利用者 内容 島田市の伝統行事である「帯まつり」になぞらえ、自作の「本の帯」を募集し、島田図書館内で「本の帯まつり」と称して展示し、優秀作品を表彰した。
すまいるタイム	2月20日	46人	対象 島田市子ども発達支援センターふわりの園児及び保護者 内容 休館日の図書館を開放し、本の貸出やボランティアによる読み聞かせなどを行った。
ビブリオバトルin川根小	1月19日	98人	対象 川根小学校5、6年生 内容 川根図書館で児童によるビブリオバトル（本のおすすめ合戦）を開催。今年度は各教室でもオンラインで視聴し、投票もできるようにした。また、川根中学校生徒もオンラインで参加した。選ばれたチャンプ本を図書館で展示した。

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明	
川根中学生によるYA選書	7月7日 ～7月21日	59人	対象 川根中学校生徒 内容 利用率の低い中高生に読書を促すため、同じ世代の中学生が選書した読みたい本・お勧め本の紹介コーナーを川根中学校・川根図書館に設置した。
あかり展	11月26日	延長時間内 来館者数 25人	対象 川根図書館の来館者 内容 館内に地域で作成したあかりアートを灯し、開館時間を19時まで延長して、貸し出しを行った。
島田図書館移転開館10周年記念事業	9月～3月	記念しおり 993枚、記念バッグ 320枚配布	内容 記念しおり・記念バッグの配布（バッグは島田・図書館友の会から寄贈） 「島田市年表 第四集・増補第五版」データ公開 ほか

その他、読み聞かせグループの協力を得て「絵本や紙芝居の読み聞かせ」を実施した。

区分	実施日	実施回数(回)	参加者数(人)
島田図書館	毎週土曜日及び第1日曜日等	80	850
金谷図書館	第2・第4土曜日及び第1日曜日(6月から第4日曜日)	31	315
川根図書館	第3水曜日及び第4土曜日	19	129

(2) 読書通帳交付事業

平成24年度から導入している預金通帳形式の記録簿に貸出記録を残せる読書通帳について、市立図書館カードを持つ人を対象に1冊300円で交付した。ただし、18歳以下の市民及び市内の学校に在学する児童・生徒には無料で交付した。

読書通帳機設置場所 島田図書館、金谷図書館、川根図書館 各1台

ア 経費

区分	事業の概要	事業費(円)	備考
委託料	読書通帳機保守業務委託	502,480	株静岡情報処理センター
賃借料	読書通帳機賃貸借	608,900	NECキャピタルソリューション(株)静岡支店

イ 交付実績(子供、一般)

(単位:冊)

区 分	令和4年度				令和3年度			
	新規	継続	再交付	合計	新規	継続	再交付	合計
島田図書館	259	154	11	424	276	165	16	457
金谷図書館	40	51	4	95	62	62	7	131
川根図書館	14	16	0	30	31	17	1	49
合 計	313	221	15	549	369	244	24	637

(うち有料交付実績)

(単位:冊、円)

区 分	令和4年度		令和3年度	
	発行数	収入額	発行数	収入額
島田図書館	48	14,400	54	16,200
金谷図書館	22	6,600	23	6,900
川根図書館	1	300	4	1,200
合 計	71	21,300	81	24,300

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(3) 地域館運営経費

図書館から離れた場所に住んでいる子供が本に親しむ場として、市内5施設内に地域館を設置し、図書の閲覧・貸出サービスを行った。

ア 令和4年度末 地域館蔵書数 (単位：点)

区 分	初倉地域 総合センター	六 合 公 民 館	北部ふれあい セ ン タ ー	初倉西部ふれ あいセンター	大津農村環境 改善センター	合 計
一般用図書	525	427	24	29	32	1,037
郷土資料	166	69	4	4	7	250
児童用図書	4,317	2,959	1,749	1,797	1,038	11,860
絵 本	4,062	4,023	2,666	2,391	2,690	15,832
紙 芝 居	122	107	108	101	70	508
合 計	9,192	7,585	4,551	4,322	3,837	29,487

イ 地域館による貸出サービス

区 分	貸出点数(点)		貸出人数(人)	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
初倉地域総合センター	8,525	8,495	2,328	2,189
六合公民館	15,935	13,851	3,928	3,554
北部ふれあいセンター	2,521	2,799	557	559
大津農村環境改善センター	2,556	2,495	485	517
初倉西部ふれあいセンター	324	635	98	172
合 計	29,861	28,275	7,396	6,991

6目 博物館費

決算額

40,874,466円

1 委員報酬

博物館協議会委員 (委員8人)

協議会開催日	内 容
令和4年7月27日	・令和3年度事業報告について ・令和4年度展示及び事業計画について
令和4年11月16日	・令和4年度事業経過報告について ・令和5年度展示及び事業計画について

2 博物館及び分館運営事業

(1) 博物館展示経費 (8,115,669円) 及び博物館分館展示経費 (640,677円)

本館で企画展3回、収蔵品展1回、分館で収蔵品展4回をそれぞれ開催した。また、講座については展示内容と関連した博物館講座を6回開催した。

ア 島田市博物館

展 示 名	期 間	日数(日)	入館者数(人)	内 容	事業費(円)
収蔵品展 「いまだけ ここだけ くびった け 推しのお宝大公開!」	前 4月2日 ～5月22日 後 5月28日 ～7月3日	76	3,796	博物館職員が収蔵品から「最推しの逸品」を選び、推薦理由を添えて展示。(前期：39点、後期44点)	8,115,669 (財源内訳) 国庫支出金 (地方創生推 進交付金)
第88回企画展 「豪華絢爛 嶋田の大祭—継承 される 威厳と伝統—」	7月16日 ～9月4日	44	2,147	島田大祭に係る衣装、帯、古文書、道具、パンフレット等44点を展示。	1,731,700 観覧料等収入 3,494,380
第89回企画展 「日和ってる奴らは渡れない! カワゴシチャレンジャーズ」	9月17日 ～12月18日	80	3,908	大井川の川越しに係る浮世絵、古文書、発掘資料等47点を展示。	一般財源 2,889,589

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
第90回企画展 「たゆたう刃文 きらめく沸(にえ)」	1月14日 ～3月19日	56	4,281	島田鍛冶とそのルーツとされる相州伝の刀等56点を展示。
展示替期間		50	3,620	うち、「特別公開 頼朝公像」(12月23日～12月25日)観覧者数 2,549人
合 計		306	17,752	

イ 島田市博物館分館

展 示 名	期 間	日数(日)	入館者数(人)	内 容	事業費(円)
収蔵品展 「海野光弘 木に触れる一版木と作品」	4月2日 ～6月26日	74	2,894	海野光弘の木版画作品の中から「大きな木」が描かれた作品30点を展示。	640,677
収蔵品展 「海野光弘 天と地の間に一笠のある風景」	7月2日 ～9月25日	74	1,867	笠をつけて働く人を描いた作品32点、海野光弘が収集した笠等10点を展示。	(財源内訳) 観覧料等収入 411,540 一般財源 229,137
収蔵品展 「海野光弘 Who are you? 海野 san!」	10月1日 ～12月11日	62	2,922	海野光弘の初期作品を中心に、手帳や日記等52点を展示。	
収蔵品展 「海野光弘 遊び心 こころ」	12月17日 ～3月26日	79	3,579	ユーモラスな表現が見え隠れする木版画作品、染色風呂敷等41点を展示。	
展示替期間		17	233		
合 計		306	11,495		

ウ 機織体験学習・体験学習等

「しまはくワークショップ」として、本館では毎月第2日曜日に小学生を対象とした簡単工作、分館では年間5回の民俗資料体験を実施した。

区分	令和4年度	令和3年度	増減
参加者数(人)	844	1,208	△364

エ 主なイベント開催状況

名 称	場 所	期 日	参加者数(人)	主 な 内 容
こどもの日の集い(無料開放日)	博物館・分館・街道	5月5日	1,317	クイズラリー、多色刷り版画、バッジづくり、30周年トークショー、分館中庭コンサート、昭和の遊び、機織り、お囃子など
県民の日協賛 しまはくへ行こう!!無料開放日	博物館・分館・街道	8月21日	578	クイズラリー、プロペラ工作、バッジづくり、昭和の遊び、機織り、お囃子、観光ガイドなど
ふじのくに文化財オータムフェア協賛 しまはくオータムフェア!!無料開放日	博物館・分館・街道	11月3日	2,587	プラ板工作、和スイーツデコ、バッジづくり、昭和の遊び、機織り、お囃子など ※和菓子バルと同日開催
富士山の日協力 しまはくフェア!!無料開放日	博物館・分館・街道	2月23日	887	スタンプラリー、スタンプ帳工作、バッジづくり、ボール遊び、お囃子など
合 計			5,369	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
オ 観覧者数				
(7) 島田市博物館				
区 分	大 人(人)	小 人(人)	合 計(人)	観覧料収入(円)
有料観覧者	8,626	—	8,626	2,199,720
観覧料免除者	5,868	3,258	9,126	—
令和4年度計	14,494	3,258	17,752	2,199,720
令和3年度計	12,609	3,940	16,549	2,170,620
増減	1,885	△682	1,203	29,100
前年度対比(%)	114.9	82.7	107.3	101.3
(4) 島田市博物館分館				
区 分	大 人(人)	小 人(人)	合 計(人)	観覧料収入(円)
有料観覧者数	5,656	—	5,656	393,840
観覧料免除者数	3,116	2,723	5,839	—
令和4年度計	8,772	2,723	11,495	393,840
令和3年度計	8,184	2,441	10,625	386,820
増減	588	282	870	7,020
前年度対比(%)	107.2	111.6	108.2	101.8
7目 文化財保護費	決算額 57,038,579円			
1 委員報酬				
(1) 文化財保護審議会委員(委員9人)				
有識者の意見、指導を受け、市内の文化財の保護活用方針を検討した。				
開催日	内 容			
令和4年8月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度文化財事業の実績について ・令和4年度文化財事業の計画について ・指定文化財保存管理について現状報告 			
令和5年3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度文化財事業の進捗状況について ・令和5年度文化財事業の計画について ・川会所(建物)の変遷について ・島田市文化財保存活用地域計画の策定状況について 			
2 文化財保存事業				
(1) 指定文化財管理経費				
指定文化財の管理や修繕、また文化財所有者等に支援を実施し、貴重な文化財を適切に保護した。				
ア 文化財保存管理事業費補助金				
補助金交付先	事 業 の 概 要		補助金額(円)	
宗教法人 智満寺 ほか6件	建造物防災設備保守点検事業補助金 国、県、市指定文化財建造物の防災機器の保守		104,000	
宗教法人 智満寺	県指定文化財智満寺中門、薬師堂、仁王門建造物保存 修理等事業補助金 中門、薬師堂、仁王門屋根修理等(R4年度事業分)		6,717,000	
熊野神社総代	市指定文化財(天然記念物)熊野神社大クスノキ保存管 理事業補助金 大クスノキの枯損している枝の伐採作業		112,000	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

イ 川越遺跡の維持管理
復元家屋等の管理や修繕を行った。

事業名	事業の目的	事業の内容	事業の成果	事業費(円)	備 考
三番宿火災報知器修繕工事	利用者の利便性を図る	火災報知器修繕	設備の機能維持による安全の確保	398,200	株島田防災システム
川会所橋欄干取替工事	施設環境の整備	欄干取替	欄干取替による安全の確保	319,000	信栄建設(株)

(2) 諏訪原城跡整備事業

国指定史跡である諏訪原城跡を保全し、活用を図った。

ア 諏訪原城跡整備委員会 (委員7人)

開催日	内 容
令和4年7月26日	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁との打合せについて (報告) 令和4年度の園路整備工事について 令和4年度大手曲輪堀の基本設計について 現地視察
令和4年11月30日	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の事業進捗状況について 令和4年度大手曲輪堀の基本設計について 令和5年度諏訪原城跡事業計画について 現地視察
令和5年2月9日	<ul style="list-style-type: none"> お城EXPO出展について 令和5年度諏訪原城跡事業計画(案)について 大手曲輪堀の基本設計の承認について 島田市文化財保存活用地域計画の策定状況について

イ 整備事業

(単位:円)

事業名	事業の概要	事業費	備 考
諏訪原城跡整備事業 (国宝重要文化財等保存活用事業費補助金) (静岡県文化財保存費補助金)	・諏訪原城跡史跡整備工事 舗装工 L=40.5m	9,047,123 (財源内訳)	工事請負費 4,125,000 (株)特種東海フォレスト
	・基本設計委託 A=4,300㎡	国庫支出金 4,447,000 県支出金 1,482,000	委託料 4,400,000 (株)フジヤマ
	・整備委員会 3回	一般財源 3,118,123	報償費 200,000
	・講演会 1回		旅費 193,060 需用費 129,063

(3) 川越遺跡整備事業

ア 川越遺跡整備委員会 (委員8人)

開催日	内 容
令和4年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 川越遺跡整備事業(保存事業)と川越街道賑わい創出事業(活用事業)について 令和4年度 5月5日の博物館無料開放日について 街道舗装工事について 令和4年度の事業計画について
令和4年10月4日	<ul style="list-style-type: none"> 台風第15号による被害状況について 三番宿の耐震診断・補強計画策定事業について 街道舗装工事設計業務委託及び警察協議について 仲間の宿横の民家建築工事について 街道舗装工事の設計について 川会所復元検討審議会に向けた資料作成について

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

令和5年3月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・三番宿の耐震診断・補強計画策定事業について ・街道舗装工事設計業務委託及び警察協議について ・国庫補助金申請と内示状況について ・街道舗装工事の設計について ・川会所復元検討審議会に向けた資料作成について ・島田市文化財保存活用地域計画の策定状況について
-----------	---

イ 島田宿大井川川越遺跡整備事業

(単位：円)

事 業 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
島田宿大井川川越遺跡整備事業 (国宝重要文化財等保存活用事業 費補助金) (静岡県文化財保存費補助金)	耐震診断・補強計画策 定委託 整備委員会 3回	1,982,770 (財源内訳) 国庫支出金 990,000 県支出金 329,000 一般財源 663,770	委託料 1,496,000 静岡県伝統建築技術 協会 報償費 266,000 旅費 205,220 需用費 15,550

3 文化財調査事業

(1) 埋蔵文化財調査経費

(単位：円)

事 業 名	事 業 の 概 要	事 業 費
緊急確認調査事業 (国宝重要文化財等保存活用事業費 補助金) (静岡県文化財保存費補助金)	<ul style="list-style-type: none"> ・確認調査 諏訪原城跡 (所在の有無) A=30 m² 川越遺跡 (所在の有無) A=15 m² 宮上遺跡①②(所在の有無) A=120 m² 宮前城跡 (所在の有無) A=22 m² 	1,045,425 (財源内訳) 国庫支出金 484,000 県支出金 242,000 一般財源 319,425

4 市史編さん事業

(1) 島田風土記編さん経費

ア 古文書悉皆解読調査

市史編さん委員会は、古文書調査が一区切りついたことと、委員の高齢化により令和4年3月末日をもって活動を休止した。令和4年度は、元市史編さん委員等の5人に協力を仰ぎ、古文書調査を6回実施した。

イ 島田市史講演会

開催日	内 容
令和4年11月19日	大井川の川越し よもやま話

5 文化財保存事業(繰越明許)

(1) 指定文化財管理経費

補助金交付先	事 業 の 概 要	補助金額(円)
(繰越明許) 宗教法人 智満寺	県指定文化財智満寺中門、薬師堂、仁王門建造物保存 修理等事業補助金 中門、薬師堂、仁王門屋根修理等(R3年度事業分)	5,856,000

8目 文化事業費

決算額

182,513,458円

1 芸術文化振興事業

(1) 芸術文化普及事業

事業名	実施日	委託料(円)	入場者数(人)	入場料収入(円)	会 場
宝くじまちの音楽会	令和4年8月20日	451,000	580	591,000	プラザおおるり
街角演劇	令和4年8月27日	569,800	78	78,000	しまだ音楽広場

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
-------	---------------	--	--	--	--

ミュージカル北斎マンガ	令和4年12月4日	1,834,800	138	345,000	プラザおおるり
音楽の絵本ダブルクインテット	令和5年3月18日	2,524,500	591	985,500	プラザおおるり
合計		5,380,100	1,387	1,999,500	

(2) 島田市文化協会補助金

島田市の文化の向上と健全な発展を図るため、島田市文化協会に対し、補助金を交付した。市民向け事業を実施し、身近に文化に触れることのできる機会を創出した。

事業名	事業の概要	補助金額(円)
島田市文化協会補助金事業	期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日 内容：「やさしい絵画教室」、夏休みこどもワークショップ、吹奏楽フェスティバル、蓬萊橋観月会、ふれあいと創造の集い（川根地区文化祭）、夢づくり展	3,700,000 全体事業費 5,211,756

(3) 市民文化祭運営経費

第65回島田市民文化祭の開催経費として、島田市民文化祭実行委員会に対し、交付金2,200,000円を交付した。

- ア 展示部門 1期 令和4年11月4日～11月6日
2期 令和4年11月11日～11月13日
3期 令和4年11月18日～11月20日
- イ 音楽芸能部門 令和4年11月3日、6日、13日、20日、23日、26日、27日
- ウ ロビーコンサート 令和4年11月5日、6日、12日、13日、19日、20日
- エ 会場 プラザおおるり
- オ 延べ入場者数 5,499人
- カ 出展数等

部門別	展示審査部門	展示無審査部門	音楽芸能部門
部門数	14	7	7
延べ出展(出演)者数(人)	385	153	900
入選数(点)	79		

(4) アートによる地域づくり推進事業

文化芸術活動を通じて地域の魅力を発信するとともに、地域への愛着と誇りを醸成する取組を行う団体に対し、補助金を交付した。

事業名	事業の概要	交付先	補助金額(円)
アートコミュニティ推進事業	ささま里山茶会 穴窯焼成ワークショップ 野焼きワークショップ	ささま国際陶芸祭実行委員会	500,000 全体事業費 1,024,116
UNMANNED(アンマンド)無人駅の芸術祭/大井川	大井川鐵道無人駅及び川越し街道をモチーフとしたインスタレーション中心の現代アートによる表現活動 ・参加作家14組による作品制作、展示、パフォーマンス公演、ワークショップなど	NPO法人クロスメディアしまだ	500,000 全体事業費 1,020,950 ※市内で開催される事業のみを補助対象としている。

2 文化施設運営事業

(1) 文化施設管理運営経費

ア 島田市民総合施設プラザおおるり

- (イ) 指定管理者 ㈱まちづくり島田(指定期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)
指定管理料 297,762,000円(令和4年度 60,083,000円)

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
-------	---------------	--	--	--

(イ) 利用状況

年度	開館日数(日)	利用件数(件)	うちホール(件)	利用人数(人)
4	358	5,258	214	129,490
3	358	4,417	159	91,794
増減	0	841	55	37,696

イ 島田市金谷生きがいセンター

(ア) 指定管理者 ㈱まちづくり島田 (指定期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで)
 指定管理料 162,100,000円 (令和4年度 32,420,000円)

(イ) 利用状況

年度	開館日数(日)	利用件数(件)	うちホール(件)	利用人数(人)
4	308	2,882	153	61,958
3	308	2,855	157	60,206
増減	0	27	△4	1,752

ウ 島田市川根文化センターチャリム21

(ア) 指定管理者 特定非営利活動法人NPOまちづくり川根の会
 (指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで)
 指定管理料 174,308,000円 (令和4年度 34,861,600円)

(イ) 利用状況

年度	開館日数(日)	利用件数(件)	うちホール(件)	利用人数(人)
4	308	820	47	16,848
3	309	721	45	14,220
増減	△1	99	2	2,628

エ 主な修繕工事 (市単独事業)

施設	事業名	事業の概要	事業費(円)	備考
プラザおおるり	排煙設備改修工事	ホール天井裏排煙設備改修1か所	715,000	日管㈱
	防水補修工事	東棟図書室入口上部防水補修、本館西屋上防水補修等	320,100	㈱共栄社
金谷生きがいセンター	膨張タンク配管修繕工事	空調設備接続膨張タンク配管修繕1か所	231,000	菱和設備㈱
	階段室等防水補修工事	雨樋改修2か所及びドレン改修等	497,200	㈱共栄社
	エアハン加湿器改修工事	空調加湿設備改修2箇所	445,500	菱和設備㈱
チャリム21	非常用放送アンブ取換	非常用放送アンブ取換1台	990,000	㈱日本防災システム

オ 空調機器・照明設備の改修

平成27年度に、環境省「リースを活用した業務部門省CO2改修加速化モデル事業」により施工したプラザおおるり及び金谷生きがいセンターの照明機器、空調機器の高効率化改修費用について、分割払いとしてリース料を支払った。

リース料支出一覧

(単位：円)

年度	プラザおおるり		金谷生きがいセンター		合計
	照明	空調	照明	空調	
4	1,019,424	4,877,616	406,944	2,170,020	8,474,004
3	1,019,424	4,877,616	406,944	2,170,020	8,474,004

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明						
カ 電力価格等高騰対策指定管理者支援金【令和4年度新規事業】							
事業の目的	事業の内容	事業の成果		事業費(円)			
電力価格等の高騰の影響を受けている指定管理者に対して、財政支援を行う。	文化施設の指定管理者へ支援金を交付する。 対象施設： ・プラザおおるり ・金谷生きがいセンター ・チャリム21	文化施設の安定的な運営に寄与した。 交付金額：3,387,000円		3,387,000 (財源内訳) 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 3,210,000 一般財源 177,000			
3 文化施設整備事業							
(1) プラザおおるり施設改修事業【令和4年度新規事業】							
事業の目的	事業の概要			事業費(円)			
プラザおおるり本館執務スペースを、新庁舎移転後市民利用に供するための改修設計を行う。	プラザおおるり本館内部改修工事設計業務委託 期間：R4.6.22～R5.3.22 受託：(有)こころ木造建築研究所			6,453,700 (財源内訳) 一般財源 6,453,700			
4 新型コロナウイルス感染症対策事業							
(1) プラザおおるり感染拡大防止対策事業【令和4年度新規事業】							
事業の目的	事業の概要			事業費(円)			
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、和式トイレを洋式トイレに改修する。	プラザおおるり本館トイレ洋式化工事 箇所：2階、3階女子トイレ 合計4か所 工事内容：便器洋式化、ブース改修 期間：R4.11.16～R5.3.10 受託：朝日設備㈱			2,860,000 (財源内訳) 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 2,710,000 一般財源 150,000			
9目 楽習センター費	決算額 26,911,776円						
1 楽習センター運営事業							
(1) 楽習センター管理運営経費							
生涯学習の拠点として、世代を超えた交流の中で楽しく学ぶ機会と場所の提供に努め、子供から高齢者まで受講できる各種の講座を開講した。運営効率と市民サービス向上を目指し、平成30年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。							
ア 指定管理者	静岡ビル保善㈱						
イ 指定期間	平成30年度～令和4年度(5年間)						
ウ 指定管理料	49,979,520円(令和4年度委託料 9,995,904円)						
エ 講座開講状況	(単位：回、人)						
事業名	内 容	令和4年度		令和3年度		増減	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
教養講座	ふれあい楽習講座	1,014	9,889	1,070	11,256	△56	△1,367
	ジュニアクラブ	36	133	35	211	1	△78
	短期講座	19	297	16	171	3	126
指定管理者運営の自主講座		157	1,699	135	1,566	22	133
合 計		1,226	12,018	1,256	13,204	△30	△1,186
※回数、人数とも減少しており、依然として新型コロナウイルス感染拡大の影響が及んでいる。							

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

オ その他の利用状況 (単位：回、人)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
老人クラブ	97	980	104	1,051	△7	△71
社会貢献活動	95	861	99	752	△4	109
一般利用等	1,641	11,892	1,686	13,391	△45	△1,499
合 計	1,833	13,733	1,889	15,194	△56	△1,461

※回数、人数ともに減少しており、依然として新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている。

カ 成果

指定管理者制度導入による経費削減：対平成29年度比△3,255,921円

(平成29年度決算における経費 30,167,697円：歳出37,799,542円－歳入7,631,845円)

キ しまだ楽習センター電力価格等高騰対策指定管理者支援金【令和4年度新規事業】

事業の目的	事業の内容	事業の成果	事業費(円)
電力価格等の高騰の影響を受けている指定管理者に対して、財政支援を行う。	しまだ楽習センターの指定管理者へ支援金を交付する。	しまだ楽習センターの安定的な運営に寄与した。 交付金額：252,000円	252,000 (財源内訳) 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 200,000 一般財源 52,000

10目 野外活動センター費 決算額 13,045,213円

1 野外活動センター運営事業

(1) 野外活動センター管理運営経費

自然とのふれあいを通し、健康増進及び生涯学習の推進を図るための施設である「島田市野外活動センター山の家」について、必要な修繕を行った。平成18年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。

ア 指定管理者 NPO法人いこいの広場

イ 指定期間 平成30年度～令和4年度(5年間)

ウ 指定管理料 41,825,000円(令和4年度委託料 8,365,000円)

エ 利用状況

	令和4年度		令和3年度		増減	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)
宿泊総数	921	4,596	744	3,381	177	1,215
施設利用総数	4,530	33,025	3,921	24,718	609	8,307
合計	5,451	37,621	4,665	28,099	786	9,522

※宿泊、施設利用数ともに増加傾向にあるが、依然として新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている。

※施設の利用区分は、午前、午後、夜間とあり、同一利用者が前記時間区分をまたいで同じ部屋を利用した場合、件数は1区分あたりの件数、人数は実人数として計上している。

オ 主な修繕工事等 (単位：円)

事業名	事業の目的	事業の概要	事業費	事業の成果(期待する効果)	備考
宿泊棟オイルサービスタンク取替工事	宿泊者の施設管理面の向上	宿泊棟オイルサービスタンク取替工事一式	913,000 (財源内訳) 一般財源 913,000	施設の管理運営面での改善が図られた。	朝日設備株

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																																																			
カ 野外活動センター電力価格等高騰対策指定管理者支援金【令和4年度新規事業】																																																				
	事業の目的	事業の内容	事業の成果		事業費（円）																																															
	電力価格等の高騰の影響を受けている指定管理者に対して、財政支援を行う。	野外活動センターの指定管理者へ支援金を交付する。	野外活動センターの安定的な運営に寄与した。 交付金額：671,000円		671,000 (財源内訳) 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 600,000 一般財源 71,000																																															
11目 山村都市交流センター費	決算額 25,117,974円																																																			
1 山村都市交流センター運営事業																																																				
(1) 山村都市交流センター管理運営経費																																																				
<p>笹間地区の豊かな自然の中での生活体験及びスポーツ・文化その他の活動の場を提供することにより、都市と山村との交流を促進し、地域の活性化を図るため、施設の管理運営を行った。令和4年度において、多目的広場の芝生化を実施した。</p> <p>ア 指定管理者 企業組合くれば イ 指定期間 平成30年度～令和4年度（5年間） ウ 指定管理料 71,180,000円（令和4年度委託料 14,236,000円） エ 利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>件数(件)</th> <th>人数(人)</th> <th>件数(件)</th> <th>人数(人)</th> <th>件数(件)</th> <th>人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊総数</td> <td>220</td> <td>1,486</td> <td>131</td> <td>1,469</td> <td>89</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>施設利用総数</td> <td>331</td> <td>5,373</td> <td>449</td> <td>8,303</td> <td>△118</td> <td>△2,930</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>551</td> <td>6,859</td> <td>580</td> <td>9,772</td> <td>△29</td> <td>△2,913</td> </tr> </tbody> </table> <p>※宿泊利用数は増加傾向にあるが、依然として新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている。 ※施設の利用区分は、午前、午後、夜間とあり、同一利用者が前記時間区分をまたいで同じ部屋を利用した場合、件数は1件、人数は1区分あたりの人数として積算している。</p> <p>オ 主な修繕工事等 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業の目的</th> <th>事業の概要</th> <th>事業費</th> <th>事業の成果(期待する効果)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館屋根改修工事</td> <td>宿泊者の安全性及び施設管理面の向上</td> <td>体育館屋根改修工事一式</td> <td>9,108,000 (財源内訳) 市債(過疎債) 9,100,000 一般財源 8,000</td> <td>利用者の安全性の向上及び施設の管理運営面での改善が図られた。</td> <td>大井建設㈱</td> </tr> </tbody> </table>								令和4年度		令和3年度		増減		件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	宿泊総数	220	1,486	131	1,469	89	17	施設利用総数	331	5,373	449	8,303	△118	△2,930	合計	551	6,859	580	9,772	△29	△2,913	事業名	事業の目的	事業の概要	事業費	事業の成果(期待する効果)	備考	体育館屋根改修工事	宿泊者の安全性及び施設管理面の向上	体育館屋根改修工事一式	9,108,000 (財源内訳) 市債(過疎債) 9,100,000 一般財源 8,000	利用者の安全性の向上及び施設の管理運営面での改善が図られた。	大井建設㈱
	令和4年度		令和3年度		増減																																															
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)																																														
宿泊総数	220	1,486	131	1,469	89	17																																														
施設利用総数	331	5,373	449	8,303	△118	△2,930																																														
合計	551	6,859	580	9,772	△29	△2,913																																														
事業名	事業の目的	事業の概要	事業費	事業の成果(期待する効果)	備考																																															
体育館屋根改修工事	宿泊者の安全性及び施設管理面の向上	体育館屋根改修工事一式	9,108,000 (財源内訳) 市債(過疎債) 9,100,000 一般財源 8,000	利用者の安全性の向上及び施設の管理運営面での改善が図られた。	大井建設㈱																																															
カ 山村都市交流センター電力価格等高騰対策指定管理者支援金【令和4年度新規事業】																																																				
	事業の目的	事業の内容	事業の成果		事業費（円）																																															
	電力価格等の高騰の影響を受けている指定管理者に対して、財政支援を行う。	山村都市交流センターの指定管理者へ支援金を交付する。	山村都市交流センターの安定的な運営に寄与した。 交付金額：78,000円		78,000 (財源内訳) 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 60,000 一般財源 18,000																																															
6項 保健体育費	決算額 1,119,476,547円																																																			
1目 保健体育総務費	決算額 265,826,868円																																																			
1 市民スポーツ振興事業																																																				
(1) 各種大会開催経費																																																				
<p>より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しめる生涯スポーツを推進していくため、徹底した感染症対策を講じ、以下5つの大会を開催した。</p>																																																				

款 項 目

主 要 事 業 の 説 明

開催日	大会名	参加人数(人)		
		令和4年度	令和3年度	前年度対比
令和4年7月10日	みんなで歩こう！トランポウオーク！！	118	98	20
令和4年9月25日	市民室内ペタンク大会	59	—	59
令和4年10月9日	しまだパラスポーツパーク	89	—	89
令和4年12月18日	市民ワンバウンドふらば～るバレーボール大会	84	77	7
令和5年1月1日	みんなで走ろう！元日マラソン	1,775	1,770	5
合計		2,125	1,945	180

(2) ニュースポーツ普及活動経費

「市民ひとり1スポーツ」を目標に、年齢や性別、障害の有無に関わらず、市民誰もが参加できる生涯スポーツを推進するため、「ニュースポーツ教室」を開催し、スポーツ人口の拡大と市民の健康増進を図った。

新種目として、東京2020パラリンピックで注目を集めた「ボッチャ」を導入した。

教室	開催回数(回)		受講者(延べ参加者)数(人)			対象
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	前年度対比	
ワンバウンドふらば～るバレーボール	21	17	346	265	81	一般
ニュースポーツ教室(ファミリーバドミントン、ワンバウンドふらば～るバレーボール、ビーチボール、ペタンク、ボッチャ)	9	6	121	54	67	一般
ボッチャ	6	—	56	—	56	一般
トランポウオーク	18	11	250	127	123	一般
室内ペタンク教室	3	—	28	—	28	一般
ママさん教室(ファミリーバドミントン、ワンバウンドふらば～るバレーボール、ビーチボール、ペタンク、ボッチャ)	10	7	63	34	29	一般
ママさん体験教室(ワンバウンドふらば～るバレーボール)	1	1	26	28	△2	子育て中の母親及びその子
合計	68	42	890	508	382	

(3) 島田市スポーツ協会補助金

27の競技団体が加盟し、市民スポーツ振興の中核を担う島田市スポーツ協会に対して補助金を交付した。

令和4年度補助金額 8,000,000円

令和3年度補助金額 9,405,453円(うち、1,105,453円はオリンピック・パラリンピック選手応援事業分)

ア 主要事業

- ・スポーツ総合開会式
- ・市民スポーツ祭 5種目大会(グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、インディアカ、ソフトボール、バレーボール)
- ・島田・中日駅伝競走大会
- ・ジュニアスポーツ教室
- ・加盟競技団体への支援

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
イ 効果	市民ひとり1スポーツの実現に向け、市民スポーツの振興、競技人口の拡大及び競技力の向上に寄与した。				
(4) モンゴル国スポーツ交流事業【令和4年度新規事業】	オリンピックの事前合宿等の受入後も引き続きスポーツ交流を深めることを目的とし、これまで交流実績のあるモンゴル国ナラン外国語学校学生親善使節に対し、トランポウォーク体験及びミニトランポリン等を贈呈した。				
	開催日	内 容	参 加 者	事業費	備 考
	令和4年 10月6日	トランポウォーク体験・ミニトランポリン贈呈式を行い、後日ミニトランポリン15台及び実演DVDを贈呈した。	モンゴル国ナラン外国語学校学生親善使節9人 スポーツ推進委員3人(講師)	269,708	消耗品費 209,088 通信運搬費(郵便) 44,720 その他手数料(通関料) 15,900
2 ジュニアスポーツクラブ事業	市内の小学生(4年生以上)を対象とした全5種目のジュニアスポーツ教室を開催した。 令和3年度のような新型コロナウイルス感染拡大防止による中止はなく、全て予定どおり実施した。また、硬式テニスにおいては、多数の応募者に対応するため、令和3年度から前後期各期10回として開催した。				
	教室(競技種目)	開催回数(回)		受講者数(人)	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度 前年度対比
	ミニバスケットボール	20	14	15	23 △8
	バレーボール	20	13	31	27 4
	陸上	20	20	17	24 △7
	水泳	20	20	29	32 △3
	硬式テニス(前期)	10	10	22	23 △1
	硬式テニス(後期)	10	9	20	26 △6
	合 計	100	86	134	155 △21
	※硬式テニスの令和4年度参加者のうち13人は前期及び後期の両方に参加した。				
3 スポーツ振興推進計画策定事業【令和4年度新規事業】	平成25年3月に策定した「島田市スポーツ振興推進計画」が令和4年度末で最終となることから、引き続き島田市のスポーツの推進を図るため、本計画の位置付けや基本方針を見直し、最新の市民アンケート調査等を踏まえた取組を進めることにより、令和5年度から令和14年度までの10年間を見据えた「第2次島田市スポーツ振興推進計画」を策定した。				
	委 託 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考	
	第2次島田市スポーツ振興推進計画策定支援業務	第2次島田市スポーツ振興推進計画策定に係る市民アンケート調査、協議会開催支援、計画書骨子案・素案作成等	2,915,000	委託料 2,915,000 (株)サーベイリサーチセンター静岡事務所	
2目 体育施設費	決算額 197,162,229円				
1 学校体育施設地域開放事業	(1) 学校体育施設管理運営経費				
	ア 屋内運動場・夜間照明施設等開放				
	小・中学校の屋内運動場、武道場・卓球室及び屋外運動場夜間照明施設を市民に開放し、地域スポーツの振興と市民の健康増進等を図った。				

款 項 目

主 要 事 業 の 説 明

事業名	場 所	利用件数(件)		
		令和4年度	令和3年度	前年度対比
島田市立学校施設開放(屋内運動場)	小・中学校 22か所	5,397	4,878	519
島田市立学校施設開放(武道場・卓球室)	中学校 5か所	870	839	31
夜間照明施設開放	小・中学校 10か所	1,057	833	224
合 計	37か所	7,324	6,550	774

イ 小学校プール開放

(7) 監視等業務委託

(単位：円)

委 託 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
市内プール開放監視等業務委託	市内プール開放に伴う管理運営及び利用者の安全監視等	7,919,798	委託料 7,919,798 (株)スポーツプラザ報徳

(i) 利用状況

学校名	令和4年度		令和3年度		前年度対比	
	開放日数(日)	利用人数(人)	開放日数(日)	利用人数(人)	開放日数(日)	利用人数(人)
島田第一小学校	5.5	1,050	6	1,360	△0.5	△310
島田第二小学校	6	693	6	644	0	49
島田第三小学校	6	883	6	1,075	0	△192
島田第四小学校	6	899	6	1,058	0	△159
島田第五小学校	6	1,014	5	735	1	279
大津小学校	6	236	6	387	0	△151
六合小学校	5	1,014	6	1,328	△1	△314
六合東小学校	6	1,113	5	785	1	328
初倉小学校	6	753	6	814	0	△61
初倉南小学校	6	720	6	749	0	△29
神座小学校	6	180	6	125	0	55
伊太小学校	6	287	6	368	0	△81
金谷小学校	6	837	6	1,161	0	△324
五和小学校	6	767	6	924	0	△157
川根小学校	6	391	6	572	0	△181
合 計	88.5	10,837	88	12,085	0.5	△1,248
1施設の1日あたり利用者数(人)		122.5		137.3		△14.8

2 社会体育施設運営事業

(1) 社会体育施設管理運営経費

市民の健康増進及び融和を図る施設として、管理・運営を行った。

ア 委託業務の状況

(単位：円)

事業名	事業費	備 考
浄化槽保守点検業務委託	476,355	(有)島田環境保全センター ほか1者
清掃委託	707,729	(公社) 島田市シルバー人材センター ほか1者
樹木・植栽管理委託	1,600,623	(公社) 島田市シルバー人材センター

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明					
-------	---------------	--	--	--	--	--

イ 施設利用状況

施 設 名	利用件数(件)		利用人数(人)		前年度対比	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	利用件数(件)	利用人数(人)
阿知ヶ谷グラウンド	158	162	2,584	3,210	△4	△626
金谷プール			1,185	1,059		126
川根野球場	25	30	500	824	△5	△324
川根体育館	153	188	1,520	2,179	△35	△659
北部体育館	680	382	9,110	4,738	298	4,372
合 計	1,016	762	14,899	12,010	254	2,889

※北部体育館は令和3年5月1日に、旧北中学校屋内運動場を社会体育施設として供用を開始した。

ウ スポーツ施設改修工事 (市単独事業)

(単位：円)

工 事 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
岸スポーツ広場防護柵設置工事	防護柵設置工 一式	1,650,000	工事請負費 1,650,000 栗原建材産業㈱

(2) 総合スポーツセンター等管理運営経費

生涯スポーツの拠点施設としてスポーツの普及・定着を目的とした施設運営を行った。

ア 施設管理委託

(単位：円)

委 託 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
島田市総合スポーツセンター等管理運営業務委託	島田市総合スポーツセンター、中央公園庭球場、親子プール、伊太庭球場の管理運営 (指定管理)	65,801,600	委託料 65,801,600 報徳・サン・シンコーグループ

イ 施設利用状況 (島田市総合スポーツセンター等)

施 設 名	利用人数(人)		
	令和4年度	令和3年度	前年度対比
島田市総合スポーツセンター	279,573	260,845	18,728
中央公園庭球場	26,502	26,584	△82
親子プール	2,669	3,023	△354
伊太庭球場	3,702	4,530	△828
合 計	312,446	294,982	17,464

ウ スポーツ施設改修工事 (市単独事業)

(単位：円)

工 事 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
島田市総合スポーツセンター非常用発電機蓄電池取替工事	蓄電池取替工 一式	715,000	工事請負費 715,000 ㈱太田

エ 総合スポーツセンター等電力価格等高騰対策指定管理者支援金【令和4年度新規事業】

(単位：円)

事業の目的	事業の内容	事業の成果	事業費 (円)
電力価格等の高騰の影響を受けている指定管理者に対して、財政支援を行う。	総合スポーツセンター等の指定管理者へ支援金を交付する。	総合スポーツセンター等の安定的な運営に寄与した。 交付金額：3,938,000円	3,938,000 (財源内訳) 国庫支出金 (コロナ臨時交付金) 3,810,000 一般財源 128,000

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(3) 田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場管理運営経費

幅広い年齢層の方が、楽しく健康の保持・増進ができるよう施設運営を行った。令和3年度から隣接の温浴施設「島田市田代の郷温泉」との一体的な管理運営による相乗効果を目指し、指定管理者制度を導入した。

ア 施設利用状況（推計）※各月千人未満切捨て

月	利用人数（人）※			備 考
	令和4年度	令和3年度	前年度対比	
4月	12,000	14,000	△2,000	
5月	22,000	23,000	△1,000	
6月	7,000	8,000	△1,000	
7月	3,000	4,000	△1,000	
8月	4,000	1,000	3,000	
9月	8,000	0	8,000	
10月	17,000	14,000	3,000	
11月	14,000	19,000	△5,000	
12月	9,000	11,000	△2,000	
1月	11,000	11,000	0	
2月	11,000	0	11,000	
3月	10,000	4,000	6,000	
合 計	128,000	109,000	19,000	

※利用人数推計方法（休日）午前11時点の駐車台数による推計入園者数＝駐車台数×3.75人／車×3.0回転

（平日）午前11時点の駐車台数による推計入園者数＝駐車台数×3.00人／車×2.5回転

※令和2年6月7日（日）の休日実測では、1台平均3.57人（＝2,500人／700台）乗車、駐車場3.27回転（＝700台／駐車場区画数214台）を根拠とし、平日は、市内利用者比率が増となることを考慮した想定

イ スポーツ施設改修工事（市単独事業）

（単位：円）

工 事 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場側溝蓋設置工事	側溝蓋設置工 N=78枚	322,300	需用費 322,300 (株)渋谷土木工業

(4) 横井運動場公園・大井川緑地等管理運営経費

令和3年度から指定管理者制度を導入し、市民の健康づくりの場、また地域住民のコミュニケーションの場としての活用を図ることを目的とした施設運営を行った。

ア 施設管理委託

（単位：円）

委 託 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
横井運動場公園・大井川緑地等管理運営業務委託	横井運動場公園・大井川緑地、谷口スポーツ広場、大井川さくら緑地、金谷体育センター、かなや大井川緑地の管理運営（指定管理）	75,000,000	委託料 75,000,000 (株)特種東海フォレスト

イ 施設利用状況（横井運動場公園・大井川緑地等）

施 設 名	利用件数(件)		利用人数(人)		前年度対比	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	利用件数(件)	利用人数(人)
島田球場	245	248	18,994	8,974	△3	10,020
島田第二球場	139	148	9,432	7,939	△9	1,493
横井人工芝サッカー場	532	538	35,470	27,208	△6	8,262
陸上競技場	97	91	20,033	10,616	6	9,417
サッカーグラウンド	253	235	23,589	13,825	18	9,764

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明					
ソフトボールグラウンド	1,040	882	65,916	55,766	158	10,150
金谷体育センター	2,173	2,204	23,174	18,659	△31	4,515
合 計	4,479	4,346	196,608	142,987	133	53,621

ウ スポーツ施設改修工事（市単独事業） (単位：円)

工 事 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
島田球場内野スタンド防水塗装工事	内野スタンド防水塗装工 一式	20,620,600	工事請負費 20,620,600 (株)アーク東海

エ 横井運動場公園・大井川緑地等電力価格等高騰対策指定管理者支援金【令和4年度新規事業】 (単位：円)

事業の目的	事業の内容	事業の成果	事業費（円）
電力価格等の高騰の影響を受けている指定管理者に対して、財政支援を行う。	横井運動場公園・大井川緑地等の指定管理者へ支援金を交付する。	横井運動場公園・大井川緑地等の安定的な運営に寄与した。 交付金額：298,000円	298,000 (財源内訳) 国庫支出金（コロナ臨時交付金） 260,000 一般財源 38,000

3目 給食費 決算額 656,487,450円

1 委員報酬

学校給食センター運営委員会委員 12人

開催日	内 容
令和4年6月27日	・令和3年度学校給食事業実施状況について ・令和4年度学校給食事業計画について ・令和4年度学校給食費の額について
令和4年12月21日	・学校給食センターの運営方針について
令和5年3月28日	・令和4年度学校給食事業の実施状況について ・令和5年度学校給食事業計画について ・令和5年度学校給食費の額について

2 学校給食運営事業

中部及び南部の学校給食センターから、小学校17校、中学校6校に対し年間183回程度の学校給食を提供した。また、学校給食センターの適正な運営を図るため、調理・配送等の民間委託や調理備品購入、施設維持修繕等を行うとともに、学校給食センターの衛生管理の徹底に努めた。

(1) 学校給食事務費

学校給食に係る研修や給食配送車両の維持管理、学校給食費の徴収事務等を行った。

ア 現年度分学校給食費保護者等負担金 (単位：円)

年 度	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済	収 納 率 (%)
令和4年度	430,416,742	430,239,317	177,425	99.96
令和3年度	432,642,782	432,642,782	0	100.00

イ 過年度分学校給食費保護者負担金 (単位：件、円)

年 度	調定額		収入済額		不納欠損額		収入未済		収納率(%)
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
令和4年度	49	219,249	21	96,450	0	0	28	122,799	43.99
令和3年度	182	772,502	43	204,545	90	348,708	49	219,249	26.48

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(2) 学校給食運営経費

学校給食センターの衛生管理を徹底するとともに、効率的かつ適正な運営に努め、安全安心な学校給食の提供を行った。

(単位：円)

項 目	概 要	事 業 費	備 考
光熱水費	中部学校給食センター及び南部学校給食センターの光熱水費	50,876,834	—
学校給食賄材料費	市立小中学校の給食賄材料費	448,929,816	(財源内訳) 国庫支出金(コロナ臨時交付金) 16,000,000 学校給食費保護者等負担金 430,239,317 一般財源 2,690,499
学校給食配送業務委託	中部学校給食センターから小中学校(17校)への給食配送業務	23,760,000	委託料 23,760,000 大新東(株)静岡営業所
学校給食調理等業務委託	南部学校給食センター調理・配送業務(6校)及び全小中学校(23校)での配膳業務	87,171,480	委託料 87,171,480 (株)魚国総本社名古屋本部

(3) 学校給食施設設備管理経費

学校給食センターにおける施設設備や調理機器等の修繕を行い、施設等の適切な管理に努めた。

(単位：円)

事 業 の 概 要	事業費	備 考
学校給食調理機器用消耗品等購入	1,742,135	需用費 1,742,135 (有)バックヤード ほか
施設等修繕 自動ドア修繕、調理機器修繕、ボイラー修繕 ほか	3,678,081	需用費 3,678,081 中日本オート・ドア(株) ほか
施設管理に係る手数料等 南部学校給食センターボイラーばい煙測定 ほか	2,158,609	役務費 2,158,609 新東海ロジティクス(株) ほか
施設管理に係る業務委託 浄化槽保守点検業務委託 ほか	19,116,663	委託料 19,116,663 (株)富永事業 ほか
施設改修工事 中部学校給食センター外調機修繕工事 ほか	1,771,000	工事請負費 1,771,000 (株)エム・エー・フジタ ほか
備品購入 食缶 ほか	676,544	備品購入費 676,544 静岡アイホー調理機(株) ほか

《参考》学校給食1食当たりの経費

	令和4年度		令和3年度		対前年度比(%)	
	決算額(円)	経費(円)	決算額(円)	経費(円)	決算額	経費
① 食材費	448,929,816	302.72	432,959,538	290.51	103.69	104.20
② 学校給食運営費	395,090,434	266.42	397,786,826	266.91	99.32	99.82
③ 合計(①+②)	844,020,250	569.14	830,746,364	557.42	101.60	102.10
調理食数	1,482,967食		1,490,341食		99.51	

※①の食材費は、学校給食法の規定に基づき保護者から徴収する学校給食費保護者等負担金(1食当たり小学生274円、中学生327円)及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当。

②の学校給食運営費は、人件費、施設営繕費、光熱水費ほかの経費であり、市が負担した。

1 1 款

災 害 復 旧 費

1 項 農林業施設災害復旧費

2 項 公共土木施設災害復旧費

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明	
11款 災害復旧費	決算額	513,764,098円
1項 農林業施設災害復旧費	決算額	154,078,051円
1目 農林業施設災害復旧費	決算額	153,583,051円

1 農林業施設災害復旧事業

(1) 農業用施設災害復旧事業

ア 台風第15号関連災害復旧事業

令和4年9月23日から24日までの台風第15号の影響により被害を受けた農業用施設について、災害復旧工事等を実施し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図った。

(単位：円)

事業名	事業の概要		事業費	備考	
台風第15号関連 災害復旧事業	工事請負費	13件	41,875,875	工事請負費	11,710,600
	委託料	1件	(財源内訳)	委託料	462,000
	修繕料	18件	一般財源 41,875,875	修繕料	3,886,990
	役務費	41件		役務費	25,816,285

イ その他災害復旧事業

令和4年5月14日、8月13日の大雨の影響により被害を受けた農業用施設について、災害復旧工事等を実施し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図った。

(単位：円)

事業名	事業の概要		事業費	備考	
その他災害復旧 事業	修繕料	1件	741,400	修繕料	411,400
	役務費	1件	(財源内訳)	役務費	330,000
			一般財源 741,400		

(2) 林業用施設災害復旧事業

ア 台風第15号関連災害復旧事業

令和4年9月23日から24日までの台風第15号の影響により被害を受けた林業用施設について、災害復旧工事等を実施し、林業生産の維持及び林業経営の安定を図った。

(単位：円)

事業名	事業の概要		事業費	備考	
台風第15号関連 災害復旧事業	工事請負費	6件	105,327,876	工事請負費	5,332,800
	委託料	3件	(財源内訳)	委託料	16,786,000
	修繕料	15件	一般財源 105,327,876	修繕料	7,019,705
	役務費	66件		役務費	76,127,223
	原材料費	4件		原材料費	62,148

イ その他災害復旧事業

令和4年7月5日、9日、16日、26日、8月13日の大雨の影響により被害を受けた林業用施設について、災害復旧工事等を実施し、林業生産の維持及び林業経営の安定を図った。

(単位：円)

事業名	事業の概要		事業費	備考	
その他災害復旧 事業	工事請負費	1件	5,637,900	工事請負費	836,000
	修繕料	2件	(財源内訳)	修繕料	976,800
	役務費	11件	一般財源 5,637,900	役務費	3,825,100

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
2目 農地災害復旧費	決算額	495,000円	
1 農地災害復旧事業			
令和4年9月23日から24日までの台風第15号の影響により被害を受けた農地について、災害復旧工事を実施し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図った。			
(単位：円)			
事業名	事業の概要	事業費	備考
農地災害復旧事業	農地災害復旧事業 台風第15号 土砂撤去工事	495,000 (財源内訳) 県支出金 471,000 農地災害復旧費分担金 24,000	工事請負費 495,000 亀山建設株
2項 公共土木施設災害復旧費	決算額	359,686,047円	
1目 公共土木施設災害復旧費	決算額	359,686,047円	
1 公共土木施設災害復旧事業			
(1) 道路施設災害復旧事業			
ア 台風第15号関連災害復旧事業			
令和4年9月23日から24日までの台風第15号の影響により被害を受けた道路施設について、災害復旧工事等を実施し、市民生活の安全を図った。			
(単位：円)			
事業名	事業の概要	事業費	備考
道路施設災害復旧事業	市道田島2号線橋梁災害復旧に伴う測量設計業務委託(田島橋) 測量設計 L=24m	28,553,800 (財源内訳) 国庫支出金(河川等災害復旧事業費補助) 11,687,000 市債(災害復旧事業債) 1,800,000 一般財源 15,066,800	委託料 9,460,000 (株)フジヤマ
	市道田島2号線橋梁災害復旧に伴う地質調査業務委託(田島橋) 地質調査 N=1か所		委託料 3,300,000 (株)ジーベック
	市道田島2号線橋梁災害復旧に伴う用地測量業務委託(田島橋) 用地測量 A=175㎡		委託料 858,000 (株)フジヤマ
	市道田島2号線災害応急仮復旧工事 仮設工 L=31m		工事請負費 5,610,000 (株)エコワーク
	市道阿知ヶ谷東光寺線道路災害復旧に伴う測量設計業務委託 測量・設計業務 L=10m		委託料 4,180,000 (有)アンスク
	市道阿知ヶ谷東光寺線道路災害応急仮工事 仮設工 L=13m		工事請負費 360,800 (株)興和建設
	一色線 地質調査業務委託 N=7か所		委託料 4,785,000 (株)ジーベック
	その他災害業務委託 3件 工事請負 8件 役務費 57件	71,253,347 (財源内訳) 一般財源 71,253,347	委託料 5,604,500 工事請負費 17,122,770 原材料費 145,189 消耗品費 1,149,487 役務費 51,418,642 使用料及び賃借料 1,783,559

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
	合 計	99,807,147 (財源内訳) 国庫支出金(河川等災害 復旧事業費補助) 11,687,000 市債(災害復旧事業債) 1,800,000 一般財源 86,320,147	工事請負費 17,122,770 委託料 28,187,500 原材料費 145,189 消耗品費 1,149,487 役務費 51,418,642 使用料及び賃借料 1,783,559

※一般財源には、ふるさと寄付金事業による台風第15号・豪雨災害応援寄付金額2,812,400円を含む。

イ その他災害復旧事業

令和2年7月3日の大雨により地すべり災害のあった市道尾川上伊太線の復旧工事を実施した。

(単位：円)

事 業 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
道路施設災害 復旧事業	尾川上伊太線道路災害復旧工事 復旧延長 L=100m 排水構造物工 L=110m 舗装工 A=225㎡ 防護柵工 L=14m 区画線工 L=80m	12,870,000 (財源内訳) 一般財源 12,870,000	工事請負費 12,870,000 株グロージオ

(2) 河川施設災害復旧事業

令和4年9月23日から24日までの台風第15号の影響により被害を受けた河川施設について、災害復旧工事等を実施し、市民生活の安全を図った。

(単位：円)

事 業 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
河川施設災害 復旧事業	(普)身成川河川災害復旧工事 (その1) 応急仮復旧 大型土のう工 N=58個	16,841,000 (財源内訳) 国庫支出金(河川等災害 復旧事業費補助)	工事請負費 572,000 三村建設(株)
	(普)身成川河川災害復旧工事 (その2) 応急仮復旧 大型土のう工 N=46個	10,900,000 市債(災害復旧事業債) 5,100,000 一般財源 841,000	工事請負費 451,000 三村建設(株)
	(普)身成川河川災害復旧工事 (その3) 応急仮復旧 大型土のう工 N=43個		工事請負費 418,000 三村建設(株)
	(普)丹原大沢河川災害復旧工事 復旧延長 L=50m 埋塞土砂撤去工 V=2,200㎡ 木くず撤去工 V=140㎡		工事請負費 15,400,000 興和建设(株)
	その他災害 工事請負費 9件 委託料 1件 役務費 56件 賃借料 1件		96,209,900 (財源内訳) 一般財源 96,209,900

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
	合 計	113,050,900 (財源内訳) 国庫支出金(河川等災害復旧事業費補助) 10,900,000 市債(災害復旧事業債) 5,100,000 一般財源 97,050,900	工事請負費 34,968,000 委託料 145,310 役務費 77,904,590 賃借料 33,000

(3) 公園施設災害復旧事業

令和4年9月23日から24日までの台風第15号の影響により被災した箇所の復旧工事を実施した。

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費	備考
公園施設災害復旧事業	中央公園法面災害復旧工事	4,741,000	工事請負費 4,741,000
	復旧延長 L=16.4m	(財源内訳)	興和建设(株)
	植生工 A=150m ²	一般財源 4,741,000	
	防護柵設置工 L=16.0m		
	童子沢親水公園水路災害復旧工事	965,800	工事請負費 965,800
	復旧延長 L=10.0m	(財源内訳)	(株)特種東海フォレスト
	土工 一式	一般財源 965,800	
	水路修繕工 一式		
	その他災害	4,743,200	役務費 4,743,200
	役務費 5件	(財源内訳)	
		一般財源 4,743,200	
	合 計	10,450,000	工事請負費 5,706,800
		(財源内訳)	役務費 4,743,200
		一般財源 10,450,000	

2 公共土木施設災害復旧事業(繰越明許)

(1) 道路施設災害復旧事業

令和2年7月3日の大雨の影響により市道の崩壊が発生し、令和3年4月14日に地すべりによる道路災害として判断されたことから、災害本復旧工事を実施した。

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費	備考
(繰越明許)	尾川上伊太線道路災害復旧工事	123,508,000	工事請負費 123,508,000
道路施設災害復旧事業	復旧延長 L=60m	(財源内訳)	(株)グロージオ
	擁壁工 N=128本	国庫支出金 65,595,000	
	軽量盛土工 V=524m ³	市債(災害復旧事業債)	
	排水構造物工 L=310m	32,700,000	
		一般財源 25,213,000	

特別会計

特別会計歳入歳出決算額

(単位：千円)

区 分	令和4年度		令和3年度	
	歳入総額	歳出総額	歳入総額	歳出総額
国民健康保険事業	9,701,545	8,978,596	9,799,943	9,126,765
土地取得事業	774,748	774,748	759,666	759,666
休日急患診療事業	47,167	47,125	70,625	69,382
介護保険事業	8,797,165	8,663,324	8,727,660	8,629,573
介護サービス事業	78,536	75,081	80,429	78,163
後期高齢者医療事業	1,359,053	1,357,270	1,298,203	1,298,078
合 計	20,758,214	19,896,144	20,736,526	19,961,627

国民健康保険事業

○国民健康保険事業の状況

令和4年度末の島田市国民健康保険の被保険者数は18,118人で、前年度比1,148人の減、市の人口に対しての加入率は、18.8%である。

また、令和4年度の療養給付費（一般）は54億1,497万円で、前年度比9,177万6千円の減となった。

国民健康保険税収入は、18億5,825万9千円で、前年度比6,258万1千円の減となった。収納率は、現年課税分が97.18%、滞納繰越分が18.09%で、前年度の数値を現年課税分は下回り、滞納繰越分は上回った。

1 被保険者加入状況

区 分		令和4年度末	令和3年度末	
市全体	世帯数（世帯）	39,210	38,766	
	人 口（人）	96,130	96,769	
国保加入者	世 帯（世帯）	11,945	12,363	
	被 保 険 者	一般（人）	18,118	19,266
		退職（人）	0	0
	計	18,118	19,266	
加入率	世 帯（%）	30.5	31.9	
	被保険者数（%）	18.8	19.9	

2 決算収支の状況

（単位：千円）

区 分		令和4年度	令和3年度
歳 入 総 額	A	9,701,545	9,799,943
歳 出 総 額	B	8,978,596	9,126,765
歳入歳出差引額 （形式収支 A - B）	C	722,949	673,178
翌年度へ繰り越すべき財源 （繰越明許費繰越額）	D	0	0
療養給付費等国庫負担金及び 療養給付費等交付金精算額	精算交付額	E	—
	精算返還額	F	—
県支出金精算額	精算交付額	G	0
	精算返還額	H	37,467
実 質 収 支	C - D	I	673,178
	I + E + G - F - H	J	635,711
一般会計繰入金 （保険基盤安定繰入金）		669,261 (462,559)	657,917 (462,412)
うち財源補填的なもの	K	38,918	38,829
基金繰入金	L	0	0
再差引収支額	I - K - L	684,031	634,349
	J - K - L	660,488	596,882
基金現在額		704,524	704,473

3 令和4年度国民健康保険税収入状況

収納率を令和3年度と比較すると、現年課税分が0.77ポイント減、滞納繰越分が1.36ポイント増となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、経済社会状況に不透明感が残る中、国民健康保険税徴収をとりまく厳しい状況は今後も続くと思われるが、担税能力のある滞納者に対しては催告や滞納処分を強化するなど、安定した税収の確保に努めていく。

(単位：円)

科 目		調定額	収納額	不納欠損額	収入未済額	収納率 (%)		
国民健康保険税		2,066,702,557	1,858,259,276	34,822,363	173,620,918	89.91		
一 般	現年 課税	医療給付費	1,342,858,000	1,306,490,598	0	36,367,402	97.29	
		後期支援金	402,155,500	390,787,585	0	11,367,915	97.17	
		介護納付金	131,886,300	126,637,849	0	5,248,451	96.02	
	滞納 繰越	医療給付費	128,634,017	23,279,194	23,794,381	81,560,442	18.10	
		後期支援金	39,332,494	7,216,911	7,453,713	24,661,870	18.35	
		介護納付金	20,924,837	3,743,923	3,356,234	13,824,680	17.89	
	合 計		2,065,791,148	1,858,156,060	34,604,328	173,030,760	89.95	
	(令和3年度)		2,166,645,551	1,920,372,628	59,216,535	187,056,388	88.63	
	退 職	現年 課税	医療給付費	0	0	0	0	—
			後期支援金	0	0	0	0	—
介護納付金			0	0	0	0	—	
滞納 繰越		医療給付費	651,866	65,464	165,614	420,788	10.04	
		後期支援金	130,380	20,349	25,170	84,861	15.61	
		介護納付金	129,163	17,403	27,251	84,509	13.47	
合 計		911,409	103,216	218,035	590,158	11.32		
(令和3年度)		2,016,070	467,314	637,347	911,409	23.18		
現年 課税	医療給付費 計		1,342,858,000	1,306,490,598	0	36,367,402	97.29	
	後期支援金 計		402,155,500	390,787,585	0	11,367,915	97.17	
	介護納付金 計		131,886,300	126,637,849	0	5,248,451	96.02	
	合 計		1,876,899,800	1,823,916,032	0	52,983,768	97.18	
	(令和3年度)		1,918,235,400	1,878,945,402	0	39,289,998	97.95	
滞納 繰越	医療給付費 計		129,285,883	23,344,658	23,959,995	81,981,230	18.06	
	後期支援金 計		39,462,874	7,237,260	7,478,883	24,746,731	18.34	
	介護納付金 計		21,054,000	3,761,326	3,383,485	13,909,189	17.87	
	合 計		189,802,757	34,343,244	34,822,363	120,637,150	18.09	
	(令和3年度)		250,426,221	41,894,540	59,853,882	148,677,799	16.73	
督促手数料		66,598	66,598	0	0	100.00		
延滞 金	一 般		26,700,528	26,700,528	0	0	100.00	
	退 職		0	0	0	0	—	
	合 計		26,700,528	26,700,528	0	0	100.00	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明										
1 款 総務費	決算額	157,076,260円									
1 項 総務管理費	決算額	144,481,847円									
1 目 一般管理費	決算額	141,010,527円									
1 窓口受付等包括業務委託	<p>市で取り扱う窓口における各種届書及び申請書の受付、窓口案内等に関する業務の一部を委託し、民間事業者のノウハウの活用及び創意工夫により効率的な業務の遂行と市民サービスの向上を図った。</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>委託先</th> <th>委託料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>シダックス大新東ヒューマンサービス(株)</td> <td>10,433,496</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>シダックス大新東ヒューマンサービス(株)</td> <td>10,433,496</td> </tr> </tbody> </table>		年度	委託先	委託料	4	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	10,433,496	3	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	10,433,496
年度	委託先	委託料									
4	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	10,433,496									
3	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	10,433,496									
3 目 運営協議会費	決算額	148,080円									
1 委員報酬	<p>島田市国民健康保険運営協議会委員（委員14人 被保険者、保険医・薬剤師、公益団体、被用者保険等から推薦・選出された者で構成）</p> <p>開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年7月29日</td> <td>島田市国民健康保険税賦課限度額の改正について 令和4年度島田市国民健康保険事業計画について 令和3年度島田市国民健康保険事業特別会計決算見込について 特定健診、特定保健指導の状況について 令和4年度保健事業の実施について 保険料水準統一の進捗状況について 令和4年度島田市国民健康保険事業特別会計当初予算について 新型コロナウイルス感染症感染防止に係る対応について 個人番号を活用した事業の実施状況について</td> </tr> <tr> <td>令和5年2月22日</td> <td>令和5年度島田市国民健康保険事業特別会計予算（案）について 令和3年度特定健診（法定報告）について 国民健康保険税率設定について 令和3年度医療費分析の結果について 減塩普及啓発事業の実施状況について</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	内 容	令和4年7月29日	島田市国民健康保険税賦課限度額の改正について 令和4年度島田市国民健康保険事業計画について 令和3年度島田市国民健康保険事業特別会計決算見込について 特定健診、特定保健指導の状況について 令和4年度保健事業の実施について 保険料水準統一の進捗状況について 令和4年度島田市国民健康保険事業特別会計当初予算について 新型コロナウイルス感染症感染防止に係る対応について 個人番号を活用した事業の実施状況について	令和5年2月22日	令和5年度島田市国民健康保険事業特別会計予算（案）について 令和3年度特定健診（法定報告）について 国民健康保険税率設定について 令和3年度医療費分析の結果について 減塩普及啓発事業の実施状況について			
開催日	内 容										
令和4年7月29日	島田市国民健康保険税賦課限度額の改正について 令和4年度島田市国民健康保険事業計画について 令和3年度島田市国民健康保険事業特別会計決算見込について 特定健診、特定保健指導の状況について 令和4年度保健事業の実施について 保険料水準統一の進捗状況について 令和4年度島田市国民健康保険事業特別会計当初予算について 新型コロナウイルス感染症感染防止に係る対応について 個人番号を活用した事業の実施状況について										
令和5年2月22日	令和5年度島田市国民健康保険事業特別会計予算（案）について 令和3年度特定健診（法定報告）について 国民健康保険税率設定について 令和3年度医療費分析の結果について 減塩普及啓発事業の実施状況について										
2 項 徴税費	決算額	12,594,413円									
1 目 賦課徴収費	決算額	12,594,413円									
1 賦課徴収事務費	<p>(1) 国民健康保険税の減免に関する状況</p> <p>ア 旧被扶養者に対する減免</p> <p>平成20年4月の後期高齢者医療制度の創設に伴い、制度創設時の後期高齢者又は制度創設後に75歳に到達する者が被用者保険から後期高齢者医療制度に移行することにより、当該被保険者の被扶養者から国保被保険者となった65歳以上の者に対し減免した。</p> <p style="text-align: right;">(単位：件、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>件 数</th> <th>減免額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>107</td> <td>1,745,283</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>95</td> <td>1,450,447</td> </tr> </tbody> </table>		年 度	件 数	減免額	4	107	1,745,283	3	95	1,450,447
年 度	件 数	減免額									
4	107	1,745,283									
3	95	1,450,447									

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明		
イ その他の減免（現年度分）		（単位：件、円）		
年 度	承 認 事 由	件 数	減 免 額	
4	生活困窮（生活保護に準ずる公私の扶助を受けるに至ったもの）	2	49,900	
	所得減（災害・傷病等により著しく収入が減少したもの）	0	0	
	その他特別の理由（特例対象被保険者に準ずるもの）	1	58,700	
	国民健康保険法第59条（収監・在監等）によるもの	5	135,200	
	合 計	8	243,800	
3	生活困窮（生活保護に準ずる公私の扶助を受けるに至ったもの）	2	49,900	
	所得減（災害・傷病等により著しく収入が減少したもの）	1	19,200	
	その他特別の理由（特例対象被保険者に準ずるもの）	1	102,400	
	国民健康保険法第59条（収監・在監等）によるもの	4	55,000	
	合 計	8	226,500	
ウ その他の減免（遡及分）		（単位：件、円）		
年 度	承 認 事 由	件 数	減 免 額	
4	国民健康保険法第59条（収監・在監等）によるもの	3	227,700	
3	国民健康保険法第59条（収監・在監等）によるもの	4	170,500	
エ 新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少減免		（単位：件、円）		
年 度	承 認 事 由	件 数	減 免 額	
4	新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少	0	0	
3	新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少	15	3,035,400	
(2) 口座振替利用状況		（単位：件、%）		
年 度	調 定 件 数	口 座 振 替 件 数	振 替 実 績 件 数	口 座 振 替 利 用 率
4	75,437	50,162	48,745	66.5
3	76,511	51,075	49,655	66.8
※調定件数は、各納期での普通徴収の件数とした（過年度更正に伴う随時課税分を含む。）。				
※口座振替件数は、各納期に口座振替として各金融機関に請求した件数とした（再振替を含まない。）。				
※口座振替利用率は、口座振替件数を調定件数で除したものである。				
(3) コンビニエンスストア収納利用状況		（単位：件、%）		
平成27年5月7日からコンビニ収納の運用を開始し、被保険者の利便性の向上と納期内納付の促進を図った。				
年 度	直 接 納 付 件 数	う ち コ ン ビ ニ エ ン ス ス ト ア 利 用 件 数	コ ン ビ ニ エ ン ス ス ト ア 利 用 率	
4	32,578	16,525	50.7	
3	34,679	16,451	47.4	
※件数は、本税（現年分、過年分）、督促手数料、延滞金それぞれで計上した合算				
(4) コンビニエンスストア収納手数料		（単位：円）		
業 務 名 称	履 行 期 間	契 約 先	決 算 額	
			令 和 4 年 度	令 和 3 年 度
コンビニエンスストア 収納手数料（単価契約）	令和2年4月1日～ 令和7年3月31日	(株)電算システム	1,036,113	1,006,643

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(5) 不納欠損処分の内訳 (単位：件、円)

区 分		地方税法第15条の7第4項 (執行停止から3年経過)	地方税法第15条の7第5項 (執行停止後、即時不納欠損)	地方税法第18条第1項 (消滅時効完成)
令和4年度	件数	57	0	60
	金額	19,848,235	0	14,974,128
令和3年度	件数	73	2	113
	金額	24,110,920	773,972	34,968,990

(6) 滞納処分の執行状況 (単位：件、円)

区 分	令和4年度		令和3年度	
	件数	滞納金額	件数	滞納金額
預 貯 金	21	1,096,200	16	1,965,000
不 動 産	0	0	2	1,346,428
給 与	17	3,742,900	12	2,431,858
そ の 他	7	852,600	10	1,774,936
合 計	45	5,691,700	40	7,518,222
参加差押	0	0	2	419,400

※件数欄は、保険税の期別の徴収権の数ではなく、差し押えた債権の数

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
2款 保険給付費	決算額 6, 259, 819, 012円
1項 療養諸費	決算額 5, 474, 698, 753円
1目 一般被保険者療養給付費	決算額 5, 414, 969, 954円

一般被保険者療養給付費支給状況 (単位：円)

区 分	件数(件)	費 用 額	保険者負担額	一部負担額	他法負担額	
給 付 額	376, 541	7, 314, 260, 298	5, 414, 969, 954	1, 824, 662, 264	93, 575, 839	
第三者納付金	△51	△602, 980	△455, 479	△147, 501	0	
返 納 金	△87	△2, 385, 010	△1, 874, 885	△505, 625	△4, 500	
診療報酬(一般)確定額差額			△18, 947, 759			
差引実質給付	376, 403	7, 311, 272, 308	5, 393, 691, 831	1, 824, 009, 138	93, 571, 339	
給付割合別 内訳	高齢受給者(一般)	8割	155, 524	2, 922, 019, 540	2, 326, 780, 402	583, 219, 690
	高齢受給者 (一定以上所得者)	7割	11, 295	219, 011, 255	152, 576, 615	65, 803, 314
	未就学児	8割	5, 378	64, 870, 854	51, 706, 506	11, 167, 971
	就学児以上70歳未満	7割	204, 206	4, 105, 370, 659	2, 862, 628, 308	1, 163, 818, 163

※給付額の横計算は、診療報酬(一般)確定額差額を加算すると一致する。

※第三者納付金及び返納金は、給付実績に対する返還金であるため、件数及び金額はマイナスとなる。

※診療報酬(一般)確定額差額は、4月に確定した請求額(確定額)が2月診療3月請求分の現物給付分の一定額(給付見込額)より下回り、その差額分については返還となるため、金額はマイナスとなる。

(入院・入院外・歯科等の内訳)

(単位：円)

区 分	件 数 (件)	日(食)数 (日、回)	費 用 額	1 件 当たり 日数(日、食)	1日(食) 当たり 費用額	1 件 当たり 費用額	1 人 当たり 費用額
入 院	3, 834	59, 618	2, 348, 555, 260	15. 55	39, 393	612, 560	123, 921
入院外	189, 149	262, 714	3, 002, 983, 210	1. 39	11, 431	15, 876	158, 452
歯 科	37, 667	63, 698	471, 825, 890	1. 69	7, 407	12, 526	24, 896
小 計	230, 650	386, 030	5, 823, 364, 360	1. 67	15, 085	25, 248	307, 269
調 剤	145, 272	(165, 294)	1, 311, 074, 020	1. 14	7, 932	9, 025	69, 179
食 事	(3, 761)	(158, 357)	105, 594, 708	42. 11	667	28, 076	5, 572
訪 問	481	4, 298	71, 239, 220	8. 94	16, 575	148, 106	3, 759
合 計	376, 403	390, 328	7, 311, 272, 308	1. 04	18, 731	19, 424	385, 778

※1人当たり費用額は、一般被保険者の年度平均人数18, 952人で算出したもの。

※合計を前年度と比較すると、件数で2. 49%、費用額で1. 64%の減、1人当たり費用額で2. 31%の増となった。

※括弧内の数値は合計に加算しない。

3目 一般被保険者療養費 決算額 34, 692, 208円

一般被保険者療養費支給状況 (単位：円)

区 分	件数(件)	費 用 額	保険者負担額	一部負担額	他法負担額
給 付 額	5, 832	46, 957, 847	34, 692, 208	12, 265, 639	0
第三者納付金	0	0	0	0	0
返 納 金	0	0	0	0	0
指定公費負担額	0	0	0	0	0
差引実質給付	5, 832	46, 957, 847	34, 692, 208	12, 265, 639	0

※主な内容は、柔道整復施術療養費。

※差引実質給付を前年度と比較すると、件数で7. 88%、費用額で9. 38%の減となった。

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明			
5目 審査支払手数料		決算額 25,036,591円			
審査支払手数料内訳		(単位：円、件)			
区 分		基本手数料	単価	件数	金額
診療報酬分	1次	0	61	377,349	23,018,289
	2次	924,000	20	836	940,720
柔道整復分	1次	0	163	5,269	858,847
	2次	0	41	5,335	218,735
合 計					25,036,591
2項 高額療養費		決算額 765,129,442円			
1目 一般被保険者高額療養費		決算額 764,676,548円			
一般被保険者高額療養費支給状況		(単位：件、円)			
区 分		件数	支 給 額	内 訳	
				現金給付分	現物給付分
給 付 額		15,040	764,676,548	90,252,671	674,423,877
第三者納付金		△3	△3,047	△3,047	0
返 納 金		△4	△288,988	△2,903	△286,085
差引実質給付		15,033	764,384,513	90,246,721	674,137,792
※第三者納付金及び返納金は、給付実績に対する返還金であるため、件数及び金額はマイナスになる。					
※差引実質給付を前年度と比較すると、件数で12.13%、支給額で2.07%の増となった。					
3目 一般被保険者高額介護合算療養費		決算額 452,894円			
一般被保険者高額介護合算療養費支給状況		(単位：件、円)			
年 度	件数	支 給 額			
4	24	452,894			
3	19	741,554			
増 減	5	△288,660			
4項 出産育児諸費		決算額 12,984,050円			
1目 出産育児一時金		決算額 12,977,540円			
出産育児一時金支給状況		(単位：円、件)			
年 度	1件当たり支給額	件数	支 給 額		
4	420,000	31	12,977,540		
3	420,000	37	15,498,110		
増 減	0	△6	△2,520,570		
※出産育児一時金の医療機関等への直接支払制度創設により、一時金を医療機関と被保険者に分けて支給する場合があります、双方への支払の前後により端数が生じた。					
5項 葬祭諸費		決算額 6,300,000円			
1目 葬祭費		決算額 6,300,000円			
葬祭費支給状況		(単位：円、件)			
年 度	1件当たり支給額	件数	支 給 額		
4	50,000	126	6,300,000		
3	50,000	143	7,150,000		
増 減	0	△17	△850,000		

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明	
6項 傷病手当費	決算額	706,767円
1目 傷病手当金	決算額	706,767円
傷病手当金支給状況 (単位: 件、円)		
	年 度	件数
	4	24
	3	8
	増 減	16
		支 給 額
		706,767
		355,059
		351,708
3款 事業費納付金	決算額	2,394,834,059円
1項 医療給付費分	決算額	1,626,332,937円
1目 一般被保険者医療給付費分	決算額	1,626,174,677円
事業費納付金 (一般被保険者 医療給付費分)		
	年 度	金 額(円)
	4	1,626,174,677
	3	1,689,725,028
	増減率	△3.76%
2目 退職被保険者等医療給付費分	決算額	158,260円
事業費納付金 (退職被保険者 医療給付費分)		
	年 度	金 額(円)
	4	158,260
	3	746,103
	増減率	△78.79%
2項 後期高齢者支援金等分	決算額	573,426,227円
1目 一般被保険者後期高齢者支援金等分	決算額	573,387,481円
事業費納付金 (一般被保険者 後期高齢者支援金等分)		
	年 度	金 額(円)
	4	573,387,481
	3	593,653,165
	増減率	△3.41%
2目 退職被保険者等後期高齢者支援金等分	決算額	38,746円
事業費納付金 (退職被保険者 後期高齢者支援金等分)		
	年 度	金 額(円)
	4	38,746
	3	89,246
	増減率	△56.59%

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明	
3項 介護納付金分	決算額	195,074,895円
1目 介護納付金分	決算額	195,074,895円
事業費納付金（介護納付金分）		
年 度	金 額(円)	
4	195,074,895	
3	197,062,637	
増減率	△1.01%	
5款 保健事業費	決算額	119,068,095円
1項 保健事業費	決算額	119,068,095円
1目 保健衛生普及費	決算額	119,068,095円

1 健康推進事業

(1) 人間ドック助成事業

国保に加入し国税の滞納のない世帯に属する被保険者に対し、人間ドック費用のうち20,000円（脳ドックは10,000円）を助成した。

人間ドック費用助成実績

(単位：件、円)

健診機関名称	コース	件数	助成単価	助成金額
S B S 静岡健康増進センター	人間ドック(基準)コース	23	20,000	460,000
	動脈硬化コース	0	20,000	0
島田市立総合医療センター	日帰り	391	20,000	7,820,000
	脳ドック	108	10,000	1,080,000
聖隷予防検診センター	日帰り	9	20,000	180,000
聖隷健康サポートセンター	日帰り	50	20,000	1,000,000
藤枝平成記念病院	日帰り	16	20,000	320,000
総合健診センターヘルスポート	日帰り	222	20,000	4,440,000
西焼津健診センター	日帰り	12	20,000	240,000
令和4年度 合計		831		15,540,000
令和3年度 助成実績		853		15,840,000

(2) 特定健康診査及び特定保健指導事業

中長期的な医療費の伸びの適正化を図るため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、40歳以上75歳未満の被保険者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した特定健診によって保健指導対象者を抽出し、対象者の持つリスクに応じた個別の保健指導を行った。

令和3年度から、保健指導実施率向上と利用者の利便性を図るため、島田市立総合医療センター、総合健診センターヘルスポート、聖隷健康サポートセンター、聖隷予防健診センターの人間ドック受診者及び総合がん検診受診者（聖隷予防健診センター）の特定保健指導を健診実施機関に業務委託している。

ア 特定健康診査実施状況

(単位：人、%、円)

年 度	対象者数	受診者数	受診率	健診委託料（検査項目別）			実施機関
				基本・追加	詳細	合計	
4	16,393	5,765	35.2	59,561,984	3,571,150	63,133,134	(一社)島田市医師会 島田市立総合医療センター
3	16,733	5,863	35.0	60,989,789	1,716,715	62,706,504	(一社)榛原医師会 (福)聖隷予防検診センター

※受診者数は、特定健診委託契約に基づく年度末時点の受診者数

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

イ 特定保健指導実施状況

(7) 全体の実施状況

(単位：人、%)

区 分	年度	対象者数	利用者数	利用率
動機付け支援	4	416	368	88.5
	3	495	412	83.2
積極的支援	4	130	113	86.9
	3	143	114	79.7
合 計	4	546	481	88.1
	3	638	526	82.4

(イ) 委託実施機関別実施状況

(単位：人、%、件、円)

委託実施機関	年度	対象者数	利用者数	利用率	終了者数	実施率	情報提供	委託金額
島田市立総合 医療センター	4	21	21	100.0	14	66.7		219,234
	3	23	22	95.7	12	52.2		225,894
総合健診センター ヘルスポート	4	19	14	73.7	6	31.6		188,232
	3	18	15	83.3	9	50.0		231,308
聖隷健康サポートセンター ・予防検診センター	4	7	5	71.4	4	57.1		66,000
	3	4	3	75.0	2	50.0		56,980
聖隷予防検診センター (集団)	4	229	201	87.8	63	27.5	19	4,507,716
	3	247	226	91.5	76	30.8	34	4,407,097
合 計	4	276	241	87.3	87	31.5	19	4,981,182
	3	292	266	91.1	99	33.9	34	4,921,279

※令和4年4月2日以降の加入者、脱退者も含む。

※令和4年度は令和5年3月31日現在であり、支援経過途中の実績。

2 医療費適正化対策事業

(1) 医療費通知事業

連続する2か月間の医療内容を年6回通知し、国保被保険者に健康意識の高揚を図った。

医療費通知発送実績

年 度	通 数 (通)
4	85,083
3	86,528

(2) 後発医薬品差額通知作成事業

継続的に医薬品を服用し自己負担額を100円以上軽減できる国保被保険者に差額通知を送付し、医療給付費の抑制を図った。

差額通知送付実績及び普及率

年 度	令和4年度	令和3年度
通知回数	2回/年	2回/年
年間送付実績	2,879通	3,321通
通知時期	8・12月	9・12月
後発医薬品普及率	85.8%	84.4%

※普及率は、毎年度12月診療分時点

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
3 国保保健指導事業				
(1) 糖尿病性腎症重症化予防事業	島田市国保データヘルス計画に基づき、医療費が高額となる人工透析への移行を予防することで、被保険者の健康増進と医療費の適正化を図った。			
ア データヘルス計画推進委員会開催状況				
	開催日	内 容		
	令和4年9月26日	データヘルス計画に基づく特定健診事業及び糖尿病性腎症重症化予防事業等の進捗状況報告、評価及び助言		
	令和5年3月20日			
イ 糖尿病性腎症重症化予防セミナー事業				
	開催日	参加人数(人)	内 容	講 師
	令和4年9月21日	23	・腎臓専門医による糖尿病性腎症に関する講和 ・24時間蓄尿の意義、実施方法等の説明と希望者に容器の配布	しのぎき消化器科・内科医院 医師 篠崎 真吾 氏
	令和4年10月20日	23	・歯科医師による糖尿病と歯周疾患に関する講話 ・血糖管理のための栄養講話（間食） ・24時間蓄尿の提出	島田歯科医師会 歯科医師 鈴木 一令 氏 国保年金課 保健師、管理栄養士
	令和4年11月15日	22	・運動実践講座（運動の効果に関する講話と実技）	運動指導講師 青野 宏子 氏
	令和5年1月23日	21	・血糖管理のための栄養講話（減塩） ・24時間蓄尿の結果説明	相模女子大学栄養科学部助教 円谷 由子 氏 国保年金課 管理栄養士
ウ 健診等普及啓発事業				
	世界糖尿病デーに合わせて糖尿病の予防と健診の受診啓発を行い、健康意識の高揚を図った。			
	開催日	内 容	事業費 (円)	
	令和4年11月13日	・ローズアリーナにて健康講演会の開催 第1部：腎臓内科医による糖尿病と腎臓のお話し 第2部：運動指導士による座ったままできる運動の体験 参加者 93人	132,890 (内訳) 報償費 79,500 需用費 34,100 使用料 19,290	
エ 減塩普及啓発事業（島田市国保TE・Aプロジェクト）【令和4年度新規事業】				
	医療費の高い生活習慣病（高血圧等）の発症予防に重点を置き、市民の食環境の整備を行うことによって医療費の適正化を図った。			
	年 度	内 容	委託金額 (円)	委託先
	4	・イメージキャラクター作成 ・適塩動画6本作成、配信 再生数 合計：3,020回（令和5年3月末時点）	560,000	榊食の学び舎くるみ

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																																		
(2) 特定健診40歳前勧奨事業	<p>特定健診前の若年層（35～39歳）に対し、健診・保健指導を実施することで、若年からの健診の習慣づけと生活習慣の早期改善を促した。</p> <p>若年層健診実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>対象者数(人)</th> <th>受診者数(人)</th> <th>受診率(%)</th> <th>健診委託料(円)</th> <th>実施機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>615</td> <td>62</td> <td>10.1</td> <td>637,519</td> <td>(福)聖隷予防検診センター</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>636</td> <td>70</td> <td>11.0</td> <td>699,248</td> <td>(福)聖隷予防検診センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>若年層保健指導実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>対象者(人)</th> <th>利用者(人)</th> <th>利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>44.4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>86.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年4月2日以降の加入者・脱退者も含む。</p>					年 度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	健診委託料(円)	実施機関	4	615	62	10.1	637,519	(福)聖隷予防検診センター	3	636	70	11.0	699,248	(福)聖隷予防検診センター	年 度	対象者(人)	利用者(人)	利用率(%)	4	9	4	44.4	3	15	13	86.7
年 度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	健診委託料(円)	実施機関																														
4	615	62	10.1	637,519	(福)聖隷予防検診センター																														
3	636	70	11.0	699,248	(福)聖隷予防検診センター																														
年 度	対象者(人)	利用者(人)	利用率(%)																																
4	9	4	44.4																																
3	15	13	86.7																																
(3) 特定健康診査受診勧奨事業	<p>特定健診の未受診者に対して、はがき等による勧奨を行うことで、特定健診の受診率向上を目指す。令和4年は前年度比0.2ポイント増加した。</p> <p>ア 特定健診未受診者受診勧奨業務</p> <p>特定健診の未受診者に対し、受診勧奨を行う業務委託を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>業務内容</th> <th>委託金額(円)</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>A I を活用した受診勧奨</td> <td>5,439,423</td> <td>(株)キャンサーズキャン</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>A I を活用した受診勧奨</td> <td>5,395,291</td> <td>(株)キャンサーズキャン</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>勧奨者数(人)</th> <th>受診者数(人)</th> <th>勧奨による受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>8,566</td> <td>1,501</td> <td>17.5</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9,059</td> <td>1,568</td> <td>17.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 日曜特定健診</p> <p>平日の受診が困難な人に対する受診促進のため、日曜健診を実施した。令和4年6月は3年間連続特定健診未受診者を対象に、令和5年1月は総合がん検診未予約者を対象にはがきと架電による勧奨を行い、計230人が受診した。</p>					年 度	業務内容	委託金額(円)	委託先	4	A I を活用した受診勧奨	5,439,423	(株)キャンサーズキャン	3	A I を活用した受診勧奨	5,395,291	(株)キャンサーズキャン	年 度	勧奨者数(人)	受診者数(人)	勧奨による受診率(%)	4	8,566	1,501	17.5	3	9,059	1,568	17.3						
年 度	業務内容	委託金額(円)	委託先																																
4	A I を活用した受診勧奨	5,439,423	(株)キャンサーズキャン																																
3	A I を活用した受診勧奨	5,395,291	(株)キャンサーズキャン																																
年 度	勧奨者数(人)	受診者数(人)	勧奨による受診率(%)																																
4	8,566	1,501	17.5																																
3	9,059	1,568	17.3																																
6款 基金積立金	決算額	51,049円																																	
1項 基金積立金	決算額	51,049円																																	
1目 保険事業基金積立金	決算額	51,049円																																	
1 国民健康保険事業基金の状況					(単位：円)																														
令和3年度末 現在高	令和4年度中増減				令和4年度末 現在高																														
704,473,401	新規積立金	利子積立金	取り崩し	合計	704,524,450																														
	0	51,049	0	51,049																															

土地取得事業

○土地取得事業特別会計の状況

令和4年度末の土地開発基金現在高は12億1,604万円であり、うち土地保有分が3億6,726万円、島田市土地開発公社への貸付金が7,403万円、現金保有分が7億7,475万円となっている。

令和4年度の歳入については、湯日大柳線用地1筆の買戻しがあり、1,508万円の土地売払収入があった。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明	
1 款 公共用地取得費	決算額	0円
1 項 公共用地取得費	決算額	0円
1 目 公共用地取得費	決算額	0円

1 事業実施状況

令和4年度の土地取得はなかった。

処分については、湯日大柳線に係る用地745.00㎡の買戻しが行われた。

事業区分		面積(㎡)	金額(円)
処分	道路用地等	△745.00	15,081,825
	合 計	△745.00	15,081,825

2 財産(土地)保有状況

事業区分	前年度末現在面積(㎡)	増(㎡)	減(㎡)	本年度末現在面積(㎡)	金額(円)
道路用地等	1,628.23	0	△745.00	883.23	71,188,704
公園用地	4,258.68	0	0	4,258.68	296,071,261
合 計	5,886.91	0	△745.00	5,141.91	367,259,965

2 款 繰出金

決算額 774,747,921円

1 項 基金繰出金

決算額 774,747,921円

1 目 土地開発基金繰出金

決算額 774,747,921円

1 土地開発基金の状況(現金保有分)

一般会計の買戻しによる増加があった。

(単位：円)

前年度末現在高	増	減	本年度末現在高
759,666,096	15,081,825		
(内訳)			0
土地売払収入	15,081,825		774,747,921

休日急患診療事業

○休日急患診療事業の状況

日曜・祝日等の昼間の1次救急医療体制を確保するため、島田市立総合医療センター敷地内において診療を実施した。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止、重症化予防等のため、当診療所の巡回診療として、「地域外来・検査センター」でPCR検査を行うとともに、保健福祉センター等で新型コロナウイルスワクチンの集団接種を実施した。さらに、新型コロナ・インフル同時流行に備えた地域医療体制の強化として、12月から2月までの間、看護師を1人増員し、抗原定性検査キットを配布した。

令和4年度の休日急患診療所の通常診療の受診者数は671人であった。令和3年度と比べて221人増となっているが、新型コロナウイルス感染拡大により受診を控える人が多い状況が続いている。

診療収入のうち、地域外来・検査センター分は、PCR検査の1件当たりの診療点数が減少したこと、また新型コロナウイルスワクチン接種分は、接種者数の減によりそれぞれ減少した。

1 休日急患診療所受診者数 (単位：人)

区分	令和4年度	令和3年度	増減
内科	342(51.0%)	195(43.3%)	147
小児科	238(35.5%)	153(34.0%)	85
その他	91(13.5%)	102(22.7%)	△11
合計	671(100.0%)	450(100.0%)	221

※括弧内は構成比率

2 「地域外来・検査センター」PCR検査件数 (単位：件)

区分	令和4年度	令和3年度	増減
検査件数	608	523	85

※開設期間：令和4年度は令和5年2月28日まで

3 新型コロナウイルスワクチン集団接種者数 (単位：人)

区分	令和4年度	令和3年度	増減
接種者数(延べ人数)	19,464	43,114	△23,650

4 決算収支の状況 (単位：円)

		区分	令和4年度	令和3年度	増減
決算額	歳入	現年度分	6,645,903	3,145,711	3,500,192
		診療収入			
		地域外来・検査センター分	7,322,450	10,708,990	△3,386,540
		新型コロナウイルスワクチン接種分	264,627	3,138,201	△2,873,574
		小計	14,232,980	16,992,902	△2,759,922
		県支出金	3,441,244	1,596,932	1,844,312
		繰入金	28,249,128	48,857,009	△20,607,881
		繰越金	1,243,585	2,669,444	△1,425,859
		諸収入	-	429,000	皆減
		国庫支出金	-	80,000	皆減
		合計	47,166,937	70,625,287	△23,458,350
	歳出	総務費	3,723,075	9,130,950	△5,407,875
		医業費	43,402,200	60,250,752	△16,848,552
		予備費	0	0	0
合計		47,125,275	69,381,702	△22,256,427	
		翌年度繰越金	41,662	1,243,585	△1,201,923

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明												
1 款 総務費	決算額 3,723,075円												
1 項 総務管理費	決算額 3,723,075円												
1 目 一般管理費	決算額 3,723,075円												
1 診療所運営管理費													
(1) 窓口受付業務労働者派遣													
派遣契約先 ㈱ニチイ学館													
契約金額 1時間当たり 2,450円/単価契約 (決算額 1,546,580円)													
派遣時間 午前8時30分から午後5時30分まで													
(2) レセプト作成システム運用													
内容		契約期間		事業費 (円)					契約先				
レセプト作成システム コンピュータ賃借		令和元年10月1日～ 令和6年9月30日 (債務負担行為)		634,920 (総額3,174,600)					静銀リース(株)藤枝営業所				
レセプト作成システム コンピュータ保守		令和4年4月1日～ 令和5年3月31日		349,800					PHCメディコム(株)				
合 計				984,720									
2 款 医業費	決算額 43,402,200円												
1 項 医業費	決算額 43,402,200円												
1 目 医業費	決算額 43,402,200円												
1 診療費													
・主な診療科 小児科、内科													
・開 設 日 日曜日、祝日、年末年始 (12月31日～1月3日)													
・診療時間 午前9時から午後5時まで													
・診療体制 医師1人 ((一社) 島田市医師会)、薬剤師1人 (島田薬剤師会)、看護師1人 (会計年度任用職員) ※12月から2月までは2人体制、事務員1人 (㈱ニチイ学館)													
(1) 令和4年度診療状況													
区分	開設 日数 (日)	受診者数 (人)											
		令和4年度										令和3年度	
		小児科	内科	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	整形 外科	その他	合計	1日 平均	合計	1日 平均
4月	5	6	7	3	0	0	3	2	0	21	4.2	26	5.2
5月	8	13	17	0	1	1	5	1	0	38	4.8	79	9.9
6月	4	5	9	1	0	0	1	1	0	17	4.3	17	4.3
7月	6	21	6	0	3	0	2	0	2	34	5.7	43	7.2
8月	5	12	11	0	3	0	9	0	0	35	7.0	49	8.2
9月	6	15	15	2	0	1	5	1	0	39	6.5	28	4.7
10月	6	25	13	4	1	0	2	0	2	47	7.8	25	5.0
11月	6	26	14	2	0	0	3	0	3	48	8.0	36	6.0
12月	5	18	43	0	0	0	4	3	1	69	13.8	36	7.2
1月	8	48	137	0	0	0	1	0	2	188	23.5	66	8.3
2月	6	32	42	1	0	1	2	1	4	83	13.8	24	4.0
3月	5	17	28	2	3	0	1	1	0	52	10.4	21	4.2
合計	70	238	342	15	11	3	38	10	14	671	9.6	450	6.4
構成比 (%)		35.5	51.0	2.2	1.6	0.4	5.7	1.5	2.1	100.0			

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明							
-------	--	---------------	--	--	--	--	--	--	--

(2) 年齢別患者数

年度	区 分	6歳未満	6～15歳未満	15～30歳未満	30～45歳未満	45～60歳未満	60～70歳未満	70歳以上	合計
4	人 数(人)	154	114	109	106	80	38	70	671
	構成比(%)	23.0	17.0	16.2	15.8	11.9	5.7	10.4	100.0
3	人 数(人)	131	55	58	64	59	35	48	450
	構成比(%)	29.1	12.2	12.9	14.2	13.1	7.8	10.7	100.0

2 地域外来・検査センター運営事業

(1) 島田市地域外来・検査センターの実施（県委託事業）

- ・運営日時 週3日（月・水・土）午後1時から午後3時までの1時間程度
- ・運営体制 医師1人（（一社）島田市医師会）、看護師1人（暫定再任用職員）、看護師兼事務員1人（会計年度任用職員）、駐車場整理誘導員1人（（公社）島田市シルバー人材センター）
- ・実施日数 116日（令和5年2月28日まで実施）
- ・検査人数 608人

(2) 地域外来・検査センター設備整備事業（県補助事業）

（単位：円）

事業名	事業の概要	事業費	備考
地域外来・検査センター設備整備事業	地域外来・検査センターの運営に必要な物品の賃貸借	674,490 (財源内訳) 県支出金(地域外来・検査センター設備整備事業補助金) 674,000 一般財源 490	使用料及び賃借料 674,490

3 新型コロナウイルスワクチン接種事業

休日急患診療所の巡回診療として、市内4会場で新型コロナウイルスワクチンの集団接種を実施し、接種従事者に報償費等を支出した。

- ・接種会場 夢づくり会館、ローズアリーナ、保健福祉センター、チャリム21
- ・接種従事者 医師30人、看護師37人（いずれも実人数）

各会場における接種状況

年度	区分	夢づくり会館	ローズアリーナ	保健福祉センター	チャリム21	看護専門学校	合計
4	実施回数(回)	41	62	95	13	-	211
	接種者数(延べ人数)	3,930	7,289	5,768	2,477	-	19,464
3	実施回数(回)	58	38	49	12	37	194
	接種者数(延べ人数)	13,219	7,388	8,268	3,284	10,955	43,114

介護保険事業

○介護保険事業の状況

令和4年度末の高齢者数は30,660人、高齢化率は31.89%で、令和3年度末に比べ22人の減、0.18ポイントの増となった。また、65歳以上の要介護・要支援認定者数は、令和4年度末で4,410人となり、令和3年度に比べ112人増加し、認定率は14.39%で0.36ポイントの増となった。

令和4年度は3年間を計画期間とする第8期介護保険事業計画の2年目であり、計画に基づき適正な事業の運営に努めた。

歳出決算額は、令和3年度に比べ、保険給付費が5,825万円、地域支援事業費が173万円それぞれ増加し、介護保険事業特別会計全体では3,375万円の増となった。

1 被保険者等の状況

(単位：人)

区 分		人口	構成比(%)	第1号被保険者数(A)	認定者数(B)	認定率(%) (B/A)
令和5年3月末	合 計	96,130	100.00	—	4,480	—
	40歳以上64歳以下	31,244	32.50	—	70	—
	65歳以上	※ 30,660	31.89	※ 30,637	4,410	14.39
	65歳以上74歳以下	13,915	14.47	13,909	394	2.83
	75歳以上	16,745	17.42	16,728	4,016	24.01
令和4年3月末	合 計	96,769	100.00	—	4,369	—
	40歳以上64歳以下	31,322	32.37	—	71	—
	65歳以上	※ 30,682	31.71	※ 30,642	4,298	14.03
	65歳以上74歳以下	14,574	15.06	14,564	397	2.73
	75歳以上	16,108	16.65	16,078	3,901	24.26
増 減	合 計	△639	—	—	111	—
	40歳以上64歳以下	△78	0.13	—	△1	—
	65歳以上	△22	0.18	△5	112	0.36
	65歳以上74歳以下	△659	△0.59	△655	△3	0.10
	75歳以上	637	0.77	650	115	△0.25

※ 住所地特例者（介護保険施設入所により施設所在市町村へ住民登録を移した者）がいるため65歳以上人口と第1号被保険者数は一致しない。

2 要介護（要支援）認定者の内訳

(単位：人)

区 分		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	
令和5年 3月末	65歳以上	342	493	1,089	837	733	576	340	4,410	
	40歳以上64歳以下	4	10	11	6	17	14	8	70	
	合計	人数	346	503	1,100	843	750	590	348	4,480
		割合(%)	7.7	11.2	24.6	18.8	16.7	13.2	7.8	100.0
令和4年 3月末	65歳以上	319	457	1,010	833	760	589	330	4,298	
	40歳以上64歳以下	5	9	11	11	19	7	9	71	
	合計	人数	324	466	1,021	844	779	596	339	4,369
		割合(%)	7.4	10.7	23.4	19.3	17.8	13.6	7.8	100.0

3 決算収支の状況

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減
歳入総額 A	8,797,165,259	8,727,659,784	69,505,475
歳出総額 B	8,663,324,283	8,629,572,637	33,751,646
歳入歳出差引額 C(A-B)	133,840,976	98,087,147	35,753,829
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0
実質収支額 E(C-D)	133,840,976	98,087,147	35,753,829

4 第1号被保険者保険料及び段階別人数(令和5年3月末現在)

所得段階	対 象 者	基準額 に対する 割合	年額※1 (円)	人数 (人)	割合 (%)
第1段階	・生活保護受給者 ・高齢福祉年金受給者で、世帯全員が市町村民税非課税の者 ・世帯全員が市町村民税非課税で、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額(年金収入に係る所得を除く)※2との合計が80万円以下の者	0.30	17,900	2,719	8.9
第2段階	世帯全員が市町村民税非課税で、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額(年金収入に係る所得を除く)との合計が80万円を超え120万円以下の者	0.45	26,800	2,309	7.5
第3段階	世帯全員が市町村民税非課税で、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額(年金収入に係る所得を除く)との合計が120万円を超える者	0.70	41,700	1,896	6.2
第4段階	世帯に市町村民税課税者がいて、本人が市町村民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額(年金収入に係る所得を除く)の合計が80万円以下の者	0.90	53,600	3,447	11.3
第5段階	世帯に市町村民税課税者がいて、本人が市町村民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額(年金収入に係る所得を除く)の合計が80万円を超える者(基準段階)	1.00	59,500	6,125	20.0
第6段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額125万円未満の者	1.10	65,500	6,508	21.2
第7段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額125万円以上200万円未満の者	1.30	77,400	3,672	12.0
第8段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額200万円以上300万円未満の者	1.50	89,300	2,061	6.7
第9段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額300万円以上400万円未満の者	1.70	101,200	831	2.7
第10段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額400万円以上500万円未満の者	1.75	104,200	374	1.2
第11段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額500万円以上の者	1.80	107,100	695	2.3
合 計				30,637	100.0

※1 年額は「基準月額(4,960円)×12月×基準額に対する割合」により算出。(100円未満四捨五入)

※2 合計所得金額について、長期譲渡所得又は短期譲渡所得がある場合は、これらに係る特別控除額を控除する。また、第1段階から第5段階で合計所得金額に給与所得が含まれる者は、給与所得から10万円を控除、第6段階以上で合計所得金額に給与所得又は公的年金等に係る雑所得が含まれる者は、これらの合計額から10万円を控除する。

5 第1号被保険者保険料収入状況

収入金額

(単位：円)

区 分	調 定 額 (A)	収入済額 (B)	収入未済 (翌年度調定額)	収納率(%) (B/A)	還付未済	不納欠損額
現年度特別徴収	1,711,086,800	1,713,712,200	0	100.15	2,625,400	0
現年度普通徴収	109,374,350	104,558,950	4,895,400	95.60	80,000	0
滞 納 繰 越 分	12,543,600	1,868,400	6,305,600	14.90	0	4,369,600
合 計	1,833,004,750	1,820,139,550	11,201,000	99.30	2,705,400	4,369,600
(令和3年度)	1,829,774,530	1,815,668,470	12,543,600	99.23	3,234,800	4,797,260

6 保険給付費、国・県負担金及び社会保険診療報酬支払基金交付金等収入の状況

(1) 保険給付費

(単位：円)

年度	予算額(A)	決算額(B)	予算執行率(%) (B/A)
令和4年度	8,789,245,000	8,023,550,853	91.3
令和3年度	8,532,357,000	7,965,303,760	93.4

(2) 保険給付費に係る国・県負担金、社会保険診療報酬支払基金交付金等収入

(単位：円)

区 分		負担割合(原則)	所 要 額	収入済額	返還額等
令和 4 年度	国 庫 負 担 金	25/100(※1)	1,425,256,701	1,527,096,450	101,839,749(返還)
	調 整 交 付 金	20/100(※2)	387,991,000	387,991,000	0
	県 負 担 金	12.5/100(※1) 17.5/100(※2)	1,181,038,249	1,196,861,000	15,822,751(返還)
	一 般 会 計 負 担 分	12.5/100	1,002,421,135	1,002,421,135	0
	支 払 基 金 交 付 金	27/100	2,165,229,653	2,182,075,000	16,845,347(返還)
	低所得者保険料軽減繰入金	23/100	76,327,800	75,167,425(※3)	△1,160,375(追加)
	第1号被保険者保険料	調整交付金 5%との差額	1,781,104,546	1,780,398,146 (※4)	△706,400 (※5)
	第三者納付金・返還金	—	4,181,769	4,181,769	0
	合 計	—	8,023,550,853	8,156,191,925	132,641,072
令和 3 年度	国 庫 負 担 金	25/100(※1)	1,412,335,200	1,472,165,551	59,830,351(返還)
	調 整 交 付 金	20/100(※2)	387,111,000	387,111,000	0
	県 負 担 金	12.5/100(※1) 17.5/100(※2)	1,174,375,357	1,179,616,000	5,240,643(返還)
	一 般 会 計 負 担 分	12.5/100	994,888,676	994,888,676	0
	支 払 基 金 交 付 金	27/100	2,148,959,542	2,151,088,000	2,128,458(返還)
	低所得者保険料軽減繰入金	23/100	74,631,100	73,858,675	△772,425(追加)
	第1号被保険者保険料	調整交付金 5%との差額	1,766,808,540	1,772,526,373 (※4)	5,717,833 (※6)
	第三者納付金・返還金	—	6,194,345	6,194,345	0
	合 計	—	7,965,303,760	8,037,448,620	72,144,860

※1 居宅給付費における負担割合

※2 施設等給付費における負担割合

※3 令和3年度 低所得者保険料軽減負担金の精算による追加繰入分(772,425円)を除く

※4 保険料収入のうち他の事業へ充てる分を控除した金額(令和4年度中の保険給付等支払準備基金の取り崩し分17,027,594円を含む)

※5 令和4年度 介護保険事業特別会計決算による保険給付等支払準備基金の追加取り崩し

※6 翌年度に介護保険事業保険給付等支払準備基金へ積み立てる

7 地域支援事業費と国・県負担金、社会保険診療報酬支払基金交付金等収入の状況

(1) 地域支援事業費

(単位：円)

区 分		予算額 (A)	決算額 (B)	予算執行率(%) (B/A)
令和 4 年度	介護予防・生活支援 サービス事業費	144,999,000	118,135,209	81.5
	一般介護予防事業費	23,173,000	20,454,266	88.3
	包括的支援事業及び 任意事業費	166,927,000	157,816,947	94.5
	包括的支援事業 (社会保障充実分)	8,520,000	6,220,880	73.0
	その他諸費	459,000	366,574	79.9
	合 計	344,078,000	302,993,876	88.1

令和3年度	介護予防・生活支援サービス事業費	153,691,000	120,659,313	78.5
	一般介護予防事業費	26,122,000	18,798,800	72.0
	包括的支援事業及び任意事業費	164,067,000	154,850,273	94.4
	包括的支援事業(社会保障充実分)	9,504,000	6,573,406	69.2
	その他諸費	497,000	378,396	76.1
	合計	353,881,000	301,260,188	85.1

(2) 地域支援事業費に係る国・県負担金、社会保険診療報酬支払基金交付金等収入 (単位：円)

区分		介護予防・日常生活支援総合事業費	包括的支援事業費・任意事業費	合計
令和4年度	国庫補助金	28,321,520	59,916,165	88,237,685
	調整交付金	6,935,000	—	6,935,000
	県補助金	17,700,950	29,958,082	47,659,032
	一般会計負担分	17,198,490	30,355,333	47,553,823
	支払基金交付金	38,234,000	—	38,234,000
	合計	108,389,960	120,229,580	228,619,540
令和3年度	国庫補助金	33,091,200	66,452,801	99,544,001
	調整交付金	7,340,000	—	7,340,000
	県補助金	20,682,000	33,226,400	53,908,400
	一般会計負担分	17,372,559	29,829,910	47,202,469
	支払基金交付金	44,673,000	—	44,673,000
	合計	123,158,759	129,509,111	252,667,870

(3) 保険者機能強化推進交付金収入 (単位：円)

区分	保険者機能強化推進交付金
令和4年度	15,980,000
令和3年度	20,387,000

(4) 介護保険保険者努力支援交付金収入 (単位：円)

区分	介護保険保険者努力支援交付金
令和4年度	12,874,000
令和3年度	20,455,000

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
1 款 総務費	決算額 218,571,067円
1 項 総務管理費	決算額 180,247,200円
1 目 一般管理費	決算額 180,247,200円

1 介護保険総務事務費

(1) 介護保険事務処理システム改修

業務名	事業の概要	事業費 (円)
介護保険事務処理システム改修	一般分 介護保険制度の見直しによる介護保険システムの改修に要する経費	一般分 715,000 (財源内訳) 県支出金(国費) 357,000 職員給与費等繰入金 358,000
	特定個人情報データ標準レイアウト改版分 マイナンバーを利用した情報連携に伴う介護保険システムの改修に要する経費	特定個人情報データ標準レイアウト改版分 550,000 (財源内訳) 県支出金(国費) 366,000 職員給与費等繰入金(※) 184,000

※コロナ臨時交付金の算定対象となる国庫補助事業に該当するため、当該交付金を活用(162,000円)。

(2) 介護職員入門的研修業務委託

介護未経験者等が介護に関する基本的知識及び技術を学ぶ研修を実施し、介護分野への参入のきっかけを作るとともに、多様な人材の参入を促進した。なお、研修修了後には、就労希望の聞き取りをし、就労支援を行った。

年度	研修期間	受講人数(人)	委託料(円)	委託先
4	9月1日～9月13日(うち、4日間)	15	165,000	(株)東海道シグマ
3	10月4日～10月14日(うち、4日間)	11	162,800	(株)東海道シグマ

2 窓口業務等包括委託

市で取り扱う窓口における各種届書及び申請書の受付、窓口案内等に関する業務の一部を委託し、民間事業者のノウハウの活用及び創意工夫により効率的な業務の遂行と市民サービスの向上を図った。

(単位：円)

年度	委託先	委託料
4	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	17,181,996
3	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	17,181,996

2 項 徴収費	決算額 10,701,138円
1 目 賦課徴収費	決算額 10,701,138円

1 介護保険料賦課徴収事務費

適正に賦課を行い、介護保険制度の趣旨の普及に努め着実に収納を行った。また、口座振替を推奨するとともに、普通徴収から特別徴収への切替えを速やかに行うなど、収納率の向上に努めた。

(1) 納入通知書発送事務

市民税確定前の4月と確定後の7月に被保険者に対して納入通知書をそれぞれ送付した。

送付月	令和4年度		令和3年度	
	特別徴収(件)	普通徴収(件)	特別徴収(件)	普通徴収(件)
4月	28,905	1,734	28,843	1,739
7月	29,105	981	29,014	912

(2) 65歳到達者への周知

毎月、新たに介護保険第1号被保険者になる者に対して、介護保険被保険者証とともに、制度概要、口座振替の推奨に関する資料を送付し、制度の周知及び保険料滞納発生の未然防止に努めた。

年度	送付件数(件)
4	1,227
3	1,168

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
(3) 介護保険料の減免に関する状況				
ア 低所得者に対する減免				
年度	人数 (人)	減免額 (円)		
4	1	8,950		
3	1	8,950		
イ 新型コロナウイルス感染症の影響により事業収入等が減少した者に対する減免				
年度	人数 (人)	減免額 (円)		
4	3	220,300		
3	6	416,740		
(4) 口座振替利用状況	(単位：件)			
年度	(A) 調定件数	(B) 口座振替件数	振替実績件数	(B/A) 口座振替利用率 (%)
4	9,645	5,216	5,109	54.1
3	10,266	5,576	5,441	54.3
※口座振替件数は、各納期に口座振替として各金融機関に請求した件数とした。				
3項 介護認定審査会費	決算額	27,622,729円		
1目 介護認定審査会費	決算額	10,054,844円		
1 委員報酬				
介護認定審査会 委員47人 (医療、保健又は福祉に関する学識経験を有する者で構成) 8つの合議体 (委員6～7人) で介護認定審査会を開催し、公平かつ速やかに認定作業を行った。				
年度	開催回数(回)	審査件数(件)		
4	112	3,010		
3	120	3,338		
2目 介護認定調査費	決算額	17,567,885円		
1 介護認定調査事業				
(1) 介護認定調査				
要介護認定を申請した被保険者の心身の状態等について、調査員が面接し認定調査を行った。認定調査結果は、介護認定審査会において審査判定に用いられた。また、遠距離や調査件数が多い時期の調査を居宅介護支援事業所へ委託した。				
調査件数実績			(単位：件)	
年度	職員調査件数	委託調査件数	合計	
4	2,962	66	3,028	
3	3,212	72	3,284	
(2) 主治医意見書作成依頼				
要介護認定を申請した被保険者の身体又は精神の障害の原因である疾病・負傷の状況等に関する意見書の作成を主治医に依頼した。主治医意見書は、介護認定審査会において審査判定に用いた。				
作成依頼件数			(単位：件)	
年度	市内診療所	市立総合医療センター	市外医療機関	合計
4	1,816	773	597	3,186
3	1,927	756	672	3,355

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
(3) 新型コロナウイルスに係る要介護認定の臨時的な取扱い	新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱いにより、更新申請対象者については申請することで、現在の要介護度を12か月延長することが可能であったが、令和5年3月31日をもって終了した。		
処理件数実績	(単位：件)		
年度	在宅	施設	合計
4	717	149	866
3	242	83	325

2款 保険給付費	決算額	8,023,550,853円
----------	-----	----------------

1 介護保険給付
 保険給付により介護を必要としている高齢者等を支援した。
 給付の適正化やサービスの質の向上に取り組むとともに、住み慣れた地域での自立を支援することで、給付費増加の抑制を図った。

(1) 介護保険給付費の状況

区 分	決算額(円)		対前年度比(%)	
	令和4年度	令和3年度		
介護	居 宅	4,553,941,026	4,469,483,026	101.9
	施 設	2,971,798,762	2,975,582,455	99.9
介護予防	居 宅	174,177,494	163,862,604	106.3
高額介護サービス等費		153,244,255	159,434,911	96.1
高額医療合算介護サービス等費		16,837,853	18,637,928	90.3
特定入所者介護サービス等費		148,287,637	173,214,592	85.6
審査支払手数料		5,263,826	5,088,244	103.5
合 計		8,023,550,853	7,965,303,760	100.7

(2) 介護・介護予防サービス受給者の状況

ア 居宅サービス受給者数

(単位：人)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
令和5年3月	201	337	1,084	836	592	358	167	3,575
令和4年3月	183	324	1,024	843	608	351	166	3,499
対前年度比(%)	109.8	104.0	105.9	99.2	97.4	102.0	100.6	102.2

イ 施設サービス受給者数

(単位：人)

区 分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	合 計
令和5年3月	415	504	1	16	936
令和4年3月	429	470	6	16	921
対前年度比(%)	96.7	107.2	16.7	100.0	101.6

(3) サービス別受給者数と給付費の状況 (再掲)

区 分	受給者数(人)		決算額(円)	
	令和5年3月	令和4年3月	令和4年度	令和3年度
居宅サービス	3,575	3,499	4,728,118,520	4,633,345,630
施設サービス	936	921	3,120,086,399	3,148,797,047

※決算額には、高額介護サービス等費・高額医療合算介護サービス等費・審査支払手数料は含まない。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																																																													
2 運営指導	<p>保険給付の適正化及びサービスの質の向上のため、市内の介護保険事業所を対象に3年に1回以上の指導を行った。令和4年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施件数が少なくなった。令和4年度に、名称が「実地指導」から「運営指導」に変更となった。なお、令和4年度は「書面指導」を実施しなかった。</p> <p>(1) 指導実績 (単位：事業所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>運営指導</th> <th>実地指導</th> <th>書面指導</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>訪問介護</td><td>0</td><td>8</td><td>0</td></tr> <tr><td>訪問入浴</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>通所介護</td><td>6</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>通所リハビリテーション</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>短期入所療養介護</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>介護老人保健施設</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>特定施設入居者生活介護</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>福祉用具貸与・福祉用具販売</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>地域密着型通所介護</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td></tr> <tr><td>小規模多機能型居宅介護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>認知症対応型共同生活介護</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>居宅介護支援</td><td>5</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr><td>合計</td><td>20</td><td>21</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>			区分	令和4年度	令和3年度		運営指導	実地指導	書面指導	訪問介護	0	8	0	訪問入浴	0	1	0	通所介護	6	2	0	通所リハビリテーション	1	0	0	短期入所療養介護	1	0	0	介護老人保健施設	1	0	0	特定施設入居者生活介護	2	1	0	福祉用具貸与・福祉用具販売	0	1	0	地域密着型通所介護	2	3	1	小規模多機能型居宅介護	1	1	1	認知症対応型共同生活介護	1	1	3	居宅介護支援	5	3	2	合計	20	21	7
区分	令和4年度	令和3年度																																																												
	運営指導	実地指導	書面指導																																																											
訪問介護	0	8	0																																																											
訪問入浴	0	1	0																																																											
通所介護	6	2	0																																																											
通所リハビリテーション	1	0	0																																																											
短期入所療養介護	1	0	0																																																											
介護老人保健施設	1	0	0																																																											
特定施設入居者生活介護	2	1	0																																																											
福祉用具貸与・福祉用具販売	0	1	0																																																											
地域密着型通所介護	2	3	1																																																											
小規模多機能型居宅介護	1	1	1																																																											
認知症対応型共同生活介護	1	1	3																																																											
居宅介護支援	5	3	2																																																											
合計	20	21	7																																																											
3款 基金積立金	決算額	5, 839, 322円																																																												
1項 基金積立金	決算額	5, 839, 322円																																																												
1目 保険給付等支払準備基金積立金	決算額	5, 839, 322円																																																												
1 保険給付等支払準備基金積立金	<p>基金の状況 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">令和3年度末 現在高</th> <th colspan="4">令和4年度中増減</th> <th rowspan="2">令和4年度末 現在高</th> </tr> <tr> <th>新規積立金</th> <th>利子積立金</th> <th>取り崩し</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,047,454,287</td> <td>5,717,833</td> <td>121,489</td> <td>△17,027,594</td> <td>△11,188,272</td> <td>1,036,266,015</td> </tr> </tbody> </table>			令和3年度末 現在高	令和4年度中増減				令和4年度末 現在高	新規積立金	利子積立金	取り崩し	合計	1,047,454,287	5,717,833	121,489	△17,027,594	△11,188,272	1,036,266,015																																											
令和3年度末 現在高	令和4年度中増減				令和4年度末 現在高																																																									
	新規積立金	利子積立金	取り崩し	合計																																																										
1,047,454,287	5,717,833	121,489	△17,027,594	△11,188,272	1,036,266,015																																																									
4款 地域支援事業費	決算額	302,993,876円																																																												
1項 介護予防・生活支援サービス事業費	決算額	118,135,209円																																																												
1目 介護予防・生活支援サービス事業費	決算額	105,065,665円																																																												
1 訪問型サービス事業	<p>(1) 総合事業訪問介護</p> <p>要支援認定者又は介護予防・生活支援サービス事業対象者に対し、ホームヘルパーが訪問し、生活援助及び身体介護を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数(件)</td> <td>1,265</td> <td>1,293</td> </tr> <tr> <td>給付額(円)</td> <td>27,371,227</td> <td>28,143,370</td> </tr> </tbody> </table> <p>※件数は、毎月の給付費支払件数の合計</p>			区 分	令和4年度	令和3年度	件数(件)	1,265	1,293	給付額(円)	27,371,227	28,143,370																																																		
区 分	令和4年度	令和3年度																																																												
件数(件)	1,265	1,293																																																												
給付額(円)	27,371,227	28,143,370																																																												

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
(2) 生活支援員派遣事業	要支援認定者又は介護予防・生活支援サービス事業対象者を生活支援員が訪問し、入浴の見守りや家事等、日常生活に対する支援を行い、生活習慣の改善を図った。				
年度	実人数(人)	派遣回数(回)	利用時間(時間)	委託料(円)	委託先
4	5	300	300	630,000	(福)島田市社会福祉協議会
3	8	329	329	690,900	(福)島田市社会福祉協議会
(3) 訪問型介護予防指導事業	要支援認定者又は介護予防・生活支援サービス事業対象者を管理栄養士、歯科衛生士及び理学療法士が訪問して、生活機能に関する問題を把握し、必要な相談及び指導等を行った。				
区 分	令和4年度		令和3年度		
	実人数(人)	延べ人数(人)	実人数(人)	延べ人数(人)	
栄養改善	5	9	5	12	
口腔機能向上	5	17	3	11	
運動器機能向上	36	106	55	147	
事業費(円)	1,070,765		1,340,400		
(4) 自立生活支援事業	要支援認定者又は介護予防・生活支援サービス事業対象者をホームヘルパーが訪問し、買い物、調理、掃除、洗濯及び布団干し等の家事支援を行い、生活習慣の改善を図った。				
年度	実人数(人)	派遣回数(回)	利用時間(時間)	委託料(円)	委託先
4	10	406	406	507,536	(公社)島田市シルバー人材センター
3	17	614	616	746,296	(公社)島田市シルバー人材センター
2 通所型サービス事業					
(1) 総合事業通所介護	要支援認定者又は介護予防・生活支援サービス事業対象者に対し、要介護状態になることを予防するため、通所介護施設で食事や入浴等の日常生活上の支援や機能訓練の指導を行った。				
区 分	令和4年度	令和3年度			
件数(件)	2,479	2,410			
給付額(円)	48,197,842	47,253,577			
※件数は、毎月の給付費支払件数の合計					
(2) おでかけデイサービス事業	要支援認定者又は介護予防・生活支援サービス事業対象者に対し、要介護状態になることを予防するため、心身機能向上のための体操、レクリエーション、趣味の活動等を行った。				
区 分	令和4年度	令和3年度			
件数(件)	1,433	1,547			
給付額(円)	17,857,190	19,189,366			
事業所数	5	6			
※件数は、毎月の給付費支払件数の合計					
(3) 通所型短期集中予防サービス事業	要支援認定者又は介護予防・生活支援サービス事業対象者に対し、要介護状態になることを予防するため、運動機能向上のプログラムを週1回実施した。川根地区居住者については、北部ふれあいセンターまでタクシーで送迎した。				

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明					
							(単位：人)
年度	教室名	実利用者数	延べ利用者数	1日平均利用者数	委託料(円)	委託先	会場
4	かなや	25	318	6.6	1,809,600	㈱ニチイ学館	金谷北支所
	ろくごう	22	240	4.8	1,920,000	㈱河合楽器製作所	六合公民館
	ほくぶ	27	337	7.1	1,740,000	㈱河合楽器製作所	北部ふれあいセンター
	合 計	74	895		5,469,600		
	送迎事業	3	28	2.3	257,760	島田タクシー(有)	
3	かなや	19	255	5.1	1,956,000	㈱ニチイ学館	金谷北支所
	ろくごう	21	289	6.0	1,860,000	㈱河合楽器製作所	六合公民館
	ほくぶ	21	287	5.9	1,800,000	㈱河合楽器製作所	北部ふれあいセンター
	合 計	61	831		5,616,000		
	送迎事業	2	20	1.6	216,820	島田タクシー(有)	
2目 介護予防ケアマネジメント事業費		決算額		13,069,544円			
1 介護予防ケアマネジメント事業							
(1) 介護予防ケアマネジメント事業							
要支援認定者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者が介護予防・生活支援サービスを適切に利用できるように、地域包括支援センターにおいて介護予防サービス計画(ケアプラン)の作成等のケアマネジメントを行った。							
年度	ケアマネジメント件数(件)		事業費(円)				
4	2,805		13,069,544				
3	2,987		13,649,899				
※件数は、毎月の給付費支払件数の合計							
2項 一般介護予防事業費		決算額		20,454,266円			
1目 一般介護予防事業費		決算額		20,454,266円			
1 介護予防把握事業							
(1) 介護予防把握事業							
基本チェックリストにより生活状況を把握し、介護予防・生活支援サービス事業対象者を決定した。							
また、地域における通いの場に出てこられなくなった方や機能低下が見られる方に対して看護師等が訪問指導等を行い、継続的な支援を必要とする方は地域包括支援センターに引き継いだ。							
区 分		令和4年度	令和3年度				
事業対象者決定数(人)		64	68				
事業費(円)		307,991	315,091				
訪問件数(件)		43	60				

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
2 介護予防普及啓発事業					
(1) 介護予防普及啓発事業					
ア 介護予防普及啓発事業	主に65歳以上の対象者に対し、要介護状態等となることを予防するため、運動器の機能向上、口腔機能の向上などの講話及び実技等を実施し、介護予防知識の普及を図った。				
	年度	令和4年度	令和3年度		
	事業費(円)	0	32,000		
出前講座	回数(回)	19	21		
	人数(人)	415	404		
	※令和4年度の出前講座は全て職員が対応したため、報償費の使用がなかった。				
イ 元気・脳力アップ塾	ニュースポーツやレクリエーションを通して筋力低下を予防する講座を実施し、介護予防活動の推進を図った。				
	区 分	令和4年度	令和3年度		
	開催回数(回)	15	7		
	実参加者数(人)	50	24		
	委託料(円)	386,045	186,936		
(2) 認知症予防普及啓発事業	認知症予防のための各種講座等において、市民を対象に認知症に関する知識等の普及を行った。				
	区 分	脳の健康度テスト・結果説明会		認知症予防講座	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
	実施回数(回)	18	12	2	2
	延べ参加者数(人)	157	80	18	13
	事業費(円)	123,094	116,772	51,700	0
(3) 地域ふれあい事業	高齢者の閉じこもり、寝たきりや認知症等を予防するため、各地区の公会堂等で、ボランティアが中心となって実施する地域ふれあい事業、公会堂で市内の高齢者を対象に実施する全域ふれあい事業、保健福祉センターで実施するはなみずきふれあい事業において、活動の支援と普及を行った。				
	実施状況				
	区 分	令和4年度		令和3年度	
	団体数(団体)	51		55	
	実施回数(回)	819		584	
	延べ参加者数(人)	10,701		7,962	
	延べボランティア数(人)	6,370		4,427	
	介護予防講話(回)	117		74	
	委託料(円)	3,333,000		3,162,800	
	委託先	島田市地域ふれあい事業連絡協議会		島田市地域ふれあい事業連絡協議会	
(4) パワーリハビリ教室事業	要介護認定を受けていない高齢者がパワーリハビリ用トレーニングマシン6台を使用し、シニアトレーニング指導員養成講座を修了したボランティアの支援を得て、身体機能の維持向上を図った。				

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
-------	---------------	--	--	--

実施状況

区 分	令和4年度		令和3年度	
開催回数(回)	560		319	
延べ参加者数(人)	3,913		1,575	
延べサポーター数(人)	3,764		1,760	
委託料(円)	1,702,006		909,049	
委託先	島田市シニアサポーター協議会		島田市シニアサポーター協議会	

3 地域介護予防活動支援事業

(1) 居場所づくり事業

高齢者の孤立化を防止するため、高齢者が自由に集い、交流することができる身近な居場所を設置又は整備する住民や団体に対して補助金を交付し、居場所づくりの推進を図った。

ア 補助対象

(ア) 施設併用型及び自宅開放型

机、椅子等の備品購入及び看板等の居場所の周知に要する経費

(イ) 公会堂等利用型及び借家型

上記(ア)の内容に加え、バリアフリー化や居場所づくりのために必要な建物の改修に要する経費

イ 交付状況

区 分	令和4年度	令和3年度
補助件数(箇所)	3	2
補助額(円)	600,000	395,884

(2) シニアトレーニング指導員養成講座事業

健康な高齢者を対象にパワーリハビリテーション用トレーニングマシン6台を使用し、マシントレーニングの知識や技術を習得してもらい、高齢者のトレーニングを指導するサポーターを養成した。講座修了者の多くは、サポーターとしてパワーリハビリ教室で指導を行っている。

区 分	令和4年度	令和3年度
開催回数(回)	24	24
受講者実人数(人)	12	7
延べ受講者数(人)	124	75
事業費(円)	182,760	203,477

(3) しまトレ推進事業

介護予防に効果的な体操「しまトレ」を週1回、地域住民が主体となって身近な公会堂等で実施できるように支援し、通いの場の創出に加え、参加者同士の生きがいがづくり、支え合い体制づくりの推進を図った。

また、公認しまトレを開始・実施する住民や団体に対し、補助金を交付した。

区 分	令和4年度	令和3年度
支援回数(回)	84	80
公認しまトレ累計箇所数(箇所)	97	91
補助件数(箇所)	4	2
補助額(円)	308,675	160,000

ア しまトレナー養成講座

しまトレの正しい体操方法や効果について学び、地域の中で体操が独自の方法になっている方や新規参加者に対して、正しい方法を伝えられるトレーナーを養成した。

区 分	令和4年度		令和3年度	
	第1回	第2回	第1回	第2回
参加者数(人)	18	8	6	3

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
4 地域リハビリテーション活動支援事業			
(1) 地域リハビリテーション活動支援事業	<p>地域における介護予防の取組の機能強化を図るため、理学療法士が通所、訪問、地域ケア会議への参加を通じて総合的に関与した。おでかけデイサービスや地域の通いの場、総合事業通所介護事業所への指導も行い、通所事業所職員や通所者本人への効果的な運動など指導し、心身機能の維持向上を図った。</p>		
ア 事業費 (単位：円)			
	令和4年度	令和3年度	
	4,303,577	3,639,359	
イ 理学療法士の介護予防事業への関与状況 (単位：回)			
	項目	内容	
	介護予防従事者研修	介護予防事業へ従事する職員や市民への研修会	令和4年度 3 令和3年度 3
	ケアマネジャーのアセスメントへの同行訪問	通所型サービス希望者のアセスメント	247 208
	通所型介護予防事業所・通いの場への指導	おでかけデイサービスや通いの場等への助言・指導	75 29
	職員会議支援	市職員の資質向上と介護予防事業への助言・提案	7 10
ウ 体力測定会	<p>主に65歳以上の高齢者を対象に、介護予防への動機づけと要介護状態の早期介入を目的に、公民館や温泉等市民が集まる場所で体力測定会を実施した。</p>		
	区分	令和4年度	令和3年度
	開催回数(回)	6	7
	実参加者数(人)	88	122
	※令和3年度は、介護予防普及啓発事業にて実施した。		
エ 介護予防DVD・パンフレットの作成	<p>住民主体の通いの場において活用しやすいよう、現状のDVDの改良版及びDVDの内容に合わせた解説用パンフレットを作成した。団体（地域ふれあい、居場所、しまトレ等）に配布し、介護予防について普及啓発を行った。</p>		
3項 包括的支援事業・任意事業費	決算額	164,037,827円	
1目 包括的支援事業費	決算額	145,692,412円	
1 地域包括支援センター運営事業			
(1) 包括支援センター運営事業			
ア 運営委託事業	<p>高齢者の介護予防支援、権利擁護、様々な相談対応や介護支援専門員の支援等の地域包括支援センター業務を委託した。市は各地域包括支援センターを統括する業務を行った。</p> <p>令和4年度は、川根中学校区地域包括支援センターが(福)島田市社会福祉協議会からウエルシア介護サービス㈱へ委託先が変更となった。</p>		
	名称	委託料(円)	委託先
		令和4年度	令和3年度
	島田市第一中学校区地域包括支援センター	32,000,000	31,800,000
	島田市第二中学校区地域包括支援センター	28,621,132	28,827,500
			(医)健社会
			(福)島田市社会福祉協議会
			設置場所
			介護老人保健施設 アポロン内
			保健福祉センター内

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明			
島田市六合中学校区 地域包括支援センター	36,640,646	36,800,000	(福)島田福祉の杜	六合公民館内	
島田市初倉中学校区 地域包括支援センター				初倉地域総合センター内	
島田市金谷中学校区 地域包括支援センター	23,261,400	39,720,500	(福)島田市社会福祉協議会 令和3年度：(福)島田市社会福祉協議会 令和4年度：ウエルシア介護サービス(株)	金谷北地域総合センター内	
島田市川根中学校区 地域包括支援センター	18,723,000			令和3年度：川根支所内 令和4年度：ウエルシア島田川根店 横	

イ 地域包括支援センター運営協議会

地域包括支援センターの円滑かつ適正な運営等を図ることを目的に、介護保険サービスの事業者や被保険者及び学識経験者等、11人の委員で構成されている地域包括支援センター運営協議会を開催した。

開催日	出席数(人)	内 容
令和4年6月6日	10	令和3年度事業実績報告、令和4年度事業計画等について 地域包括支援センターの設置と経過、指定介護予防支援業務の委託先 選定について
令和5年2月6日	9	令和4年度業務チェックシート、令和4年度事業実施評価、 令和5年度基本方針・事業実施方針、令和5年度運営体制等について

(2) 介護予防ケアマネジメント事業（指定介護予防支援事業を含む）

要支援認定者と介護予防・生活支援サービス事業対象者が介護予防給付サービス及び介護予防・生活支援サービス事業を適切に利用することができるように、地域包括支援センターが介護予防サービス計画の作成等のケアマネジメントを行った。

(単位：件)

区 分	令和4年度								令和3年度					
	合 計	内 訳							合 計	内 訳				
		第一	第二	六合	初倉	金谷	川根	第一		第二	六合	初倉	金谷	川根
直営	254	70	18	22	21	51	72	203	69	34	23	24	42	11
※1	4,720	1,659	874	445	402	870	470	4,632	1,369	1,055	498	321	809	580
委託	114	23	50	13	6	11	11	110	18	37	10	16	17	12
※2	3,242	787	973	362	558	265	297	3,221	857	903	367	428	369	297

※1 直営：地域包括支援センターがケアマネジメントを行った数

※2 委託：地域包括支援センターから委託された居宅介護支援事業所がケアマネジメントを行った数

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(3) 総合相談支援事業

ア 高齢者相談事業

生活全般の悩みや相談に対し、適切なサービスの紹介や解決のための支援を行った。

(7) 相談件数

(単位：件)

区 分	令和4年度							令和3年度						
	合 計	内 訳						合 計	内 訳					
		第 一	第 二	六 合	初 倉	金 谷	川 根		第 一	第 二	六 合	初 倉	金 谷	川 根
新規受付	2,521	453	574	266	345	526	357	2,069	446	479	228	241	500	175
継続対応	5,735	1,086	1,212	935	874	962	666	4,828	979	789	867	772	947	474
合計	8,256	1,539	1,786	1,201	1,219	1,488	1,023	6,897	1,425	1,268	1,095	1,013	1,447	649

(i) 相談内容

相談内容	令和4年度		令和3年度	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
介護方法・サービス利用	4,700	56.9	4,536	65.8
健康・医療	940	11.4	823	11.9
生活費・金銭管理	256	3.1	163	2.4
家族関係	162	2.0	100	1.4
サービス等の苦情	47	0.6	44	0.6
住居	187	2.3	119	1.7
権利擁護（成年後見制度等）	214	2.6	140	2.0
消費生活（消費者被害）	42	0.5	35	0.5
高齢者虐待	294	3.5	161	2.4
認知症	522	6.3	439	6.4
高齢者以外の相談	81	1.0	52	0.8
その他	811	9.8	285	4.1
合 計	8,256	100.0	6,897	100.0

イ 介護予防普及啓発講座

地域包括支援センターの周知や介護予防等の啓発を行った。

・開催回数 202回 ・講座受講者数 3,632人

(4) 高齢者虐待防止事業

ア 高齢者虐待防止事業

虐待の通報や相談に対し事実確認を行い、解決に向けて対応した。

通報・相談件数

(単位：件)

年度	確認結果		対応結果	
	虐待を確認又は虐待と判断	非該当・事実確認中	虐待として支援継続	解決・通常支援
4	26	6	9	17
3	16	4	8	8

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
イ	高齢者・障害者虐待防止及び障害者差別解消ネットワーク会議 学識経験者、医療関係者、民生委員、介護サービス事業者、地域包括支援センター、島田警察署、市職員などの16人の委員で構成されている。虐待の防止及び普及啓発について協議を行った。				
	開催日	出席者数(人)	内 容		
	令和4年9月1日	16	令和3年度高齢者・障害者虐待対応状況について 令和4年度の啓発事業について		
	令和5年1月19日	12	令和4年度の状況報告（高齢者・障害者虐待防止に係る取組） 次年度の啓発事業について 各所属ごとの困難事例・課題の共有		
ウ	介護保険事業者向け研修会				
	開催日	出席者数(人)	内 容		
	令和4年11月7日	17	介護保険事業者のための高齢者虐待対応研修会 「高齢者虐待防止・対応について」 講師：静岡県社会福祉士会 五十右 直 氏		
2	認知症施策総合支援事業				
(1)	認知症施策推進事業				
ア	認知症対策検討委員会（委員17人） 認知症対策検討委員会を開催し、認知症施策及び普及啓発について協議を行った。				
	開催日	出席者数(人)	内 容		
	令和4年8月3日	15	令和4年度の島田市・地域包括支援センターの認知症施策に関する取組と方向性について		
	令和5年3月1日	16	令和4年度の島田市・地域包括支援センターの認知症施策に関する取組と実績、課題と今後の方向性について		
イ	認知症地域支援・ケア向上事業 医療機関、介護サービス事業所及び地域の支援機関をつなぐコーディネーターとしての役割を担う認知症地域支援推進員を、地域包括支援センター6か所（第1、第2、六合、初倉、金谷、川根）へ各1人ずつ、市へ2人配置した。				
	年度	推進員数(人)			
	4	8			
	3	8			
(2)	認知症初期集中支援事業 認知症サポート医と地域包括支援センターの医療と福祉の専門職がチームを組み、早期診断、早期対応を軸に認知症の人やその家族を適切な医療やサービスにつなげることを目的として事業を実施した。チーム員会議で検討し、支援した結果、介護サービスや受診につながった。				
	年度	サポート医数(人)	チーム設置数(箇所)	会議回数(回)	対応実人数(人)
	4	6	6	7	4
	3	6	6	11	7
3	在宅医療・介護連携推進事業 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員等の多職種が連携するための研修会の開催及び市民への普及啓発等を実施した。				
(1)	在宅医療・介護連携相談支援窓口の設置				
ア	委託先 （一社）島田市医師会：相談員1人				
イ	委託料 1,619,840円				

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

ウ 委託業務

地域医療・介護資源の把握、切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築の推進、医療・介護関係者の情報共有の支援、在宅医療・介護連携に関する相談支援、医療・介護関係者の研修、地域住民への普及啓発、在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

相談実績

(単位：件)

年度	市立総合医療センター	地域包括支援センター	診療所	歯科診療所	薬局	訪問看護	介護事業所	行政	その他	合計
4	19	15	22	1	1	14	4	20	14	110
3	4	17	10	0	0	11	1	24	20	87

(2) 在宅医療推進研修会

これからの病院や訪問看護と連携して取り組む島田市の在宅医療のあり方について、地域の医療関係者が共に考え、市の在宅医療の現状を理解することを目的に研修会を実施した。

年度	開催日時	参加人数(人)	内容
4	令和5年2月17日	17	テーマ「島田市の在宅医療の現状から今後について考える」 令和3年6月から令和4年11月までに実施した在宅看取り後アンケート調査結果の中から、在宅看取りの事例紹介・検討を行った。事例を通し、患者家族の思いの変化による対応方法や在宅医療を担う医師の考え方や受け止め方など、様々な意見交換を行う中で、普段から患者家族とのコミュニケーションの重要性、市立総合医療センター医師と開業医との連携の必要性、訪問診療・在宅医療周知の大切さを改めて共通認識でき、連携強化を図るとともに、今後の在宅医療の推進につなげた。
3	令和3年10月14日	20	テーマ「コロナ感染の自宅待機者への対応について」 新型コロナウイルス感染拡大という非常事態において、コロナ感染の在宅療養者に対する対応方法について、往診・訪問診療に取り組む診療所、訪問看護ステーションなどそれぞれの職域での業務、それに伴う苦労や努力について理解を深め、現状を共有した。感染が急激に増加した時期に、在宅医療・介護連携の場面で感じた課題等の意見交換を行う中で、感染拡大時の対応だけでなく、平常時の連携推進につながる情報交換の場となり、在宅医療の推進につながった。

(3) 多職種合同研修会

開催日	出席者数(人)	内 容
令和5年1月25日	48	講演会・グループワーク 「地域で見守る糖尿病～知っているようで知らない糖尿病の現実～」 講師：市立総合医療センター 糖尿病内分泌内科 善當 翼 氏
令和5年3月16日	39	講演会・グループワーク 「Withコロナ！～新型コロナウイルス感染症5類移行後の地域連携～」 講師：おかにし内科糖尿病・甲状腺クリニック 露木 義章 氏

(4) 連絡会等

(単位：回)

区 分	令和4年度	令和3年度
島田市立総合医療センター・地域包括支援センター・介護支援専門員連絡会	3	3
訪問看護ステーション連絡会	6	6
訪問看護ステーションと看護部合同研修会	2	2
しまだ看護つなぎ隊研修会	2	1

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																																																	
(5) 市民普及啓発事業	<p>自らの最期にどのように向き合っていくのかを市民が考える機会を創出することを目的に、在宅医療、介護や看取りをテーマとした出前講座等を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数(人)</th> <th>開催場所等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>78</td> <td>市民学級、看護専門学校 ほか</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>125</td> <td>市民学級、看護専門学校 ほか</td> </tr> </tbody> </table>		年度	人数(人)	開催場所等	4	78	市民学級、看護専門学校 ほか	3	125	市民学級、看護専門学校 ほか																																							
年度	人数(人)	開催場所等																																																
4	78	市民学級、看護専門学校 ほか																																																
3	125	市民学級、看護専門学校 ほか																																																
(6) リビング・ウイルの配付状況	<p>不慮の事故や病気の悪化などの「もしものとき」の医療・ケアについて、本人が生前の意思表示を行えるようリビング・ウィルを作成し、普及啓発を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>配付数(枚)</th> <th>配付場所等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>83</td> <td>看護専門学校講義、相談窓口 ほか</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>150</td> <td>出前講座、看護専門学校講義 ほか</td> </tr> </tbody> </table>		年度	配付数(枚)	配付場所等	4	83	看護専門学校講義、相談窓口 ほか	3	150	出前講座、看護専門学校講義 ほか																																							
年度	配付数(枚)	配付場所等																																																
4	83	看護専門学校講義、相談窓口 ほか																																																
3	150	出前講座、看護専門学校講義 ほか																																																
4 生活支援体制整備事業	<p>地域のニーズに合った住民主体による住民の互助のサービスの提供、高齢者の社会参加及び地域での支え合い体制整備を推進する目的で実施した。</p>																																																	
(1) 生活支援コーディネーター活動事業	<p>第一層（市全域）に3人、第二層（小学校区又は中学校区）に10人（うち3人は兼務）の生活支援コーディネーターを配置した。</p> <p>ア 委託先 （福）島田市社会福祉協議会</p> <p>イ 委託料 2,256,000円</p> <p>ウ 委託業務内容</p> <p>サービス提供の支援、組織設立の支援、地域資源の把握、ニーズとサービスのマッチング、担い手の発掘・育成、会議等への出席、協議体運営への協力、市民向け講演会及び研修会の開催</p> <p>エ 活動実績 (単位：回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各地区の会議や活動への出席</td> <td>53</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>団体の活動に関すること</td> <td>696</td> <td>247</td> </tr> <tr> <td>しまトレに関すること</td> <td>56</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>居場所に関する支援</td> <td>219</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>商助に関すること</td> <td>82</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>協議体の開催（打合せ、調整等も含む）</td> <td>194</td> <td>196</td> </tr> <tr> <td>生活支援サービスに関すること</td> <td>246</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>外出支援サービスに関すること</td> <td>138</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>自立支援型地域ケア会議への出席</td> <td>18</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>個別相談対応</td> <td>28</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センターとの連絡調整</td> <td>107</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>担い手養成講座・普及啓発講演会の開催・調整</td> <td>49</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>関係者との打合せ</td> <td>22</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>58</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,966</td> <td>1,137</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	令和4年度	令和3年度	各地区の会議や活動への出席	53	154	団体の活動に関すること	696	247	しまトレに関すること	56	26	居場所に関する支援	219	136	商助に関すること	82	-	協議体の開催（打合せ、調整等も含む）	194	196	生活支援サービスに関すること	246	137	外出支援サービスに関すること	138	58	自立支援型地域ケア会議への出席	18	20	個別相談対応	28	18	地域包括支援センターとの連絡調整	107	-	担い手養成講座・普及啓発講演会の開催・調整	49	12	関係者との打合せ	22	97	その他	58	36	合 計	1,966	1,137
区 分	令和4年度	令和3年度																																																
各地区の会議や活動への出席	53	154																																																
団体の活動に関すること	696	247																																																
しまトレに関すること	56	26																																																
居場所に関する支援	219	136																																																
商助に関すること	82	-																																																
協議体の開催（打合せ、調整等も含む）	194	196																																																
生活支援サービスに関すること	246	137																																																
外出支援サービスに関すること	138	58																																																
自立支援型地域ケア会議への出席	18	20																																																
個別相談対応	28	18																																																
地域包括支援センターとの連絡調整	107	-																																																
担い手養成講座・普及啓発講演会の開催・調整	49	12																																																
関係者との打合せ	22	97																																																
その他	58	36																																																
合 計	1,966	1,137																																																
オ 住民を対象にした勉強会等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>内 容</th> <th>延べ参加者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大津地区</td> <td>外出支援ボランティア養成講座（大津地区買物支援ボランティア）</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>		圏域	内 容	延べ参加者数(人)	大津地区	外出支援ボランティア養成講座（大津地区買物支援ボランティア）	9																																										
圏域	内 容	延べ参加者数(人)																																																
大津地区	外出支援ボランティア養成講座（大津地区買物支援ボランティア）	9																																																

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(2) 協議体

第一層協議体については、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターや市関係課を集め、前年度の振り返りや課題等の情報共有をする目的で計2回実施した。

第二層協議体については、地縁団体、民生委員、地区社協、地域包括支援センターや生活支援コーディネーター等が参画し、定期的な情報共有及び連携強化の中核となるネットワークを構築する目的で計54回開催した。地域の特性に応じた意見交換が行われ、第一地区では地区社会福祉協議会が設立された。

ア 第二層協議体、生活支援・外出支援サービス協議体開催実績

中学校区	日常生活圏域	開催回数(回)	延べ参加者数(人)	協議事項
第一中学校区	第一中学校区全域	3	23	買物支援サービスに関する事等
	第一小学校区	5	64	地区社協設立に関する事等
	第二小学校区	2	33	地域のつながりに関する事等
	伊太小学校区	3	37	住民アンケートに関する事等
第二中学校区	第三小学校区	2	37	地区社協が実施したアンケート結果の活用に関する事等
	第四小学校区	1	11	市、市社協、地区社協、包括支援センターが協働で行う事業に関する事
	第五小学校区	4	67	生活支援サービスに関する事等
六合中学校区	大津小学校区	10	146	買物支援サービスに関する事
	六合中学校区全域	3	30	応援隊の活動内容に関する事等
六合中学校区	六合東小学校区	2	26	住民アンケートに関する事
	初倉中学校区	3	51	生活支援サービスに関する事等
金谷中学校区		1	13	地域の団体の連携に関する事
川根中学校区		5	95	生活支援サービスに関する事等
金谷・川根中学校区合同		1	9	通いの場への支援に関する事

5 地域ケア会議推進事業

高齢者が抱える問題等の地域課題を医師や民生委員、介護支援専門員等の多職種の関係者間で共有し、地域づくりの観点から一般介護予防事業を始めとした事業の評価を行い、事業改善や課題解決に向けた取組を検討し施策につなげるため会議を開催した。また、自立支援型地域ケア会議や在宅医療の支援体制を構築するため、医師等による在宅医療・介護連携部会などを開催した。

(1) 地域ケア会議

介護保険サービスの事業者や医師及び学識経験者等、14人の委員で構成されている。地域づくりの観点から介護予防・日常生活支援総合事業を全体的に評価し、事業改善や課題解決に向けた取組を検討し施策へつなげることを目的に、会議を開催した。(令和4年度は書面会議)

年度	開催日	出席者数(人)	内 容
4	令和5年3月14日 ～3月24日	14	「総合事業の現状について」 「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」施策実施状況評価等 回答率100%
3	令和4年3月4日	13	「総合事業の現状と来年度の取組について」 「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」施策実施状況評価等

(2) 自立支援型地域ケア会議

区分	令和4年度	令和3年度
開催回数(回)	12	20
事例検討数(件)	28	35

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
(3) 個別地域ケア会議・小地域ケア会議	(単位：回)			
区分	令和4年度	令和3年度		
個別地域ケア会議	32	20		
小地域ケア会議	14	7		
(4) 地域ケア会議在宅医療・介護連携部会				
年度	開催日	出席者数(人)	内 容	
4	令和4年12月9日	12	島田市の「在宅医療・介護連携推進事業」について ・在宅医療・介護連携推進事業の課題と取組報告 ・訪問看護ステーションの現状と課題 ・在宅看取り後のアンケート結果報告 ・島田市の在宅医療の現状について	
3	令和3年12月21日	15	島田市の「在宅医療・介護連携推進事業」について ・在宅医療・介護連携推進事業の課題と取組報告 ・訪問看護ステーションの現状と課題 ・在宅看取り後のアンケート中間報告 ・今後の島田市の在宅医療のあり方について	
2目 任意事業費	決算額	18,345,415円		
1 介護給付等費用適正化事業				
(1) 介護給付費通知事業	介護サービス事業者からの保険請求の内容を受給者へ年2回通知し、受給者に適切なサービス利用を啓発するとともに、事業者の架空請求の発見等、介護給付の適正化を図った。			
	介護給付費通知発送実績			
年度	発送件数 (件)			
4	9,943			
3	9,908			
2 家族介護支援事業				
(1) 家族介護者交流事業	日帰りでのリフレッシュ旅行や定例会を活用した介護者相互の交流会を開催することにより、高齢者を介護する家族を介護から一時的に解放し、心身の疲労回復を図った。			
年度	事業の概要	参加人数(人)	委託料(円)	委託先
4	リフレッシュ旅行(静岡県 舘山寺温泉) 実施日：令和4年11月22日	13	813,500	(福)島田市社会福祉協議会
	介護者のつどい(定例会) 10回開催	59		
	家族介護教室 2回開催(各2日間)	第1回(1日目) 7 (2日目) 6 第2回(1日目) 6 (2日目) 3		
	合計	94		
3	介護者のつどい(定例会) 10回開催	35	412,500	(福)島田市社会福祉協議会
	家族介護教室 2回開催(各2日間)	第1回(1日目) 3 (2日目) 1 第2回(1日目) 1 (2日目) 2		
	合計	42		

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
(2) 認知症高齢者見守り事業	地域における認知症高齢者等の見守り体制の構築を目的として、以下の事業を実施し、認知症のある人やその家族が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援した。				
	区分	令和4年度	令和3年度		
	事業費(円)	4,836	51,620		
ア みまもりあいプロジェクト	専用のアプリと身元確認用ステッカーを活用して、地域で高齢者を見守る「徘徊高齢者みまもりあいシステム」について、市内の事業所、介護関係従事者、交通機関、高齢者見守りネットワーク等に対して普及啓発を実施した。				
	年度	補助件数(件)	補助額(円)	協力者数(人)	
	4	0	0	※-	
	3	0	0	※約1,500	
	※業者側のシステムエラーにより集計不可				
イ 徘徊高齢者等事前登録事業	認知症により行方不明となるおそれのある人の情報を事前に登録し、警察や地域包括支援センターと情報共有することで、行方不明となった際に速やかな発見・保護につなげた。				
	区分	令和4年度	令和3年度		
	登録者数(人)	36	23		
3 成年後見制度利用支援事業	認知症等により判断能力が不十分で、親族が申立てを行えない場合に、成年後見の申立てを行った。また、支払能力のない制度利用者に対し、成年後見人に支払う報酬の助成を行った。				
	年度	令和4年度		令和3年度	
	区分	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
	市長申立て	7	49,142	4	23,610
	報酬助成	22	4,245,113	21	3,581,233
4 地域自立生活支援事業	(1) 介護相談員派遣事業				
	介護相談員9人を市内の介護保険事業所等へ派遣し、利用者から介護サービスに関する意見の聴取や、事業所職員との意見交換を行い、介護サービスの質の確保、向上を図った。ただし、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年に比べて活動を縮小した。				
ア 介護保険事業所等への派遣	介護相談員が介護保険事業所を訪問することで利用者との信頼関係を築き、事業所のサービスの質の確保、向上に寄与した。				
	区 分	派遣事業所数			
		令和4年度	令和3年度		
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	2	4		
	介護老人保健施設	1	1		
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	5	2		
	通所介護(デイサービス) ※地域密着型を含む	21	12		
	おでかけデイサービス	1	0		
	通所リハビリテーション(デイケア)	0	1		
	小規模多機能型居宅介護	5	2		
	短期入所生活介護(ショートステイ)	2	4		

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

特定施設入居者生活介護施設(有料老人ホーム)	4	2
住宅型有料老人ホーム	1	2
サービス付き高齢者向け住宅	2	0
合 計	44	30

イ その他の活動状況

実施事業	年度	事業の概要
介護相談員連絡会	4	11回（4月から7月及び9月から3月にかけて月1回開催） 内容：活動状況報告、介護相談員だよりの内容検討等
	3	5回（10月及び12月から3月にかけて月1回開催） 内容：活動状況報告、介護相談員だよりの内容検討等
研修	4	主催者：介護サービス相談・地域づくり連絡会 研修名：介護サービス相談員養成研修 受講者：新任相談員候補者 2人 内容：相談員の意義と役割、介護保険制度等について 研修日：令和4年6月20日から6月23日、8月5日（5日間） 会場：島田市保健福祉センター(オンライン研修)
	3	主催者：介護サービス相談・地域づくり連絡会 研修名：介護サービス相談員現任研修 受講者：養成講座を受講した2年目の相談員 1人 内容：相談員の意義と役割、介護保険制度等について 研修日：令和3年11月5日、11月9日（2日間） 会場：島田市保健福祉センター(オンライン研修)

(2) 高齢者配食サービス事業

調理が困難な高齢者に対して、栄養バランスのとれた食事（昼食）を定期的に提供するとともに、安否確認を行った。

ア 島田・金谷地区

実施内容	委託料	利用料	委託先
週6回(月～土曜日)	1食当たり	1食当たり	(有)五平
	ごはんセット 560円	ごはんセット 330円	
	おかずのみ 510円	おかずのみ 280円	

イ 川根地区

実施内容	委託料	利用料	委託先
週6回(月～土曜日)	1食当たり	1食当たり	笹ゆり さくら茶屋 麦の会 民宿ふくい
	ごはんセット 850円	ごはんセット 350円	
	おかずのみ 790円	おかずのみ 290円	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明					
-------	---------------	--	--	--	--	--

ウ 利用者数・支出額

区 分	令和4年度			令和3年度		
	島田・金谷	川根	合計	島田・金谷	川根	合計
実利用者数(人)	162	23	185	167	16	183
延べ配食 数(食)	ごはんセット	784	12,552	12,294	694	12,988
	おかずのみ	6,620	7,780	6,228	1,446	7,674
委託料(円)	10,009,006	1,582,800	11,591,806	10,154,621	1,732,240	11,886,861
利用料(円)	5,737,040	610,740	6,347,780	5,800,860	662,240	6,463,100
市負担額(円)	4,271,966	972,060	5,244,026	4,353,761	1,070,000	5,423,761

5 認知症サポーター養成事業

小中学生を含む市民や職場等を対象に、認知症に関する知識、認知症の人との接し方などを学ぶ講座を開催し、認知症の人やその家族を支援するサポーターを養成した。

区 分	令和4年度	令和3年度
実施回数(回)	32	23
延べ参加者数(人)	1,164	832
事業費(円)	181,509	132,722

5款 保健福祉事業費	決算額	16,794,626円
1項 保健福祉事業費	決算額	16,794,626円
1目 保健福祉事業費	決算額	16,794,626円

1 家族介護支援事業

(1) 家族介護用品支給事業

在宅高齢者を介護している家族等に介護用品を支給し、家族の経済的負担の軽減と要介護高齢者の在宅生活の継続及び介護の質の向上を図った。

区 分	令和4年度	令和3年度
支給人数(人)	628	633
家族介護用品支給費(円)	14,711,476	14,876,134

※1人当たり支給上限額 3,000円/月

2 高齢者外出支援サービス支援事業

住民主体のサービスとして実施される外出支援サービスの取組について、その安全性や継続性を高めるため、運営費の一部について補助金による助成を実施した。運営費の内訳は、保険料、燃料費、コーディネーター(サービス調整役)の人件費相当額である。

区 分	令和4年度	令和3年度
補助額(円)	214,000	156,000
補助件数(件)	3	2
サービス実施団体(団体)	3	2

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

3 新型コロナウイルス感染症対策事業【令和4年度新規事業】

(1) 高齢者見守り支援検証事業

事業の目的	事業の内容	事業の成果	事業費 (円)
オンラインで使用する見守りロボットが介護予防に資するツールとなり得るか検証する。	見守りロボットを独居高齢者等の自宅に設置し、利用状況を確認する。	見守りロボットが介護予防に資するかの判断には至らなかったものの、個人により使用頻度が大きく異なることや、山間地で圏外になってしまふこと等の課題が明確となった。	1,274,160 (財源内訳) 保健福祉事業費繰入金(※) 1,274,160

※コロナ臨時交付金の算定対象となる国庫補助事業に該当するため、当該交付金 1,100,000円を活用

